

目次

郡山市立美術館年報 平成 27 年度

目次

I 沿革・郡山市立美術館の目的と性格	2
II 展覧会事業	3
1) 常設展	4
2) 企画展	21
III 教育普及事業	49
1) アート・テーク	49
2) 講演会	50
3) 美術講座	50
4) ギャラリートーク	50
5) ワークショップ	51
6) ミュージアム・シアター	53
7) ミュージアム・コンサート	53
8) 学校との連携事業	54
9) 対外協力	55
10) 図書資料・視聴覚資料	56
11) 刊行物	56
12) 寄稿及び関連記事・報道	58
IV 作品収集・保存管理事業	60
1) 新収蔵作品・美術資料・寄託作品一覧	60
2) 収蔵作品貸出状況	60
3) 収蔵作品修復状況	62
4) その他の保存管理事業	63
V 利用者数	64
1) 展覧会	64
2) 教育普及事業	65
3) 過去 5 年間の利用者数の推移状況	65
4) 教育普及事業別参加者数の推移状況	66
VI 管理運営	67
1) 関連法規	67
2) 名簿・組織	71
3) 建築設備概要・平面図・面積表	72
4) 利用案内	76

I 沿革・郡山市立美術館の目的と性格

1981(昭和56)年9月	美術館建設懇談会設置
1982(昭和57)年2月	美術館基本構想懇話会設置
1983(昭和58)年3月	「郡山市美術館基本構想」答申
1985(昭和60)年12月	美術品取得基金条例公布・施行
1987(昭和62)年4月	美術館設立準備室設置
1987(昭和62)年6月	郡山市立美術館建設検討委員会設置
1988(昭和63)年1月	美術館建設場所決定
1989(平成元)年11月	美術館建設設計競技審査会開催
1990(平成2)年1月	収蔵美術品特別展示開催(於:郡山市民文化センター) (株)TAK建設・都市計画研究所の設計案当選(同社に設計を委託)
1990(平成2)年3月	美術館建設基本設計完了
1990(平成2)年10月	美術館建設実施設計完了
1990(平成2)年12月	美術館建設工事着工
1992(平成4)年6月	美術館建設本体工事完了
1992(平成4)年7月	郡山市立美術館条例施行 美術館建設準備室を解散して美術館としてスタート
1992(平成4)年11月	美術館建設外構工事完了 11月21日 美術館開館

郡山市立美術館は、「市民がすぐれた美術作品に接することにより美術文化に対する深い理解と親しみを持ち、より豊かな市民生活を享受できる場とする」とともに、郷土ゆかりの美術作品、国際的視野と高い水準をもった美術作品及び美術資料を収集・保存・展示して市民文化の向上を図る」という構想のもとに建設が計画された。

作品の収集は、①イギリス近代美術、②日本近代美術、③郷土ゆかりの美術、④本(版)の美術という柱をもっておこなわれている。特にイギリス近代美術について、体系的に収集したコレクションはこれまでの国内の美術館においても例を見ないもので、内外の大きな評価を得ている。

今後についても、この特色あるコレクションの一層の充実を図りつつ、調査研究、展示、教育普及など多彩な活動をおこなっていく。

また郡山市街から安達太良山までを一望できる緑豊かな丘陵地の自然を背景とした恵まれた立地条件を十分に生かし、多くの方々にやすらぎを与える場とするために、整備していく。

Ⅱ 展覧会事業

常設展

平成27年度 第1期 平成27年4月29日～7月26日

展示室1. 銅版画で見るイギリスの風景 展示室2. 明治の絵画－画家たちの挑戦－
展示室3. 抽象絵画を楽しむ 展示室4－①美しい本の世界 展示室4－②暮らしを彩る

平成27年度 第2期 平成27年7月29日～10月12日

展示室1. 水彩画の魅力 展示室2. 人を描く 展示室3. 現代美術を楽しむ
展示室4－①ホイッスラーとその追随者たち 展示室4－②新収蔵品:佐藤潤四郎のデッサン

平成27年度 第3期 平成27年10月15日～12月27日

展示室1. イギリスの美術－風景画と肖像画－ 展示室2. 日本油彩画の表現
展示室3. 郡山の彫刻 展示室4－①版芸術と技法 展示室4－②ガラスに刻む

平成27年度 第4期 平成28年1月16日～4月17日

展示室1. 小特集:ピアズリーの世界 展示室2. 静物を描く
展示室3. 戦中戦後のリアリズム 展示室4－①イギリス現代版画 展示室4－②イギリスの工芸

企画展

平成27年4月21日～6月14日

超絶技巧! 明治工芸の粋

平成27年6月27日～8月23日

イメージの力 国立民族学博物館コレクションにさぐる

平成27年9月5日～10月18日

サントリー美術館所蔵品展

平成27年10月31日～12月23日

没後70年 木彫の正統 三木宗策の世界展

平成28年1月16日～3月21日

没後20年 ルーシー・リー展

1) 常設展

平成27年度 第1期 平成27年4月29日～7月26日

展示室1 銅版画で見るイギリスの風景

18世紀のイギリスでは教養のある上流階級の子弟の間で、古典芸術に描かれたイタリアの風景を巡るグランド・ツアーが盛んに行われていました。一方で18世紀後半、ウィリアム・ギルピンが「ピクチャレスク」という概念を提唱し、イギリス国内の美しい風景を訪ねる国内旅行が流行します。

ターナーを初め、多くの画家がイギリス各地のピクチャレスクな風景を銅版画に起こし出版しました。そのほとんどは画家と彫版師との連携によって制作されています。画家が描く美しい風景と、高度な技術で版画に表した彫版の巧みさをご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ポール・サンドビー	ウォリック城シーザー塔	1778～82	水彩、インク・紙
ポール・サンドビー	『ウェールズ12景』第1部より3点	1775	アクアチント、エッチング・紙／ポートフォリオ
ポール・サンドビー	『ウェールズ12景』第3部より2点	1777	アクアチント、エッチング・紙／ポートフォリオ
ポール・サンドビー	聖アウグスチヌス修道院の大門、カンタベリー	1782	アクアチント・紙
トマス・ガーティン	エア川沿いのカークストール修道院	1824	メゾチント・紙
トマス・ガーティン	フォックス川沿いのヨーク大聖堂		メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	海と空の習作	1825頃	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	クローヴェリー湾、デヴォンシャー	1824	エッチング、ラインエングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ドーバー海峡	1827	エッチング、ラインエングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カリュー城、ペムブローク		ラインエングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	アーヴロン川の水源		エッチング、メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ノラム城		エッチング、メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	スペンサーのフェアリー・クイーン		エッチング、メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス
ジョン・コンスタブル	デダムの谷	1802	油彩・紙、キャンバス
ジョン・コンスタブル	『イングランドの風景』より4点	1830～2	メゾチント・紙／ポートフォリオ
ジョン・コンスタブル	虹、ソールズベリー大聖堂	1834～7	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	コニストンの荒地	1797頃	水彩、鉛筆・紙
トマス・ゲインズボロ	荷馬車のいる丘陵地帯の森の風景	1745～46	油彩・キャンバス
サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョンズ	フローラ	1868-84	油彩・キャンバス
アルバート・ジョゼフ・ムーア	黄色いマーガレット	1881	油彩・キャンバス
ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス	フローラ	1914頃	油彩・キャンバス
リチャード・ウィルソン	キケロの別荘		油彩・キャンバス
ウィリアム・ホガース	サミュエル・マーティンの肖像	1758-60頃	油彩・キャンバス
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
トマス・ゲインズボロ	オース夫人の肖像	1767	油彩・キャンバス
ウィリアム・ギルピン	『風景六種』	1798	エッチング、アクアチント・紙／ポートフォリオ
トマス・ガーティン／ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー他	『リンカーン州の名所風景』	1797～1801	ラインエングレーヴィング・紙／本
ジョン・ヴァーレー	『遠近画法と風景画の構想についての論文』		エッチング、アクアチント・紙／本
リチャード・アーロム	『真実の書(リーベル・ヴェリタティス)』第2巻		エッチング、メゾチント・紙／本

展示室2 明治の絵画—画家たちの挑戦—

開国以降、本格的にもたらされた西洋の絵画技法に意欲的に取り組んだ画家たちは、風景や人物の表現に新境地を開きました。高橋由一や亀井竹二郎らは、明治の初期にいち早く油彩を用いて写実的な表現を試みた先駆者です。五姓田芳柳らは、来日した外国人の土産用に日本の風俗を描いて人気を誇りました。西欧への渡航がふえると、原撫松をはじめ多く

の画家が英国に留学します。明治後期には、西欧の芸術思潮を受け入れながら、日本人の自然感や感受性を意識する画家たちが現われました。

今回の特集では、時代の感性に呼応しつつ、絵画表現を真摯に追い求めた明治の画家たちの作品をご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
チャールズ・ワーグマン	西洋紳士スケッチの図	1870年代	油彩・キャンバス
高橋由一	風景(鳥海山)	1880代	油彩・キャンバス
亀井竹二郎	「石版・懐古東海道五十三駅真景」油彩原画より金谷驛 興津驛 吉原驛 大磯驛 川崎驛	1877~78(明治10~11)	油彩・紙
五姓田芳柳	風俗図屏風		水彩・紙
諫山麗吉	甲州猿橋		油彩・キャンバス
山本芳翠	園田銚像	1885(明治18)	油彩・キャンバス
伊藤快彦	夏の静物		油彩・板
百武兼行	風車のある風景	1877(明治10)	油彩・キャンバス
原 撫松	奈良の夕	1911(明治44)	油彩・キャンバス
小林万吾	朽葉の袖	1907(明治40)	油彩・キャンバス
高村真夫	風景	1903(明治35)	油彩・キャンバス
高木背水	英国帝室植物園		油彩・キャンバス
浅井 忠	収穫	1893(明治26)頃	油彩・キャンバス
白滝幾之助	編物をする少女	1895(明治28)	油彩・キャンバス
岸田劉生	銀座数寄屋橋	1909(明治42)頃	油彩・板
岸田劉生	銀座と数寄屋橋畔	1911(明治44)頃	油彩・板
高橋勝蔵	桃と葡萄	1909(明治42)頃	油彩・キャンバス

展示室3 抽象絵画を楽しむ

抽象絵画は、人物や風景など具体的なものを見たままに描くのではなく、作品を形や色によって構成しています。同じ形であっても、色や配置の違いによって、受ける印象はまったく違うものになります。

リチャード・ゴーマン(1946年生)は、次のように言っています。「私の作品には、メッセージ性や解説的な

要素は含まれていません。色彩や形の織りなす絶妙なバランスこそが私の作品であります。」(『リチャード・ゴーマンII』展カタログ[2010年、三鷹市美術ギャラリー、他開催]より)

見えるものの再現から解放された抽象絵画をお楽しみください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ベン・ニコルソン	ワン・イン・ワン	1978	ミクストメディア・メゾチント
デイル・バーバラ・ヘップワース	ふたつのフォルム、青	1958	油彩・ボード
ヴィクター・パスモア	ワインレッド(version 1)	1964	レリーフペインティング・パネル
アラン・グリーン	ドローイング336	1995	ミクストメディア・紙
アラン・グリーン	ドローイング339	1995	ミクストメディア・紙
リチャード・ゴーマン	フラット(ナイン・ペインティングスより)	2000	油彩・キャンバス
今井俊満	コンポジション23	1959(昭和34)	油彩・キャンバス
佐藤 敬	石の対話	1958(昭和33)	油彩・キャンバス
吉原治良	円・赤	1969(昭和44)	シルクスクリーン・紙
吉原治良	円・白	1969(昭和44)	シルクスクリーン・紙
勝呂 忠	ひろがり(A)	1962(昭和37)	油彩・樹脂・キャンバス
勝呂 忠	浮遊する3本の線	1989(平成元)	油彩・キャンバス
堂本尚郎	1962-18(二元的なアンサンブル)	1962(昭和37)	油彩・キャンバス
鎌田正蔵	作品B	1956(昭和31)	油彩・キャンバス 鎌田正蔵氏寄贈
佐藤昭一	作品63	1963(昭和38)	セメント、顔料・板 寄託作品

展示室4-① 美しい本の世界

私たちにとって、とても親しみやすく身近な芸術作品ともいえる書物。内容はもちろんですが、装丁、表紙、文字、挿絵には、本を手にする人を惹きつける芸術的な魅力があふれています。

イギリスは、数多くの「美しい本」を世に送り出している国のひとつです。世界三大美書といわれているものはすべてイギリスの本で、ここでご紹介する『ジェ

フリー・チャーサー作品集』はそのうちの一冊です。また、日本でも多くの画家や版画家たちが本の挿絵を手掛けました。

思わず手にとってみたくなるような装丁、美しい挿絵。今回は、イギリスと日本の「美しい本」をご紹介します。作家の趣向が凝らされた本の世界をどうぞお楽しみください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
トマス・ビューイック	『博物図集』	1809	木口木版／本
ディエル兄弟(刻)	『イギリス風景画集』	1863	木口木版／本
ディエル兄弟(刻)	『救世主イエス・キリストの寓話』(再版)	1864	木口木版／本
アーサー・ジョセフ・ギヤスキ(画)	S.ベアリング・グールド編『童謡集』	1895	木口木版／本
リュシアン・ピサロ(画)	C.ペロー『眠れる美女と赤ずきん』	1899	木口木版／本
ローレンス・ハウスマン(画)	C.ロセッティ『ゴブリン・マーケット』	1893	ラインブロック／本
サー・エドワード・コラーバーン・ジョーンズ(画)	J.O.ハリウエル編『ウェールズのバーシヴァル脚』	1895	木口木版／本
ウィリアム・ブ라운・マゴウーガル(画)	J.キーツ『イザベラ(バジルの壺)』	1898	木口木版／本
ジョン・ナッシュ(画・刻)	H.E.ベイツ『花』	1935	木口木版／本
エリック・ウィリアム・ラヴリアス	L.A.ジョージ『辻馬車とハト』	1935	木口木版／本
山下清澄	『七つの幻想庭園』(アンドレ・P・マンディアルグ著)	1983(昭和58)	紙・エナメル、アクリル、鉛筆、色鉛筆
田中恭吉 恩地孝四郎	『月に吠える』(萩原朔太郎著、感情詩社、白日社出版部)	1917(大正6)	木版他／本
山本芳翠(挿画)	『蜻蛉集』(ユディット・ゴートイエ著)	1884(明治21)	
川西 英	『曲馬写生帖』(版画荘)	1934(昭和9)	木版／本
川西 英	『CARMEN』(版画荘)	1934(昭和9)	木版／本
川西 英	『書窓版画帖十連聚其二 港都情景』(アオイ書房)	1941(昭和16)	木版／本
川上澄生	『書窓版画帖十連聚其三 文明開化往来』(アオイ書房)	1941(昭和16)	木版／本
関野準一郎	『書窓版画帖十連聚其五 東京の窓』(アオイ書房)	1942(昭和17)	エッチング／本
武井武雄	『書窓版画帖十連聚其六 宇宙説』(アオイ書房)	1942(昭和17)	エッチング、鉛筆、鉛／本
逸見 享	『書窓版画帖十連聚其七 水韻譜』(アオイ書房)	1942(昭和17)	木版／本
勝呂 忠	『ハヤカワポケットミステリーブック』表紙原画より「カリブ」他11点	1926(大正15)～2010(平成22)	油彩・キャンバスボード
サー・エドワード・コラーバーン・ジョーンズ(画)	F.エリス編纂『ジェフリー・チャーサー作品集』	1896	木口木版／本
サー・エドワード・コラーバーン・ジョーンズ(画)	W.モリス『世界の果ての泉』	1896	木口木版／本
ディエル兄弟(刻)	W.ワーズワース『詩集』	1859	木口木版／本
ディエル兄弟(刻)	R.ピゴット編『人の一生』	1866	木口木版／本
ディエル兄弟(刻)	『ディエルのゴールドスミス作品集』	1875	木口木版／本

展示室4-② 暮らしを彩る

生活に深くかかわる器や道具は、私たちの日々の暮らしを豊かに彩る役割を果たしています。もともと、工芸品には、目を楽しませ、心を和ませるような色やかたち、質感などと同時に実用性が求められます。すぐれた作品には、作家の個性、アイデア、卓越した技

と機能美がみごとに調和しています。

今回は、郡山市出身のガラス工芸家佐藤潤四郎とイギリスの19世紀末の工芸デザイナー、クリストファー・ドレッサーの秀作を展示します。食を包み、物を入れ、空間を飾った工芸品の数々をご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
佐藤潤四郎	オリンピックブルー硝子皿	1941(昭和16)頃	宙吹
佐藤潤四郎	皿(グリーン)		宙吹
佐藤潤四郎	ルーマー杯・なみなみのワインを		宙吹・グラヴェール、ブランチ
佐藤潤四郎	植物文瓶		宙吹・グラヴェール
佐藤潤四郎	葡萄文ワイングラス		宙吹・グラヴェール
佐藤潤四郎	デザイン・カガミクリスタル制作 『スーパーニッカ』手吹きボトル	1962(昭和37)頃	宙吹
佐藤潤四郎	デザイン・カガミクリスタル制作 ウィスキーボトル『インベリアル』		機械生産
佐藤潤四郎	タンブラー		型吹・グラヴェールなど
佐藤潤四郎	灰皿		型押し
佐藤潤四郎	花器・穴があいてちよっと考えた	1980～82(昭和55～57)頃	宙吹・カット
佐藤潤四郎	ブルー花器		宙吹
佐藤潤四郎	花器(カレット入り)		宙吹・カレット封入
佐藤潤四郎	花器・ちよっと考えて(樹)		宙吹・グラヴェール
佐藤潤四郎	オブジェ・羊車	1980～82(昭和55～57)頃	宙吹・ブランチ
佐藤潤四郎	鍛鉄吹込花器(顔)	1986(昭和61)	鍛鉄吹込
佐藤潤四郎	水差		宙吹・カット
佐藤潤四郎	クリスタル六角鉢		宙吹
クリストファー・ドレッサー	ファイヤー・ドッグ		真鍮
クリストファー・ドレッサー	真鍮製燭台		真鍮

作者名	作品名	制作年	技法・材質
クリストファー・ドレスサー	スプーン・ウォーマー		金属、電気メッキ
クリストファー・ドレスサー	クラレットジャグ(ぶどう酒用容器)		ガラス、金属、電気メッキ
クリストファー・ドレスサー	六角型薬味入れセット		ガラス、金属、電気メッキ
クリストファー・ドレスサー	シュガー・バスケット(穴あきふるい付き)		金属、銀メッキ
クリストファー・ドレスサー	ナイフとフォークのセット		金属、電気メッキ
クリストファー・ドレスサー	ミルク入れ	1880	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレスサー	トーストラック(ポイントアーチ型)	1881	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレスサー	柳編み把手付きダブルバスケット	1881	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレスサー	塩入れとスプーン	1884	銀
クリストファー・ドレスサー	銀製ティーセット	1885	銀、象牙、金メッキ
クリストファー・ドレスサー	柳編み把手付きケトル		金属、電気メッキ
クリストファー・ドレスサー	草花象嵌模様足付皿		銀、銅、真鍮
クリストファー・ドレスサー	緑釉サラダボール(サーバー付)	1879～82頃	陶器、金属、電気メッキ
クリストファー・ドレスサー	色絵草花模文隅切角皿	1886	陶器
クリストファー・ドレスサー	黄緑釉水差(一対)	1892～95	陶器

ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
●1階				
細川宗英	装飾古墳シリーズ9	1963(昭和38)	セメント	細川明子氏寄贈
笠置季男	躍進	1958(昭和33)	セメント	
アントニー・ゴームリー	量子雲XXIII	2000	ステンレス・スチール棒	
アントニー・ゴームリー	領域XIII	2000	ステンレス・スチール棒	
●2階展示ロビー				
佐藤潤四郎	陶器で仏足跡2/石で仏足跡		陶器/石	寄託作品
北村四海	井冰鹿の娘	1917(大正6)	大理石	
柳原義達	女の首	1958(昭和33)	ブロンズ	
佐藤忠良	群馬の人	1952(昭和27)	ブロンズ	
アリスティード・マイヨール	もの思い	1930	ブロンズ	大高善二郎氏寄贈
●前庭				
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ	

第1期 常設展示室1



展示室1 水彩画の魅力

18世紀から19世紀にかけて産業革命を成し遂げたイギリスでは、同時代に美術の分野の黄金期を迎えました。絵具や紙など、画材製造技術の改良、量産も追い風となって、イギリスでは水彩画が大きく発展しました。ターナー、ガーティンらの活躍は、それ

まで重要視されにくかった水彩画を、油彩画と同等の位置にまで高めました。

やがて、幕末から明治期に來日したイギリス人画家たちによって、日本においても水彩画の一大ブームがもたらされるのです。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ジョン・ロバート・カズンズ	サヴォワ州、サランシュ附近のアルプス渓谷		水彩・紙
トマス・ローランドソン	北ウェールズ、カマーゼンの風景、教会へ向かう人々	1790年代初頭	水彩・紙
トマス・ガーティン	エクセター大聖堂	1798頃	水彩・紙
ジョン・セル・コットマン	ルーアン、ラピュセル広場のブルトルド館	1823	水彩・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	サン・ゴタル峠の下り道	1848	水彩・紙
ピーター・デ・ウイント	ウィットビー		水彩・紙
デイヴィッド・コックス	川辺の騎手と人物	1850	水彩・紙
トマス・マイルズ・リチャードソン・ジュニア	コンウェイ城の日没	1855	水彩・紙
アルバート・グッドウィン	エンゲルベルク		ペン、水彩・紙
サー・アルフレッド・イースト	雨の湯本	1889	水彩・紙
サー・アルフレッド・イースト	荒れ模様	1889頃	水彩・紙
アルフレッド・ウィリアム・パーソンズ	箱根の秋		グワッシュ・紙
ジョン・ヴァーレー・ジュニア	宮島の街並	1890	水彩・紙
ジョン・ヴァーレー・ジュニア	雪の京都、祇園へゆく道	1891	水彩・紙
リチャード・ウィルソン	キケロの別荘		油彩・キャンバス
サー・ジョシユア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
ジョン・コンスタブル	デダムの谷	1802	油彩・紙、キャンバス
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダーブリッジ	1810	油彩・キャンバス
ジョン・マーティン	フレッシュウォーター・ベイ	1815頃	油彩・キャンバス
サー・エドワード・コラー・バーン＝ジョーンズ	フローラ	1868-84	油彩・キャンバス

佐藤克也氏寄贈

展示室2 人を描く

画家はなぜ人を描くのでしょうか。自画像の場合、画家にとって一番身近なモデルが自分自身であるということもあるかもしれません。

強烈な自意識を感じさせる自画像もあれば、絵画の実験として、まるで自分を他人のように描いた絵もあります。

また、知人を描く場合や、依頼を受けて他人を描くという場合もあります。その場合、画家は本人ですら気づかなかった外見的特徴のみならず、内面まで描き出すことさえあります。

画家にとって人を描くということは、まさに描くこととは何かというあくなき探求なのかもしれません。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
五姓田芳柳	六美人図(一～六)		水彩・絹
伊藤快彦	子供像		油彩・キャンバス
原 撫松	婦人像	1906～7(明治39～40)頃	油彩・キャンバス
有島生馬	少女	1908(明治41)	油彩・キャンバス
木村莊八	祖母の顔	1916(大正5)	油彩・板
黒田清輝	東久世伯爵肖像エスキース	1894(明治27)	油彩・キャンバス
小出楯重	自画像	1918(大正7)	油彩・キャンバス
里見勝蔵	軍人	1927(昭和2)	油彩・キャンバス
横井弘三	子供		油彩・キャンバス
吉田謙吉	婦人	1923(大正12)	油彩・キャンバス
中山 巍	赤ジレ座婦	1927(昭和2)	油彩・キャンバス

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
内田 巖	首飾りの女	1937(昭和12)頃	油彩・キャンバス	武田光司コレクション寄贈
今西中通	子供を抱く女	1943(昭和18)頃	油彩・キャンバス	
中沢弘光	舞妓ノ一	1944(昭和19)	油彩・キャンバス	
伊原宇三郎	靴職人	1925~9(大正14~昭和4)頃	油彩・キャンバス	武田光司コレクション寄贈
青津清喜	窓際	1950(昭和25)	油彩・キャンバス	
佐藤昭一	マフラーの自画像	1945(昭和20)頃	油彩・キャンバス	佐藤昭一氏寄贈

展示室3 現代美術を楽しむ

何を表しているのか、なぜそのように表現したのか一不思議な作品を目の前にして、現代美術を苦手と感じている方も多いかもかもしれません。近代から現代にかけて、芸術家たちは独自の表現を模索し、美術は多様な広がりを見せました。

線、形態、色の配置、筆の運び、素材の使い方などに注目して、自由に想像し、作品をじっくり味わっ

てみてください。作者の工夫が凝らされた様々な技法や素材には、それぞれ特徴的な良さがあり、そこから生まれる表現の豊かさを感じられることでしょう。

色彩やかたち、素材など、感覚に直接うったえかけてくるような表現のおもしろさを感じながら、自由な発想、視点で現代美術をお楽しみください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ベン・ニコルソン	ワン・イン・ワン	1978	ミクストメディア・メゾナイト
ベン・ニコルソン	水差しと楕円形	1973	オイルウォッシュ、鉛筆・紙、木製ボード
バーバラ・ハップワース	石柱(ノヴァーナ)	1953	油彩・パネル
デイヴィッド・ホックニー	『六つのグリム童話(C版)』より	1969~70	
	・湖		エッチング、アクアチント・紙
	・ラブンツェル		エッチング、アクアチント・紙
	・家		エッチング・紙
	・鐘楼		エッチング、アクアチント・紙
	・燃える二つの死体		エッチング、アクアチント、ドライポイント・紙
	・ガラスの山で何年もすごした女王		エッチング、アクアチント・紙
アントニー・ゴームリー	量子雲	2000	アニリン塗料・紙(3枚組)
アントニー・ゴームリー	領域 XIII	2000	ステンレス・スチール棒
アントニー・ゴームリー	量子雲 XXIII	2000	ステンレス・スチール棒
クリスト	日本とアメリカ合衆国による共同計画アンブレラ(黄)	1987	鉛筆、木炭、クレヨン、パステル、地図、エナメル塗料・紙
クリスト	日本とアメリカ合衆国による共同計画アンブレラ(青)	1987	鉛筆、木炭、クレヨン、パステル、地図、エナメル塗料・紙
池田満寿夫	カラーージュ	1968(昭和43)	カラーージュ、グワッシュ・紙
鶴岡政男	ひとりぼっち		パステル、色鉛筆・紙
佐藤昭一	コンポジション	1959(昭和34)	油彩・キャンバス
難波田龍起	建物の構成	1954(昭和29)	油彩・キャンバス

展示室4-① ホイッスラーとその追隨者たち

ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー(1834-1903)はアメリカに生まれ、イギリスで活躍した19世紀を代表する画家です。ホイッスラーは20歳でエッチングという銅版画技法を学び、ロンドンの風景や都市部で働く人々などをテーマに数多くの版画作品を制作しました。幻想味あふれ、ジャポニスム(日

本趣味)を取り入れた大胆な構図による独自の作風は、多くの人から称賛を浴び、ホイッスラーは銅版画での高い評価を確立しました。

今回は、ホイッスラーのほか、彼から影響を受けた画家たちの版画作品を併せてご覧いただきます。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	寢床での読書	1858	エッチング・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	ランプの明かりでの読書	1858~9	エッチング、ドライポイント・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	グリニッジ公園	1859	エッチング・紙

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	ビリングズゲイト	1859	エッチング、ドライポイント・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	貧しき食事	1859	エッチング・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	ヴィーナス	1859	エッチング・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	ラルエツト坊や	1859	エッチング・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	自由貿易波止場	1877	エッチング・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	早朝	1878	リトチント・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	渡し場 No.2	1880	エッチング、ドライポイント・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	聖ピアッジョ	1880	エッチング・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	バルコニー、アムステルダム	1889	エッチング・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	吊り上げ橋、アムステルダム	1889	エッチング・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	ピエロ	1889	エッチング・紙
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	崩れかけた家屋		エッチング・紙
モーティマー・メンペス	新作芝居	1887頃	エッチング、ドライポイント・紙
ジョセフ・ベネル	パーク・ロウ	1904	エッチング・紙
ジョセフ・ベネル	ベッセマーへ向かって	1908	エッチング・紙
ウォルター・シッカート	ムガール・タヴァーン、ドルーリー・レーン	1908	エッチング・紙
ミュアヘッド・ボーン	サンティアゴ・アポストリ運河と橋、ヴェニス	1916~24	エッチング・紙
テオドル・ルーセル	門、チェルシー		エッチング・紙

展示室4-② 新収蔵品:佐藤潤四郎のデッサン

郡山市出身のガラス工芸作家、佐藤潤四郎のデッサンは、ふんわりとした柔らかな線とにじみが特徴的です。旅の先々での何気ない人や風景は、潤四郎の温かな視線によって紙の上に移し替えられています。

彼がデザインしたものを形にするガラス職人たちの姿は、ガラスの神様として描かれています。そこには、

職人たちへの深い愛情と感謝の気持ちが込められています。そして、それらすべてがまた、彼の創造の源になっていたのです。

今回は、平成26年度に収蔵した作品を中心にご紹介いたします。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
佐藤潤四郎	窯場の朝(ルツボの中)		水彩・紙	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	白鳥とレダ		水彩・紙	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	タンブラーを吹く人の足元		水彩・紙	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	ガラスで作ろう		水彩・紙	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	ロンドンの屋根		水彩・紙	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	インド一本の道		水彩・紙	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	インド・サリーの女		水彩・紙	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	水指(カットグラス)	1986(昭和61)	ガラス/型吹き・カット	
佐藤潤四郎	皿(グリーン)		ガラス/宙吹き	
佐藤潤四郎	三角一輪挿し(グリーン)		ガラス/宙吹き	
佐藤潤四郎	四角一輪挿し(グリーン)		ガラス/宙吹き	
佐藤潤四郎	ボウル(グリーン)		ガラス/宙吹き	
佐藤潤四郎	タンブラー(スモークグラス)(2点組)		ガラス/宙吹き	
佐藤潤四郎	アイスクリーム皿		ガラス/宙吹き	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	シュガーポット		ガラス/型吹き・金属	
佐藤潤四郎	植物文花器		金工	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	オブジェ・魚拓	1972(昭和47)頃	ガラス/宙吹	
佐藤潤四郎	オブジェ・魚拓	1972(昭和47)頃	ガラス/宙吹・カレット封入	
佐藤潤四郎	オブジェ・羊車	1980~82(昭和55~57)頃	ガラス/宙吹・プランツ	
佐藤潤四郎デザイン/カギミカタル制作	ウイスキーボトル「インベリアル」		ガラス/機械生産	サンリー株式会社提供
佐藤潤四郎デザイン/カギミカタル制作	「スーパーニッカ」手吹きボトル	1962(昭和37)頃	ガラス/宙吹	川崎清氏寄贈
佐藤潤四郎	魚(オレンジ)	1973~76(昭和48~51)頃	ガラス/宙吹・カレット封入	
佐藤潤四郎	魚(ブルー)	1973~76(昭和48~51)頃	ガラス/宙吹・カレット封入	
佐藤潤四郎	ガラス作業之図	1984(昭和49)頃	墨・紙/扁額	田淵十一氏寄贈
佐藤潤四郎	陶皿に描く1		陶器	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	陶皿に描く2		陶器	大方竜子氏寄贈

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
佐藤潤四郎	陶皿に描く3		陶器	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	陶皿に描く4		陶器	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	陶板・比翼の鳥	1975(昭和50)	陶器	内藤雅夫ご夫妻寄贈
佐藤潤四郎	陶板・仏足跡1		陶器	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	陶板・仏足跡、五輪塔		陶器	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	陶板・仏足跡2		陶器	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	陶板・天使		陶器	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	オブジェ・ガラスを吹く人(2点組)		金工(鍛鉄)	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	オブジェ・羊車(鍛鉄)		金工(鍛鉄)	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	石で仏足跡		石彫	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	陶器で仏足跡1		陶器	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	陶器で仏足跡2		陶器	大方竜子氏寄贈

ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
●1階				
細川宗英	装飾古墳シリーズ9	1963(昭和38)	セメント	細川明子氏寄贈
笠置季男	躍進	1958(昭和33)	セメント	
●2階展示ロビー				
三坂耿一郎	めわらべ	1974(昭和49)	ブロンズ	
北村四海	井冰鹿の娘	1917(大正6)	大理石	
柳原義達	女の首	1958(昭和33)	ブロンズ	
佐藤忠良	群馬の人	1952(昭和27)	ブロンズ	
佐藤静司	女の首	1971(昭和46)	木	
●前庭				
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ	

第2期 常設展示室3



展示室1 イギリスの美術－風景画と肖像画－

18世紀から19世紀にかけて、イギリスでは美術の分野で大きな発達が見られます。なかでも、風景画と肖像画はイギリス美術の大きな柱となっています。貴族社会のなかでもはやされた肖像画は、18世紀後半に、ホガースやゲインズボロ、レイノルズらによって確立されました。鋭い人間観察に基づいて描かれた作品には、強い存在感があります。

また、それまで絵画のジャンルの中では低い地位で扱われていた風景画は、ターナーやコンスタブルといった巨匠たちの活躍によってイギリス国内を中心に発展し、後の美術史の流れに大きな影響を与えました。

風景の捉え方は画家によって様々です。風景と向き合う画家の眼を意識しながら鑑賞してみるのもおもしろいかもしれません。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
アレクサンダー・カズンズ	川岸に神殿のある風景		水彩・紙
トマス・ローランドソン	北ウェールズ、カマーゼンの風景、教会へ向かう人々	1790年代初頭	水彩・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ベン・アーサー	1819	エッチング、メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	エディスタン灯台	1824	メゾチント・紙
ジョン・コンスタブル	穀物畑の農家	1844頃	メゾチント・紙
ジョン・コンスタブル	水浴びをする人たち、ハムステッド	1845以前	メゾチント・紙
サー・ジョン・エヴァレット・ミレイ	自画像		エッチング・紙
サー・ジョン・エヴァレット・ミレイ	ジェームズ・クラーク・フックの肖像		エッチング・紙
ウィリアム・ホガース	サミュエル・マーティンの肖像	1758-60頃	油彩・キャンバス
サー・ジョシュア・レイノルズ	キティ・フィッシャーの肖像習作	1759-67頃	油彩・キャンバス
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
トマス・ゲインズボロ	オース夫人の肖像	1767	油彩・キャンバス
サー・トマス・ローレンス	ラビー・ウィリアムズ牧師	1790年代初頭	油彩・キャンバス
サー・エドワード・コラー・ノバーン＝ジョーンズ	フローラ	1868～84	油彩・キャンバス
リチャード・ウィルソン	キケロの別荘		油彩・キャンバス
ジョン・コンスタブル	デダム谷	1802	油彩・紙、キャンバス
ジョン・クローム	ヘレスドンの眺め	1807頃	油彩・キャンバス
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス
サー・アルフレッド・イースト	九月の陽光		油彩・キャンバス

展示室2 日本油彩画の表現

江戸時代、日本に西洋絵画がもたらされると、人々はその高い写実性に驚きました。浮世絵や漢画を手掛けていた司馬江漢は西洋画法を研究し、油彩画で日本の風景や風俗を描きます。近代日本洋画の父といわれる高橋由一も、初めは狩野派に学びましたが、西洋絵画の迫真的な画法に衝撃を受けて外国人画家から油彩技術を学びました。

明治期に入ると、日本は急速に近代化を目指し、その影響は美術にも及びます。日本人画家のヨーロッパへの留学が盛んになり、東京美術学校などが開設されました。洋画が普及すると、画家の関心は技術の習得から、独自の表現の追求へと移行していきます。最先端の西洋美術を受容し、自分のものにしようとした日本人画家の取り組みをご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
司馬江漢	飛鳥山図	寛政後期	油彩・絹
高橋由一	風景(鳥海山)	1880年代	油彩・キャンバス
百武兼行	風車のある風景	1877(明治10)	油彩・キャンバス
山本芳翠	菊と蕪と蝸牛		油彩・キャンバス、板
浅井 忠	収穫	1893(明治26)	油彩・紙、板
原 撫松	日本髪若い女性像		油彩・キャンバス
黒田清輝	東久世伯爵肖像エスキース	1894(明治27)	油彩・キャンバス
中沢弘光	風景(海)	1921(大正10)	油彩・キャンバス

作者名	作品名	制作年	技法・材質
山下新太郎	苔寺	1922(大正11)頃	油彩・キャンバス
木村莊八	祖母の顔	1916(大正5)	油彩・板
小出楯重	自画像	1918(大正7)	油彩・キャンバス
満谷国四郎	冬	1922(大正11)	油彩・キャンバス
岸田劉生	銀座と数寄屋橋畔	1911(明治44)頃	油彩・板
中川一政	冬の郊外(葱畑)	1918(大正7)頃	油彩・キャンバス
吉井 忠	山湖	1931(昭和6)	油彩・キャンバス
石川寅治	房総風景	1923-24(大正12~13)頃	油彩・キャンバス
藤島武二	「耕到天」習作	1936(昭和11)	油彩・キャンバス
齋藤与里	海辺秋景	1937(昭和12)頃	油彩・キャンバス
梅原龍三郎	静物		油彩・キャンバス
安井曾太郎	初秋の北京	1944(昭和19)	油彩・キャンバス
中村 彝	朝顔	1923(大正12)	油彩・キャンバス
中山 巍	花鳥B	1934(昭和9)	油彩・キャンバス

展示室3 郡山の彫刻

大正から昭和戦前期にかけて官展を中心に活躍した木彫家・三木宗策。その門下には佐藤静司をはじめとして本田晶彦、柳沼曹雲といった市内および県内出身の作家が集まりました。一方、塑造によって抽象表現を取り入れた人体を制作した湖南出身の三坂耿一郎は、日展を代表するひとりとして活躍しました。

今回は、企画展「没後70年 三木宗策の世界 木

彫の正統」開催に合わせ、三木の後に続いた世代の彫刻家たち—佐藤静司、本田晶彦、三坂耿一郎を紹介します。

市内には駅前や公共施設周辺など、三坂や佐藤のブロンズのモニュメントが点在しています。この機会にこうした市内のモニュメントなどにも関心をよせ、生活の中で彫刻を楽しんでみませんか。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
本田晶彦	少年	1960(昭和35)	木彫	本田悦久氏寄贈
本田晶彦	裸婦	1964(昭和39)	木彫	本田悦久氏寄贈
本田晶彦	トルソ	1967(昭和42)	木彫	本田悦久氏寄贈
佐藤静司	獺	1936(昭和11)	木彫	
佐藤静司	合掌	1986(昭和61)	木彫	
佐藤静司	フルーティスト	2000(平成12)	木彫	佐藤静司氏寄贈
佐藤静司	街の詩	2006(平成18)	木彫	佐藤静司氏寄贈
三坂耿一郎	まとう	1967(昭和42)	ブロンズ	
三坂耿一郎	女童	1974(昭和49)	ブロンズ	

展示室4-① 版芸術と技法

版画は、版に絵柄を施し、紙などに写し取る方法で作られます。複数性があるため、版画は本の挿絵をはじめ、古くからいろいろな用途に使われてきました。

版種には木版、銅版、石版、シルクスクリーンなど様々あり、技法も多岐にわたっています。版画は古くから作

られてきましたが、とりわけ近代以降、それぞれの版の性質を生かした個性豊かな芸術表現が数多く生まれました。

今回は、当館の版画コレクションから選りすぐった作品を展示し、代表的な版種と技法について紹介します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
●木版				
山本昇雲	『今すがた』より すずし顔	1906(明治39)	木版・紙	亀井よし子氏寄贈
吉田 博	神の島	1930(昭和5)	木版・紙	
フランク・ブランギン(画)漆原木虫(刻)	『木版画集』より ローザヌ橋 瑞西		木版・紙	
川上澄生	夜の銀座	1929(昭和4)	木版・紙	
斎藤 清	ノートルダム、パリ	1974(昭和49)	木版・紙	

作者名	作品名	制作年	技法・材質
トマス・ビューイック	野生の牝牛	1789	木口木版・紙
山本芳翠(画)合田 清(刻)	磐梯山噴火真図	1888(明治21)	木口木版・紙
日和崎尊夫	『FURESIMA』(坂本直昭著、創流舎)	1980(昭和55)刊	木口木版・紙/ポートフォリオ
柄澤 齊	『死と変容I 夜』より 水	1988(昭和63)刊	木口木版・紙/ポートフォリオ
●銅 版			
ウィリアム・ホガース	卵を割るコロンプス	1752	エッチング・紙
ジョン・マーティン	光の創造	1825	メゾチント・紙
エドアルド・キヨソネ	日本銀行兌換銀券 壱圓	1888(明治21)	エングレーヴィング・紙
石田有年	『京都名所五十景』のうち 洛北銀閣寺		
長谷川潔	シャトー・アルヌーの寺院	1932(昭和7)	メゾチント・紙
駒井哲郎	13	1959(昭和34)	エンレーヴィング、エッチング、アクリル紙
山下清澄	『七つの幻想庭園』(アンドレ・マンディアルグ著)	1983(昭和58)刊	エッチング、アクリル紙/ポートフォリオ
池田満寿夫	樹木	1961(昭和36)	ドライポイント、ルーレット・紙
●石 版			
亀井竹二郎	『国画余芳 正倉院御物』(印刷物蔵版) 『鎌倉海道五十三景複製』(蔵本御物町田信次郎画、丸山印刷所発行)のち 『四日市驛 燈明臺』『大磯驛 海濱晴景』 『平塚驛 馬入川』『川崎驛 六合川眺望』	1880(明治13)	石版/本
織田一磨	本郷龍岡町(『東京風景』から)	1891-92(明治24-25)	石版・紙/ポートフォリオ
瑛 九	拡声器	1917(大正6)	リトグラフ・紙
泉 茂	ほらふき	1957(昭和32)	リトグラフ・紙
オノサトシノブ	64-F	1958(昭和33)	リトグラフ・紙
●シルクスクリーン			
巖 嘸	テル・ミー・ナウ	1964(昭和39)	リトグラフ・紙
ウィリアム・スコット	ホワイボウルとブラックパン	1966(昭和41)	シルクスクリーン・紙
		1970	シルクスクリーン・紙

展示室4-② ガラスに刻む

ガラス工芸の作業は大きく「成形」と「加飾」に分けられます。全体のフォルムを形成するのが「成形」で、それにさまざまな文様や装飾物を加えることを「加飾」といいます。その「加飾」の技法のうち、今回はガラスの表面を刻んで加飾する技法にスポットを当てました。

たとえばカットやグラヴェールは江戸時代から日本でも行われていた技法で、前者は「切子」の訳で親しまれ

ています。サンドブラストは細かい砂を圧縮空気ですガラス面に吹きつけて、エッチングは腐食液でガラスを侵食させる技法で、見た目にはどちらも同じような状態になります。これらに加え、粘土の型をガラスに押し付けることで文様を刻むサンドキャストの作品も、貴重な型の原型とともに展示します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
佐藤潤四郎	花器	1986(昭和61)	型吹き・エッチング、カット
佐藤潤四郎	花器・穴があいてちょっと考えた	1980-82(昭和55~57)頃	型吹き・エッチング、カット
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺玄奘三蔵院舍利器(控)No.1	1980(昭和55)	宙吹き・カット
佐藤潤四郎	舍利器		宙吹き・カット
佐藤潤四郎	瓶・ガラスの神様		宙吹き・グラヴェール、プランツ
佐藤潤四郎	植物文一輪挿し		宙吹き・グラヴェール
佐藤潤四郎	大杯・ガラスを吹く人	1986(昭和61)	宙吹き・グラヴェール、プランツ
佐藤潤四郎	大杯・ワインを造る		宙吹き・グラヴェール、プランツ
佐藤潤四郎	ルーマー杯・みなみのワインを		宙吹き・グラヴェール、プランツ
佐藤潤四郎	葡萄文ワイングラス		宙吹き・グラヴェール
佐藤潤四郎	竹に雀文ワイングラス		宙吹き・グラヴェール、プランツ
佐藤潤四郎	タンブラー		型吹き・グラヴェールなど
佐藤潤四郎	花器・馬車に乗るガラスの神様	1973-6(昭和48~51)頃	宙吹き・サンドブラスト
佐藤潤四郎	花器・仏足跡ロータス		宙吹き・サンドブラスト
佐藤潤四郎	オブジェ・手	1984(昭和59)頃	サンドブラスト
佐藤潤四郎	オブジェ・仏足跡	1984(昭和59)頃	サンドブラスト
佐藤順四郎	オブジェ・象形文字(羊)	1984(昭和59)頃	サンドブラスト
佐藤潤四郎	オブジェ・仏足跡ロータス		エッチング、サンドブラスト

佐藤久枝氏寄贈

佐藤久枝氏寄贈

佐藤久枝氏寄贈

佐藤久枝氏寄贈

佐藤久枝氏寄贈

佐藤久枝氏寄贈

佐藤久枝氏寄贈

佐藤久枝氏寄贈

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
佐藤潤四郎	花器・アダムとイヴ		宙吹き・サンドブラスト	
佐藤潤四郎	硯屏・いのしし	1966(昭和41)頃	サンドキャスト	木村四郎氏寄贈
佐藤潤四郎	ペーパーウエイト・ペガサス		サンドキャスト	木村四郎氏寄贈
佐藤潤四郎	硯屏・ガラスの神様(複製)		サンドキャスト	木村四郎氏寄贈
佐藤潤四郎	上記3作品の雄型		耐火煉瓦	木村四郎氏寄贈
各務鑛三	クリスタル花瓶《鱗影》	1970(昭和45)頃	宙吹き・気泡封入、グラヴェール	田淵十一氏寄贈

ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
●1階				
細川宗英	装飾古墳シリーズ9	1963(昭和38)	セメント	細川明子氏寄贈
笠置季男	躍進	1958(昭和33)	セメント	
アントニー・ゴームリー	量子雲XXIII	2000	ステンレス・スチール棒	
アントニー・ゴームリー	領域XIII	2000	ステンレス・スチール棒	
●2階展示ロビー				
清水多嘉示	フランスの女	1926(昭和元)	ブロンズ	
柳原義達	女の首	1958(昭和33)	ブロンズ	
アリスティード・マイヨール	もの思い	1930	ブロンズ	大高善二郎氏寄贈
北村四海	井冰鹿の娘	1917(大正6)	大理石	
佐藤潤四郎	陶器で仏足跡		陶器	大方竜子氏寄贈
佐藤順四郎	陶器で仏足跡2		陶器	大方竜子氏寄贈
佐藤順四郎	石で仏足跡		石	大方竜子氏寄贈
●前庭				
ハリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ	

第3期 常設展示室3



展示室1 小特集:ビアズリーの世界

百花繚乱の19世紀末芸術において、イギリス生まれのオーブリー・ビアズリー(1872-1898)は「デカダンスの神童」として短くも類い稀な才能を開花させた異色の芸術家でした。ビアズリーの怪しくも魅力的な美の世界は、幾多の書物、あるいは当時創刊が相次いだ美術雑誌を通じて繰り広げられます。繊細で装

飾性にあふれた線と大胆で比類ない黒と白のコントラストが織りなすビアズリーの独創的な作風は、ヨーロッパの芸術家はもとより、日本の画家たちにも大きな影響を与えました。今回は、小特集として鬼才と評されたビアズリーの独創的な作品の数々を紹介します。

作品名	制作年
オーブリー・ビアズリー	
おまえの口に口づけしたよ、ヨカナン(オスカー・ワイルド『サロメ』挿絵)	1893
エミール・ゾラの失望	1893
レジャース	1893～4
J.ラムズデン・プロバートの蔵書票(『イエローブック』第1巻挿絵)	1893
『イエローブック』ポスターデザイン	1894
『イエローブック』第1巻タイトル・ページデザイン	1894
夜景(『イエローブック』第1巻挿絵)	1894
『イエローブック』第2巻表紙デザイン	1894
『イエローブック』第2巻表紙タイトル・ページデザイン	1894
『イエローブック』第4巻表紙デザイン	1894
『イエローブック』第5巻表紙デザイン	1895
フローレンス・ファー著『踊るファウヌ』表紙デザイン	1894
ドストエフスキー著『貧しき人々』タイトル・ページデザイン	1894
グラン・アレン著『イギリスの野蛮人』表紙デザイン	1895
「セット・オブ・オッド・ヴォリュームズ」喫煙会招待状デザイン	1895
メッサリーナ(ユヴェナリス著『6番目の風刺』挿絵)	1895
『ピエロ・ライブラリー』表紙デザイン	1896
『ピエロ・ライブラリー』表紙見返しデザイン	1896
『ピエロ・ライブラリー』裏表紙見返しデザイン	1896
『ピエロ・ライブラリー』タイトル・ページデザイン	1896
モスカ(アーサー・シモンズ『ディエップ:1895年』挿絵)	1896
アリ・ババ(『40人の盗賊』(未出版)表紙デザイン)	1896
『50葉素描集』の表紙デザイン	1897
『イエローブック』ポスターデザイン(未使用)	
自画像	
風刺画	
※上記作品の技法:ラインブロック・紙(ブルー版)	
『アーサー王の死』	1893
(アーサー王、探し求めていた獣に出会う)フォトグラヴェール	
(グウェネヴァー王妃、五月祭に馬を駆る)ラインブロック	

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ウィリアム・ホガース	サミュエル・マーティンの肖像	1758～60頃	油彩・キャンバス
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
トマス・ゲインズボロ	オース夫人の肖像	1767	油彩・キャンバス
サー・エドワード・コラー・バーン＝ジョーンズ	フローラ	1868～84	油彩・キャンバス
ジョン・コンスタブル	デダムの谷	1802	油彩・紙、キャンバス
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス

展示室2 静物を描く

静物画とは動かないものを描いた絵画のことで、古代の壁画などを除けば17世紀ころのオランダで始まったといわれています。描かれた対象には、花や果実、食器など、わたしたちの生活に身近なものが多くみられます。当初は精密な写実表現が主流でしたが、後期印象派やフォーヴィスム、キュビズムなどが台頭すると、対象を分解や合成などをした新傾向の静物画も現れてきます。

今回は近代の日本人画家による静物画を展示しま

す。明治期の原撫松の小品、セザンヌの影響が色濃い曾宮一念らの作品、夭折の画家・中村彝の代表作とともに、郡山市在住の佐藤昭一のキュビズム風静物画もあります。また、古殿町出身の日本画家・常盤大空は、埴輪などの出土品や文物を画面上に自由に配置して描く「モンタージュ画法」を用いて日本画界に新風を吹き込みました。斎藤清らの版画の静物表現もなかなか個性的です。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
原 撫松	みかん	1892(明治25)	水彩・紙	
原 撫松	菊	1892-94(明治25-27)頃	水彩、鉛筆・紙	
原 撫松	包丁		水彩・紙	原優子氏寄贈
高橋勝蔵	桃と葡萄	1909(明治42)頃	油彩・キャンバス	
伊藤快彦	夏の静物		油彩・板	
曾宮一念	静物	1918(大正7)	油彩・キャンバス	武田香栄子氏寄贈
林 倭衛	机上のリンゴ	1918(大正7)	油彩・板	
熊岡美彦	菊と檸檬	1922(大正11)	油彩・キャンバス	
中村 彝	朝顔	1923(大正12)	油彩・キャンバス	
山口 薫	静物	1926(大正15)頃	油彩・キャンバス	
林 武	静物	1943(昭和18)頃	油彩・キャンバス	宮崎利一氏寄贈
佐藤昭一	自分と石膏とマンドリンと壺	1948(昭和23)	油彩・キャンバス	佐藤昭一氏寄贈
高間惣七	静物	1937(昭和12)	油彩・キャンバス	
常盤大空	古代頌	1960(昭和35)	岩絵具・紙	常盤房子氏寄贈
常盤大空	殷賦考	1962(昭和37)	岩絵具・キャンバス	
川上澄生	花	1936(昭和11)	木版・紙	
斎藤 清	HANIWA (2)	1951~54(昭和26~29)頃	木版・紙	
浜口陽三	スペイン風油入れ	1954(昭和29)	メゾチント・紙	
北川民次	シクラメンを主題にしたブーケ	1964(昭和39)	リトグラフ・紙	
福田利秋	つば	1971(昭和46)	木版・紙	福田利秋氏寄贈
駒井哲郎	花とレモン	1974(昭和49)頃	モノタイプ・紙	
草間弥生	かぼちゃ	1985(昭和60)	エッチング・紙	

展示室3 戦中戦後のリアリズム

1937(昭和12)年に勃発した日中戦争により、日本は1945(昭和20)年までの戦争状態に入りました。そんな中、ヨーロッパから紹介されたシュルレアリスムなどの前衛美術運動に、若い作家たちは創作意欲を掻き立てられていました。しかし戦況が厳しくなると、前衛美術は戦意高揚に適さない、などの理由で非常に厳しく規制されていきます。

戦後、数多くの作家たちが荒廃と混乱の中で苦しむ市井の人々の姿を描きます。戦争によって自己表現ができなかった時代を経た作家たちにとって、貧しい家族や労働者たちを描くことは、社会における自己の存在意義を問う、あるいは確認するという切実なものだったのです。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
平澤熊一	発芽	1938(昭和13)頃	油彩・板	平澤三之助氏寄贈
鎌田正蔵	魔の山	1938(昭和13)頃	油彩・キャンバス	鎌田正蔵氏寄贈
鎌田正蔵	白日夢	1938(昭和13)	油彩・キャンバス	鎌田正蔵氏寄贈
早瀬龍江	營	1940(昭和15)	油彩・キャンバス	
菊地養之助	牛と男	1962(昭和37)	岩絵具・紙	菊地一郎氏寄贈

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
菊地養之助	鳩のいる家族	1962(昭和37)	岩絵具・紙	菊地一郎氏寄贈
菊地養之助	母と子	1962(昭和37)	岩絵具・紙	菊地一郎氏寄贈
高山良策	こども	1954(昭和29)	油彩・キャンバス	西村祐次氏寄贈
勝呂 忠	母と子	1955(昭和30)	油彩・キャンバス	勝呂忠氏寄贈
鎌田正蔵	飢える人	1952(昭和27)	油彩・キャンバス	鎌田正蔵氏寄贈
佐藤昭一	夏期休業(ガラス工場にて)	1953(昭和28)	油彩・紙	
吉井 忠	地の群れ	1963(昭和38)	油彩・キャンバス	
瑛 九	作品1	1935(昭和10)	水彩・紙	
瑛 九	作品2	1935(昭和10)	水彩・紙	
瑛 九	作品3「方向」	1936(昭和11)	デカルコマニー・紙	
瑛 九	作品4		クレヨン・紙	
瑛 九	作品5	1939(昭和14)	エアブラシ、鉛筆・紙	
瑛 九	作品6	1939(昭和14)	エアブラシ、木炭・紙	
瑛 九	作品7「会話」	1939(昭和14)	エアブラシ、木炭・紙	
瑛 九	作品8	1939(昭和14)	エアブラシ、木炭・紙	

展示室4-① イギリス現代版画

今年度最後の企画展「ルーシー・リー展」開催に合わせてイギリス現代版画をご紹介します。戦後のロンドンで活動を続けたルーシー・リーと同時代に活躍した作家たち。ポップ・アートの先駆けとなったサー・エデュアルド・パオロツィイ・リチャード・ハミルトン、パトリック・コールフィールド、それに続くデイヴィッド・ホックニー。

また静謐でありながら表情豊かな抽象作品で版画家として活躍したアラン・グリーンの作品、ヘンリー・ムーアとケネス・アーミティジというふたりの彫刻家の版画作品を加え、イギリスの現代美術の豊かな世界を版画でご覧いただけます。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
デイヴィッド・ホックニー	『放蕩者のなりゆき』より2点	1961～63	エッチング、アクアチント・紙/ポトフオロ	
デイヴィッド・ホックニー	『六つのグリム童話(C版)』より 燃える二つの死体(備忘を体験するために出かけた若者の話) ラブンツェル	1969～70	エッチング、アクアチント、ドライポイント・紙 エッチング、アクアチント・紙	
エデュアルド・パオロツィイ	『零エネルギー実験電池』Vol.1	1970	リトグラフ、シルクスクリーン・アクリル/ポトフオロ	
エデュアルド・パオロツィイ	『ムーンストリップス・エンパイア・ニュース』Vol.1	1967	シルクスクリーン紙(一部アセテート)/ポトフオロ	
パトリック・コールフィールド	『ジュエル・ラフォルグの詩(A版)』	1973	シルクスクリーン・紙	
リチャード・ハミルトン	フラワー・ピースB	1976	リトグラフ・紙	
リチャード・ハミルトン	フラワー・ピースB、クレヨン習作	1976	リトグラフ・紙	
ケネス・アーミティジ	立っている人物	1971	フォトエッチング・紙	カサハラ画廊寄贈
ケネス・アーミティジ	リッチモンド・オーク	1975	エッチング・紙	カサハラ画廊寄贈
ケネス・アーミティジ	リッチモンド・オーク(二本の木)	1977	エッチング・紙	カサハラ画廊寄贈
ヘンリー・ムーア	『スカルプチャー・アイデア』	1980	エッチング、アクアチント・紙/ポトフオロ	
アラン・グリーン	金色の上の黒	1991	エッチング、アクアチント・紙	
アラン・グリーン	赤に向かう白のアンゲル	1992	エッチング・紙	カサハラ画廊寄贈

展示室4-② イギリスの工芸

イギリスの近代工芸史において先駆的役割を果たした、クリストファー・ドレッサー。近代化の進むイギリスにおいて機械生産も視野に入れた彼のデザインは、傑出した革新性を備えています。

ドレッサーは、日本をはじめ、ペルー、エジプト、中国などの伝統的な作品から影響を受け、さらに植物形態学の研究から得た知識を活かしてオリジナリティのあ

るデザインを生み出しました。また、陶磁器や金属器には、日本の工芸品に見られる技法も取り入れています。さまざまな要素を吸収した多彩な作品をどうぞお楽しみください。

あわせて、日本との関わりが深く、ルーシー・リーとも交友のあったバーナード・リーチの作品を展示します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
バーナード・リーチ	北京の前門	1918	ソフトグラウンドエッチング・紙
バーナード・リーチ	家	1912	エッチング・紙
バーナード・リーチ	山水	1968	墨・紙
バーナード・リーチ	立杭		コンテ・紙
バーナード・リーチ	鉄絵碗		陶器
バーナード・リーチ	白磁魚絵皿	1961	磁器
クリストファー・ドレッサー	緑釉蓮花刻文皿	1879-82頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	彩釉台鉢	1879-82頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	うに形容器	1879-82頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	彩釉刻文把手付扁壺	1879-82頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	青釉水差	1879-82頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	彩釉水差	1879-82頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	緑釉アカンサス型手付壺	1892-95頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	彩釉和風花瓶	1879-82頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	色絵蝶花模様瓢箪形壺	1892-95頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	色絵花鳥模様壺	1892-95頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	クラレットジャグ、黒檀把手(ぶどう酒用容器)		ガラス、金属、電気メッキ、黒檀把手
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック(青海波)	1879-80	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	スプーン・ウォーマー		金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	ダブル・バスケット(楕円形)	1880	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	ナイフとフォークのセット		金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	ミルク入れ	1880	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	三角型薬味入れセット		ガラス、金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	草花象嵌模様足付皿		銀、銅、真鍮
クリストファー・ドレッサー	孔雀象嵌模様円形皿		銀、銅、真鍮
クリストファー・ドレッサー	色絵椿文龍花瓶(一対)	1886	陶器
クリストファー・ドレッサー	色絵花模様皿とボウルのセット	1886	陶器
クリストファー・ドレッサー	色絵花模様大皿	1886	陶器
クリストファー・ドレッサー	色絵金彩竹梅文水差		磁器
クリストファー・ドレッサー	彩色金彩花模様水差		磁器
クリストファー・ドレッサー	金彩筒型三足花器		磁器
クリストファー・ドレッサー	金銀彩植物模様タイル		磁器
クリストファー・ドレッサー	ゴシック模様タイル(5枚)		磁器
クリストファー・ドレッサー 著	『デザイン研究』	1874-76	本

ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
●1階				
細川宗英	装飾古墳シリーズ9	1963(昭和38)	セメント	細川明子氏寄贈
笠置季男	躍進	1958(昭和33)	セメント	
アントニー・ゴームリー	量子雲XXIII	2000	ステンレス・スチール棒	
アントニー・ゴームリー	領域XIII	2000	ステンレス・スチール棒	
●2階展示ロビー				
清水多嘉示	フランスの女	1927(昭和2)	ブロンズ	大高善二郎氏寄贈
柳原義達	女の首	1958(昭和33)	ブロンズ	
アリスティード・マイヨール	もの思い	1930	ブロンズ	
北村四海	井冰鹿の娘	1917(大正6)	大理石	大方竜子氏寄贈
佐藤潤四郎	石で仏足跡		石	
佐藤潤四郎	陶器で仏足跡		陶器	
佐藤潤四郎	陶器で仏足跡2		陶器	大方竜子氏寄贈
●前庭				
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ	

第4期 常設展示室4



2) 企画展

超絶技巧! 明治工芸の粋

会 期: 2015(平成27)年4月21日(火)~6月14日(日)
主 催: 郡山市立美術館
協 力: 清水三年坂美術館
監 修: 山下裕二(明治学院大学教授)
企画協力: 広瀬麻美(浅野研究所)
観 覧 料: 一般1,000(800)円 高校・大学生500(400)円
()内は20名以上の団体料金

趣 旨

明治の工芸の多くは海外輸出用であったため、これまで日本国内でその全貌を目にする機会は極めて稀だった。本展では、村田理如氏の収集による京都・清水三年坂美術館の所蔵品のうち、並河靖之らの七宝、正阿弥勝義らの金工、柴田是真、白山松哉らの漆工、旭玉山、安藤緑山らの牙彫をはじめ、驚くべき技術が凝らされた薩摩や印籠、近年海外から買い戻された、ほとんど未紹介であった刺繍絵画など、選りすぐりの約 160 点を紹介した。

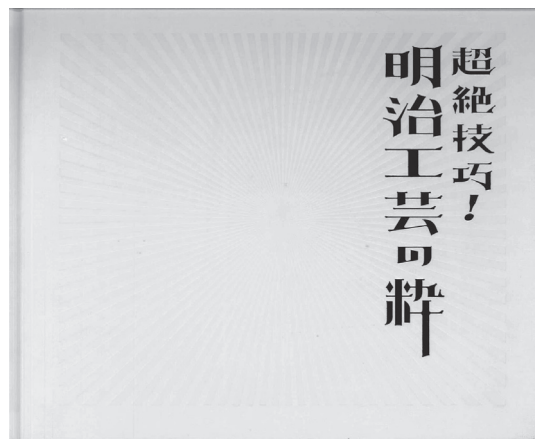
日本人のものづくりの真の底力を確認できる展覧会であり、東北ではこれまで紹介されたことのない優れた作品がほとんどであった。

関連行事

- 対談
「再発見、明治工芸の粋」
講師: 村田理如氏(清水三年坂美術館館長)、山下裕二氏(本展監修者・明治学院大学教授)
日時: 平成27年4月29日(水・祝)午後2時から
会場: 多目的スタジオ
- 美術講座
「知られざる明治工芸の魅力」
講師: 菅野洋人(当館学芸員)
日時: 平成27年5月23日(土)午後2時から
会場: 講義室
- ギャラリートーク
講師: 菅野洋人、新田量子(当館学芸員)
日時: 平成27年5月9日(土)、6月6日(土)午後2時から
会場: 企画展示室
- ミュージアム・シアター
「ところ」(1955年 市川崑監督)
日時: 平成27年5月16日(土)午後2時から
会場: 多目的スタジオ
- ミュージアム・シアター
「山椒大夫」(1954年 溝口健二監督)
日時: 平成27年6月13日(土)午後2時から
会場: 多目的スタジオ



ポスター



図録

発行物

『「超絶技巧! 明治工芸の粹」図録』

本体:215×260mm 188頁(図版213点)

平成26年4月19日発行

編集:広瀬麻美(浅野研究所)、小林祐子(三井記念美術館)、藤田麻希(明治学院大学大学院文学研究科博士前期課程修了)、朝山布恵(清水三年坂美術館)

翻訳:ハマラ・ミキ・アソシエイツ

発行:浅野研究所

内容:村田理如「明治の工芸に魅せられて」/山下裕二「超絶技巧の逆襲 明治工芸の再評価に向けて」/小林祐子「安藤緑山の牙彫 研究序説として」/図版、園田直子「「染象牙果菜置物」(安藤緑山作)の観察結果」/日高真吾「安藤緑山作「染象牙果菜置物」・「染象牙貝尽し置物」の蛍光X線分析」/作品解説/作家略歴/主要参考文献/作品リスト

関連記事

「21日から郡山市立美術館 明治の工芸 技光る160点」、『福島民報』平成27年4月18日付。

「七宝や金工、漆工、牙彫…明治日本の工芸紹介」、『福島民報』平成27年4月19日付。

「精巧 明治期の工芸品」、『福島民友』平成27年4月22日付。

「「明治工芸の粹」魅了」、『福島民報』平成27年4月24日付。

斎藤明日香「郡山市立美術館「超絶技巧!明治工芸の粹」展 細密 明治の技」、『福島民友』平成27年5月15日付。



ギャラリートーク (平成27年6月6日)

出品目録

※刺繍絵画のみ展示替え 前期：4月21日（火）～5月17日（日） 後期：5月19日（火）～6月14日（日）

※いずれも所蔵先は清水三年坂美術館

【七宝】

作品No	作者名	作品名	法量(表記のないものは縦×横×高)
1-01	並河靖之	桜蝶図平皿	径24.6 cm
1-02	並河靖之	花鳥図飾り壺	高23.0 cm
1-03	並河靖之	花文飾り壺	高12.0 cm
1-04	並河靖之	鳥に紅葉図飾り壺	高18.5 cm
1-05	並河靖之	鳥に夾竹桃図飾り壺	高19.0 cm
1-06	並河靖之	菊花文飾り壺 二種	高9.0 cm
1-07	並河靖之	蝶図瓢形花瓶	高18.0 cm
1-08	並河靖之	蝶に竹図四方花瓶	高24.2 cm
1-09	並河靖之	蝶に花の丸唐草文花瓶	高16.0 cm
1-10	並河靖之	鳥に秋草図対花瓶	高24.4 cm
1-11	並河靖之	花鳥図花瓶	高13.5 cm
1-12	並河靖之	山水図香炉	高11.0 cm
1-13	並河靖之	草花図香炉	高8.5 cm
1-14	並河靖之	花鳥図棗	高6.7 cm
1-15	並河靖之	蝶図香合	径6.0 cm
1-16	濤川惣助	藤図花瓶	高31.3 cm
1-17	濤川惣助	菖蒲図皿	23.3 × 17.4 cm
1-18	濤川惣助	富嶽図シガレットケース	9.5 × 8.0 × 1.6 cm
1-19	濤川惣助	月下牡丹に鳥兜図香合	径8.0/高2.8 cm
1-20	安藤重兵衛	葉鶏頭図対花瓶	高45.0 cm
1-21	安藤七宝店(林喜兵衛)	花鳥図対大花瓶	高92.0 cm
1-22	林小伝治	四季草花図花瓶	高40.5 cm
1-23	林小伝治	四季草花図花瓶	高30.0 cm
1-24	糸野締太郎	菊蝶尽し花卉形鉢	径22.5/高9.0 cm
1-25	糸野締太郎	蝶尽し香合	7.0 × 9.0 × 3.7 cm
1-26	作者不詳	波涛に龍鳳図香炉	高32.0 cm
1-27	錦雲軒稲葉	花鳥図香炉	高34.5 cm

【金工】

作品No	作者名	作品名	法量(表記のないものは縦×横×高)
2-01	正阿弥勝義	群鶏図香炉	高15.0 cm
2-02	正阿弥勝義	古瓦鳩香炉	高15.0 cm
2-03	正阿弥勝義	鱗鳳亀龍香炉	高17.0 cm
2-04	正阿弥勝義	石榴に蟬飾器	高12.4 cm
2-05	正阿弥勝義	鯉鯪鱖対花瓶	高31.8 cm
2-06	正阿弥勝義	瓢箪に天道虫花瓶	高22.0 cm
2-07	正阿弥勝義	蓮葉に蛙皿	径12.0 cm
2-08	正阿弥勝義	紅葉桜図香合	径7.0 cm
2-09	正阿弥勝義	蜻蛉図香合	径8.0 cm
2-10	正阿弥勝義	双鶴図香合	幅6.8 cm
2-11	海野勝珉	龍虎図対花瓶	高38.0 cm
2-12	海野勝珉	花鳥図対花瓶	高35.0 cm
2-13	海野勝珉	観音立像(厨子扉:四天王)	高14.0 cm
2-14	伝海野勝珉	蘭陵王	高42.7 cm
2-15	加納夏雄	滝に鳥図額	35.0 × 15.4 cm
2-16	加納夏雄	牡丹図懐中時計	径6.0 cm
2-17	加納夏雄	明治旧金貨幣	旧10円:径3.0 cm / 旧5円:径2.4 cm
2-18	村上盛之	冬瓜大香炉	高26.0 cm / 轡虫:長8.5 cm
2-19	鹿島一谷 二代	花鳥図香炉	高25.0 cm
2-20	川原林秀国	瓜形香炉	高10.5 cm
2-21	駒井	吉祥図飾壺	高20.0 cm
2-22	駒井	樓閣形箆筒	高46.0 cm

【漆工】

作品No	作者名	作品名	法量(表記のないものは縦×横×高)
3-01	柴田是真	青海波塗棗	高7.5 cm/径7.2 cm
3-02	柴田是真	桜酒瓢蒔絵香合	高2.0 cm/径7.3 cm
3-03	柴田是真	宝舟蒔絵茶箱	13.0 × 18.5 × 13.0 cm
3-04	柴田是真	木目蒔絵残葉入	4.5 × 7.8 × 9.0 cm
3-05	柴田是真	秋草に包丁蒔絵させる筒	長22.0 cm
3-06	池田泰真	豆蒔絵手箱	18.7 × 24.5 × 17.2 cm
3-07	川之辺一朝	七香蒔絵文庫	42.0 × 34.5 × 16.0 cm
3-08	川之辺一朝	秋景蒔絵飾棚	31.3 × 75.3 × 72.5 cm
3-09	白山松哉	日月鳥鸞蒔絵額	各78.5 × 36.0 cm
3-10	白山松哉	渦文蒔絵香合	径9.0/高2.0 cm

作品No	作者名	作品名	法量(表記のないものは縦×横×高)
3-11	白山松哉	菊寄蒔絵香合	径4.8/高1.9 cm
3-12	白山松哉	羽蒔絵香合	径8.6/高1.9 cm
3-13	白山松哉	忍草蒔絵香合	径7.0 cm
3-14	白山松哉	蓮蒔絵香合	径6.7 cm/高2.0cm
3-15	白山松哉	東大寺蒔絵香合	径7.6 cm/高1.7cm
3-16	白山松哉	武蔵野蒔絵棗	径6.8 cm/高7.0cm
3-17	白山松哉	渦文蒔絵させる筒	長20.6 cm
3-18	白山松哉	波千鳥蒔絵させる筒	長23.0 cm
3-19	白山松哉、守屋松亭、吉川靈華	勿来関蒔絵硯箱	27.0 × 25.0 × 6.5cm
3-20	守屋松亭	渦文蒔絵香合	径12.2 cm/高4.0 cm
3-21	赤塚自得	四季草花蒔絵提筆筒	15.9 × 24.3 × 22.5 cm
3-22	芝山	花鳥図大花瓶	高60.0 cm
3-23	無銘(芝山細工)	鐺に煙管図提筆筒	25.5×20.0×23.0 cm

【薩摩】

作品No	作者名	作品名	法量(表記のないものは縦×横×高)
4-01	錦光山	花見図花瓶	高31.5 cm
4-02	錦光山	花鳥図花瓶	高40.0 cm
4-03	錦光山	菊唐草文ティーセット	盆幅36.0 cm / ティーポット高128 cm 砂糖入高105 cm / カップ高48 cm / ソーサー径13.7 cm
4-04	藪明山	祇園祭図花瓶	高22.0 cm
4-05	藪明山	鶴花人物図対花瓶	各高31.0 cm
4-06	藪明山	蝶菊蒔し茶碗	径10.0 cm/高5.0cm
4-07	精巧山	雀蝶蒔し茶碗	径12.5 cm/高7.5cm
4-08	司山	組輪文茶碗	径11.2 cm/高6.0cm
4-09	司山	唐子図茶碗	径12.4 cm/高5.7cm
4-10	中村樸溪	大名行列図輪花鉢	径14.2 cm/高5.5cm
4-11	版錦山	祭礼図鉢	径10.8 cm/高4.2cm
4-12	陽山	浦島太郎図貝合形蓋物	幅14.0 cm/高4.0cm

【刀装具】

作品No	作者名	作品名	法量(表記のないものは縦×横×高)
5-01	正阿弥勝義	日月鳥兔図目貫	幅5.0 cm
5-02	海野勝珉	蜻蛉図目貫	幅4.9 cm
5-03	海野勝珉	夏野菜図目貫	幅4.2 cm
5-04	海野勝珉	閻魔図さくり金具	長12.5 cm
5-05	加納夏雄	日月図目貫	幅8.3 cm
5-06	鈴木美彦	四季花鳥図揃金具のうち目貫	幅3.7 cm
5-07	鈴木美彦	四季花鳥図揃金具のうち小柄	長9.8 cm
5-08	鈴木美彦	四季花鳥図揃金具のうち鐺	8.4 × 7.8 cm
5-09	正阿弥勝義	梅月図小柄	長9.7 cm
5-10	正阿弥勝義	難波湯古歌の意鐺	8.0 × 7.5 cm
5-11	正阿弥勝義	昇龍図鐺	8.7 × 8.1 cm
5-12	海野勝珉	布袋図鐺	9.3 × 8.9 cm
5-13	海野勝珉	三聖図鐺	8.8 × 8.0 cm
5-14	加納夏雄	風吹蘭図鐺	6.5 cm
5-15	加納夏雄	蓮池川鯉図鐺	6.9 × 6.3 cm
5-16	加納夏雄	菖蒲図鐺	6.8 × 6.0 cm
5-17	塚田秀鏡	牡丹図鐺	10.2×9.5 cm
5-18	正阿弥勝義	蝶紋金総金具堆黒合口拵	長37.7 cm
5-19	後藤一乗	菊唐草文金太刀拵	長93.0 cm
5-20	海野勝珉	鳳凰花桐文銀装兵庫鎖太刀拵	長102.0 cm

【自在】

作品No	作者名	作品名	法量(表記のないものは縦×横×高)
6-01	明珍	蛇	長84.4 cm
6-02	無銘	龍	長39.0 cm
6-03	高瀬好山	鯉	長32.5 cm
6-04	無銘	鶉	高7.6 cm
6-05	高瀬好山	兜虫	長5.0 cm
6-06	高瀬好山	鍬形	長9.0 cm
6-07	富木宗好	蜂	長5.5 cm / 長6.5 cm
6-08	高瀬好山	螭螂	長17.0 cm
6-09	無銘	蟹	幅3.3 cm
6-10	無銘	伊勢海老	長33.0 cm
6-11	明珍	手長海老	長25.7 cm

【木彫・牙彫】

作品No.	作者名	作品名	法量(表記のないものは縦×横×高)
7-01	山崎南海	自在海老	13.0×27.0×8.0 cm
7-02	無銘	自在弁慶蟹	右 長9.5 cm / 左 長9.0 cm
7-03	旭玉山	葛に蜘蛛の巣図文庫	37.5×28.0×12.0 cm
7-04	旭玉山	蟹芦葉図筆筒	21.2 × 30.1 × 32.4 cm
7-05	旭玉山	家鴨図文庫	39.0 × 27.0 × 11.0 cm
7-06	石川光明	羊	高22.0 cm
7-07	石川光明	老人二童	高26.0 cm
7-08	石川光明	蓮根に蛙	長32.0 cm
7-09	石川光明	可美真手命	高56.5 cm
7-10	石川光明	仔犬図硯箱	25.0 × 20.5 × 5.0cm
7-11	高村光雲	西王母	高28.5 cm (台座除く)
7-12	高村光雲	法師狸	高28.0 cm
7-13	安藤緑山	三茄子	18.0 × 18.0 × 33.5 cm
7-14	安藤緑山	竹の子、梅	18.0 × 37.0 × 25.9 cm
7-15	安藤緑山	竹の子、豌豆、独活	12.0 × 18.5 × 11.0 cm
7-16	安藤緑山	パイナップル、バナナ	15.5 × 22.5 × 18.5 cm
7-17	安藤緑山	玉蜀黍	18.0 × 22.5 × 14.0 cm
7-18	安藤緑山	蜜柑	7.5 × 5.5cm/6.5 × 5.0cm/7.5 × 5.5cm
7-19	安藤緑山	柿	長26.5 cm
7-20	安藤緑山	仏手柑	14.0 × 20.5 × 10.0 cm
7-21	安藤緑山	柘榴	11.5 × 14.5 × 6.5 cm
7-22	安藤緑山	蕪、バセリ	蕪高11.8 cm バセリ長14.0 cm
7-23	安藤緑山	蜂の巣	11.5 × 21.5 × 8.9 cm
7-24	安藤緑山	灵芝、蝸牛	15.5 × 21.5 × 8.0 cm
7-25	安藤緑山	焼き栗	4.0 × 4.5 × 4.0 cm

【印籠】

作品No.	作者名	作品名	法量(表記のないものは縦×横×高)
8-01	白山松哉	切段模様蒔絵印籠	7.8cm×5.5 cm 5段
8-02	白山松哉	菊花寄蒔絵印籠	7.8 × 5.2 cm 4段
8-03	柴田是真	沢瀉片喰に蝶図蒔絵印籠	6.5 × 4.9 cm 4段
8-04	柴田是真	菊尽し蒔絵印籠	6.5 x 5.3 cm 3段
8-05	松杖斎	郭図蒔絵印籠	11.5 × 6.4 cm 4段
8-06	無銘(杣田細工)	円文螺鈿印籠	6.9 × 4.6 cm 4段
8-07	塩見政景(杣田細工)	幾何学文螺鈿印籠	7.7 × 6.3 cm 4段
8-08	無銘	菊尽し螺鈿蒔絵印籠	8.9cm×5.8 cm 5段
8-09	無銘	蜘蛛の巣蒔絵煙草入れ形印籠	6.8cm×8.5 cm 2段
8-10	勝守	風仙図金工印籠	8.8cm×6.5 cm 4段
8-11	石黒政美	花鳥図金工鞆印籠	8.9cm×5.2 cm 1段
8-12	無銘(平田七宝)	宝尽し文七宝印籠	8.5cm×6.0 cm 4段

【刺繍絵画】

作品No.	作者名	作品名	法量(表記のないものは縦×横×高)
9-01 後期	無銘	瀑布図	73.5 × 52.0 cm
9-02 前期	西村總左衛門、千總	読書図	31.4 × 24.0 cm
9-03 前期	無銘(西村總左衛門、千總)	孔雀図屏風	172.0 × 264.0 cm
9-04 後期	西村總左衛門、千總	豹に鸚鵡図	46.8 × 66.5 cm
9-05 前期	無銘	猿図	40.9 × 45.7 cm
9-06 前期	無銘	秋景図	43.0 × 58.0 cm
9-07 前期	無銘	獅子図	70.0 × 63.7 cm
9-08 後期	無銘	波涛図	49.5 × 64.5 cm
9-09 後期	無銘(飯田新七、高島屋)	雪中松鷹図	137.0 × 63.5 cm
9-10 後期	竹内栖鳳	雪中蒼鷹図	124.0 × 58.4 cm
9-11 後期	無銘	老梅鷹図屏風	151.0 × 173.0 cm

イメージの力 — 国立民族学博物館コレクションにさぐる

会 期：2015(平成27)年6月27日(土)～8月23日(日)
 主 催：郡山市立美術館 国立民族学博物館
 千里文化財団
 企 画：国立民族学博物館 国立新美術館 日本文化
 人類学会
 助 成：日本万国博覧会記念基金(公益財団法人
 関西・大阪21世紀協会)
 観 覧 料：一般800(640)円 高校・大学生500(400)円
 ()内は20名以上の団体料金

趣 旨

国立民族学博物館が所蔵する世界各地の造形物をえりすぐって展覧し、人間が生み出した様々なイメージに備わる普遍性を問いかけた。同時に、みんなの活動を広く紹介した。

関連行事

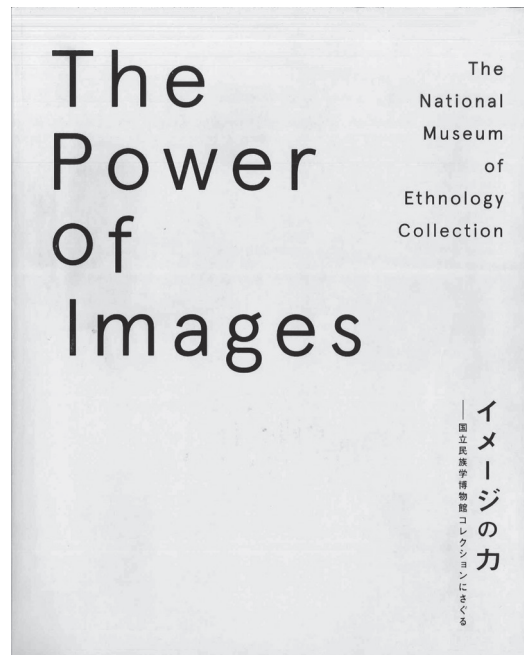
- 講演会
 「光と色が放つイメージの力」
 ※国立民族学博物館友の会共催
 講師：上羽陽子氏(国立民族学博物館准教授)
 日時：平成27年7月4日(土)午後2時から
 場所：多目的スタジオ
- 講演会
 「イメージの力 ～みんなのコレクションが語るもの～」
 ※国立民族学博物館友の会共催
 講師：吉田憲司氏(国立民族学博物館副館長)
 日時：平成27年8月8日(土)午後2時から
 場所：多目的スタジオ
- ギャラリートーク
 日時：平成27年8月22日(土)午後2時から
 講師：永山多貴子(当館学芸員)
 場所：企画展示室
- ミュージアム・シアター
 「キリクと魔女」(1998年 ミッシェル・オスロ監督)
 日時：平成27年6月28日(日)午後2時から
 会場：多目的スタジオ
- ミュージアム・シアター
 「アフリカ物語」(1980年 羽仁進監督)
 日時：平成27年8月16日(日)午後2時から
 会場：多目的スタジオ

発行物

『イメージの力 — 国立民族学博物館コレクションにさぐる』
 270×215mm 271頁(作品図版184点)
 平成26年2月18日発行
 編集：「イメージの力」実行委員会
 編集協力：一般財団法人千里文化財団
 デザイン：MUA/design farm
 印刷：図書印刷株式会社
 発行：国立民族学博物館
 内容：青木保「巻頭言」／須藤健一「ごあいさつ」／吉田憲司「イメージの力をさぐる」／長屋光枝「イメージの力—美術館からの視点」／足羽與志子「視線の逆転、親密な相交」／春日直樹「あたらしい存在への変容」／山中由里子「時のとらえ方、描かれ方」／上羽陽子「光



ポスター



図録

と色が放つイメージ」／窪田幸子「精霊世界とつながる—アボリジニの儀礼用ボール」／上羽陽子「かたちを楽しむ」／山田由佳子「記憶の痕跡と武器アート：《いのちの輪だち》(2012年)をめぐって」／齋藤玲子「商品としての新たな意味づけ」／南雄介「芸術における非芸術—その文脈」／図版解説／小泉潤二「あとがき—アートと人類学」

関連記事

永山多貴子「イメージの力 — 国立民族学博物館コレクションにさぐる 郡山市立美術館」、「福島民友」平成27年7月17日付。
 「仮面の力強い視線」、「福島民友」平成27年7月20日付。

出品目録

※いずれも所蔵先は国立民族学博物館

※収集番号は国立民族学博物館の所蔵品番号

NO. 資料名	民族	国名	年	サイズ	収集番号
プロローグ—視線のありか					
1 神像つきの椅子「カワトウギトウ」	イアトムル	バブアニューギニア	1969年原収集	H232.5W76.0D42.1	EEM212001
2 仮面「カラワラ」	イアトムル	バブアニューギニア	1974年収集	L96.5W44.3T16.3	H0001485
3 仮面「サアヴィ」	イアトムル	バブアニューギニア	1975年収集	L111.0W42.0T34.0	H0001663
4 かぶりもの型仮面「アバン」	イアトムル	バブアニューギニア	1975年収集	H226.0W66.0D60.0	H0001701
5 タイガー・マスク(虎仮面)	ナワ	メキシコ	1975年収集	L32.5W25.3T22.5	H0002296
6 悪魔の仮面「ディアブロ」	プレベチャ	メキシコ	1975年収集	L50.1W24.5T17.1	H0002297
7 悪魔の仮面「ディアブロ」	アイマラ	ボリビア	1975年収集	H45.8W49.5D66.8	H0002376
8 仮面「ワンカレ」	プワ	ブルキナファソ	1975年収集	L164.0W28.0T25.3	H0002991
9 仮面「グハグバ」	バウレ	コートジボワール	19世紀末-20世紀初期制作	L24.0W15.5T7.0	H0003118
10 王の仮面「アコム」	バムン	カメルーン	19世紀末-20世紀初期制作	H55.5W37.6D48.6	H0003124
11 仮面「キフェベ」	ルバ	コンゴ民主共和国	1975年収集	L46.6W40.8D22.4	H0003396
12 仮面「ムヨンボ」または「ギウォヨ」	ベンデ	コンゴ民主共和国	1976年収集	L61.3W20.0T20.4	H0006011
13 仮面「キノコロ」	ヤカ	コンゴ民主共和国	1976年収集	H55.2W44.4D39.7	H0006700
14 仮面「ブウォーム・イトク」	クバ	コンゴ民主共和国	1976年収集	L39.3W28.5D26.4	H0007112
15 仮面「アキシ」	サランパス	コンゴ民主共和国	1976年収集	L65.4W25.6D28.0	H0007113
16 かぶりもの型仮面「ニヤマブング」	ルヴァレ	ザンビア	1976年収集	H165.0W184.0D91.0	H0007115
17 舞踊劇チヨウの仮面「サラスワティ」		インド	1976年収集	L60.9W51.0T30.1	H0007117
18 舞踊劇コーラムの仮面「ラトナクタ」	シンハラ	スリランカ	1976年収集	L49.2W46.4T15.9	H0007505
19 舞踊劇チャムの仮面「シンゲ・ダドゥ」		ブータン	1976年収集	L36.8W36.4T21.0	H0007508
20 舞踊劇チャムの仮面「シンゲ」		ブータン	1976年収集	L45.8W39.5T26.8	H0007510
21 仮面舞踊劇ワヤントベン	ジャワ	インドネシア	1976年収集	L17.9W15.0T10.8	H0007519
22 聖獣パロンの仮面	バリ	インドネシア	1976年収集	L68.9W61.9T29.8	H0007944
23 魔女ランダの仮面	バリ	インドネシア	1976年収集	L154.4W41.0D45.0	H0008066
24 仮面「ウドック」	カヤン	インドネシア	1977年収集	L46.4W44.4D31.0	H0008125
25 仮面舞踊劇ワヤントベン	ジャワ	インドネシア	1977年収集	L20.2W15.4T15.6	H0008503
26 仮面舞踊劇ワヤントベンの仮面「パティジョロ・スゲロ」	ジャワ	インドネシア	1977年収集	L18.7W15.2T12.7	H0008504
27 楊州別山台ノリの仮面「センニム」		韓国	1976年制作	L27.3W24.4T14.2	H0009193
28 楊州別山台ノリの仮面「ミヤールハルミ」		韓国	1977年制作	L26.5W20.7T10.8	H0009195
29 舞踊劇ツァムの仮面	ハルハ	モンゴル	1977年収集	L31.3W22.1T9.0	H0009396
30 ナマハゲの面(赤鬼)		日本	1977年収集	L59.8W33.6T17.9	H0009401
31 ナマハゲの面(青鬼)		日本	1977年収集	L58.3W36.3T18.0	H0009404
32 おかめの面		日本	1977年収集	L19.1W15.1T8.5	H0009424
33 神楽面「般若」		日本	1991年収集ほか	L35.3W22.7T13.7	H0009426

第1章 みえないもののイメージ

34 精霊「ミミ」の彫像	アボリジニ	オーストラリア	1977年収集	H216.0W13.8D10.3	H0009608
35 祖先像「ングワルドゥ」	アベラム	バブアニューギニア	1977年収集	H140.0W25.0D14.0	H0009611
36 精霊像「イブオン」	アランブラック	バブアニューギニア	1977年収集	H310.0W11.0D37.0	H0009688
37 トコベイ人形		バラオ	1977年制作	H156W105D11.3/H160W98D11.7	H0009847
38 フーダ人形	メステイソ	メキシコ	1977年収集	H121.5W43.0D39.0	H0010330
39 フーダ人形	メステイソ	メキシコ	1977年収集	H113.0W50.0D40.0	H0010936
40 頭飾り型仮面	セヌフォ	コートジボワール	1977年収集	H129.0W68.0D26.0	H0010948
41 呪術用の像「ミンキシ」	ヨンベ	コンゴ共和国	1977年収集	H35.4W16.5D17.2	H0012257
42 携帯用仏龕「タシゴマン」		ブータン	1977年収集	H82.5W32.8D32.6	H0012258
43 狩猟神の像	クニヤー	マレーシア	1977年収集	H77.3W38.4D42.5	H0012260
44 彫像「ハンプトン」	モダン	インドネシア	1977年収集	H100.8W21.7D18.4	H0012450
45 彫像「ハンプトン」	バハウ	インドネシア	1975年収集	H88.9W29.4D18.7	H0015062
46 祖先像	アスマット	インドネシア	19世紀末-20世紀初期制作	H104.7W17.2D17.7	H0021973
47 オシラサマ		日本	19世紀末-20世紀初期制作	H22.8W12.9D5.8	H0021984
48 オシラサマ		日本	19世紀末-20世紀初期制作	H20.0W13.5D5.1	H0021990
49 樹皮画(虹へビ)	アボリジニ	オーストラリア	19世紀末-20世紀初期制作	L134.0W68.8T2.5	H0021995
50 「ワラビー・ドリーミングの儀礼」	アボリジニ	オーストラリア	19世紀末-20世紀初期制作	L121.4W180.0T2.2	H0023785

NO. 資料名	民族	国名	年	サイズ	収集番号
51 ストーリー・ボード	サウォス(推定)	パプアニューギニア	19世紀末・20世紀初期制作	H103.0W172.5D12.0	H0023799
52 儀礼用マント	トングット(推定)	アメリカ合衆国	1938年原収集	L133.5W176.0	H0023811
53 早変わり仮面	クワクワカワク	カナダ	1938年原収集	L30.1W47.8T68.3	H0024977
54 早変わり仮面(エコー・マスク)	クワクワカワク	カナダ	1938年原収集	L41.5W36.6T18.2	H0024979
55 飾りヒョウタン(出産)		ペルー	1938年原収集	H21.8W13.9D13.9	H0024980
56 キンマ容器(ラーマーヤーナの図)		ミャンマー	1978年収集	H28.5W29.5D28.4	H0030501
57 タペストリー(ストーリー・クロス)	モン	タイ	1978年収集	L175.0W257.0	H0030633

第2章 イメージの力学

58 揺りかご	シャイアン	アメリカ合衆国	1978年収集	L118.6W32.3T24.4	H0030635
59 狩人の衣装	バマナ	マリ	1978年収集	L95.0W159.0	H0030669
60 遺骨容器の守護像「ムブルンゲル」	コタ	ガボン	1978年収集	H64.0W31.2D9.8	H0030695
61 祖先像	バムン	カメルーン	1978年収集	H57.8W16.5D16.3	H0030700
62 頭飾り型仮面	バミレケ	カメルーン	1978年収集	H23.3W19.0D23.5	H0030711
63 ソウの仮面「ムバップ・ムテン」	バミレケ	カメルーン	1978年収集	L130.7W47.7D20.5	H0030801
64 腰巻布「ドップ」	バミレケ	カメルーン	1978年収集	L237W264	H0030980
65 クバ王国の摂政の装束	クバ	コンゴ民主共和国	1978年収集	H228.0W65.0D70.0 (マネキン着付時)	H0030993
66 手型のお守り		エジプト	1978年収集	L14.2W10.8T0.3	H0030997
67 手型のお守り		エジプト	1978年収集	L14.3W10.9T0.3	H0030999
68 お守り(「生命の鍵」型)		エジプト	1978年収集	L16.0W8.6T0.2	H0031001
69 お守り(「生命の鍵」型)		エジプト	1978年収集	L12.6W7.8T0.2	H0031005
70 手型のお守り		エジプト	1978年収集	L8.4W4.4T0.5	H0031007
71 手型のお守り		エジプト	1978年収集	L8.4W4.4T0.4	H0031008
72 女性用ヴェール	ラバーリー	インド	1978年収集	L217.0W113.0	H0031010
73 女性用ヴェール		インド	1978年収集	L206.0W121.0	H0031011
74 乳児背負子	カヤン	マレーシア	1978年収集	H33.8W38.4D20.9	H0031012
75 女性用盛装	ミャオ	中国	1978年収集	H203.0W64.0D30.0 (マネキン着付寸法)	H0031013
76 婚礼荷物運搬用背中当て「祝いバンドリ」		日本	1978年収集	L82.0W60.0T14.4	H0031015
77 墓標「ブカマニ・ボール」	アボリジニ	オーストラリア	1978年収集	H195.5W16.9D18.1	H0031019
墓標「ブカマニ・ボール」	アボリジニ	オーストラリア	1978年収集	H259.0φ14.0	H0031020
墓標「ブカマニ・ボール」	アボリジニ	オーストラリア	1978年収集	H244.0φ18.0	H0031021
墓標「ブカマニ・ボール」	アボリジニ	オーストラリア	1978年収集	H157.0W16.1D16.9	H0031027
墓標「ブカマニ・ボール」	アボリジニ	オーストラリア	1978年収集	H224.0φ11.0	H0031030
墓標「ブカマニ・ボール」	アボリジニ	オーストラリア	1978年収集	H222.2W16.0D15.6	H0031031
墓標「ブカマニ・ボール」	アボリジニ	オーストラリア	1978年収集	H211.0φ22.0	H0031035
墓標「ブカマニ・ボール」	アボリジニ	オーストラリア	1978年収集	H212.0φ24.0	H0031268
78 墓標「ブカマニ・ボール」	アボリジニ	オーストラリア	1978年収集	H207.5W21.1D20.6	H0031275
墓標「ブカマニ・ボール」	アボリジニ	オーストラリア	1978年収集	H197.0W16.8D16.7	H0031283
墓標「ブカマニ・ボール」	アボリジニ	オーストラリア	1978年収集	H190.5φ15.0	H0031284
墓標「ブカマニ・ボール」	アボリジニ	オーストラリア	1978年収集	H226.0W16.7D17.9	H0031285
墓標「ブカマニ・ボール」	アボリジニ	オーストラリア	1978年収集	H201.0φ17.0	H0031302
墓標「ブカマニ・ボール」	アボリジニ	オーストラリア	1978年収集	H266.0φ15.0	H0031491
墓標「ブカマニ・ボール」	アボリジニ	オーストラリア	19世紀末・20世紀初期制作	H184.5W17.7D19.1	H0033397
墓標「ブカマニ・ボール」	アボリジニ	オーストラリア	1978年収集	H256.0φ15.0	H0033672
墓標「ブカマニ・ボール」	アボリジニ	オーストラリア	1977年制作	H190.5W13.0D14.5	H0034617
79 神像「マランガン」		パプアニューギニア	1977年制作	H334.0W18.0D49.0	H0034618
80 標柱「チャンスン」		韓国	1978年収集	H161.0W71.0D16.4	H0034649
標柱「チャンスン」		韓国	1978年収集	H165.0W19.0D18.9	H0034650
81 標柱「ソッテ」		韓国	1978年収集	H211.0W43.5D20.5	H0035154
標柱「ソッテ」		韓国	1978年収集	H2160W48.0D19.5	H0036070
82 お山参詣の御幣		日本	1978年制作	H362.0W56.0	H0036187

NO. 資料名	民族	国名	年	サイズ	収集番号
---------	----	----	---	-----	------

第3章イメージとたわむれる

83	襦		バブアニューギニア	1978年制作	L201.0W14.8T3.1	H0036190
	襦		バブアニューギニア	1978年制作	L157.0W15.0T4.0	H0036206
	襦		バブアニューギニア	1978年収集	L174.0W16.7T3.0	H0036285
	襦		バブアニューギニア	1978年制作	L183.5W18.5T4.0	H0037356
	襦		バブアニューギニア	1978年収集	L177.0W17.0T3.5	H0037382
	襦		バブアニューギニア	1978年収集	L161.0W108.0T4.0	H0062896
84	樹皮画	ナカナイ(推定)	バブアニューギニア	1978年収集	L53.6W36.1	H0062900
85	樹皮画	ナカナイ(推定)	バブアニューギニア	1979年収集	L83.5W31.6	H0064850
86	樹皮画	ナカナイ(推定)	バブアニューギニア	1979年収集	L37.7W78.8	H0065502
87	トッピラク像	イスイット(カラーリット)	グリーンランド(デンマーク)	1979年収集	H11.4W5.0D5.2	H0067503
	トッピラク像	イスイット(カラーリット)	グリーンランド(デンマーク)	1979年収集	H10.4W2.5D5.6	H0067513
	トッピラク像	イスイット(カラーリット)	グリーンランド(デンマーク)	1979年収集	H9.8W3.8D5.7	H0067623
88	飾りヒョウタン(フクロウ)		ペルー	1979年収集	H36.0W16.2D16.8	H0067631
89	飾りヒョウタン(箱形祭壇)		ペルー	1979年収集	H26.6W12.2D12.3	H0067733
90	飾りヒョウタン(農村風景)		ペルー	1979年収集	H36.1W12.2D25.5	H0067736
91	イースターエッグ		ルーマニア	1979年収集	H6.3φ4.6	H0067754
	イースターエッグ		ルーマニア	1979年収集	H6.8φ4.8	H0068103
	イースターエッグ		ルーマニア	1979年収集	H6.7φ4.4	H0068194
	イースターエッグ		ルーマニア	1979年収集	H6.5φ4.6	H0075381
	イースターエッグ		ルーマニア	1979年収集	H6.8φ4.8	H0075384
	イースターエッグ		ルーマニア	1979年収集	H6.6φ4.8	H0076168
	イースターエッグ		ルーマニア	20世紀初期制作(推定)	H6.4φ4.6	H0076399
	イースターエッグ		ルーマニア	1979年収集	H6.4φ5.0	H0076555
	イースターエッグ		ルーマニア	1979年収集	H6.4φ5.0	H0081565
	イースターエッグ		ルーマニア	19世紀後半制作	H5.8φ4.8	H0081642
	イースターエッグ		ルーマニア	1980年収集	H6.9φ4.9	H0084959
	イースターエッグ		ルーマニア	1980年収集	H6.5φ4.8	H0084961
	イースターエッグ		ルーマニア	1980年収集	H6.5φ4.7	H0084978
	イースターエッグ		ルーマニア	1980年収集	H6.6φ4.5	H0085718
	イースターエッグ		ルーマニア	1980年収集	H6.3φ4.5	H0085732
	イースターエッグ		ルーマニア	1980年収集	H6.6φ4.7	H0085752
	イースターエッグ		ルーマニア	1980年収集	H6.7φ4.9	H0085768
	イースターエッグ		ルーマニア	1980年収集	H6.8φ4.7	H0085783
	イースターエッグ		ルーマニア	1980、1984年収集	H6.7φ4.8	H0085788
	イースターエッグ		ルーマニア	1980年収集	H6.7φ4.8	H0085790
	イースターエッグ		ルーマニア	1980年収集	H6.9φ4.8	H0085791
	イースターエッグ		ルーマニア	1980年収集	H6.4φ4.9	H0085792
	イースターエッグ		ルーマニア	1980年収集	H6.6φ4.6	H0085793
	イースターエッグ		ルーマニア	1980年収集	H6.3φ4.4	H0085794
	イースターエッグ		ルーマニア	1980年収集	H6.5φ4.8	H0085795
	イースターエッグ		ルーマニア	1980年収集	H7.0φ4.7	H0085796
	イースターエッグ		ルーマニア	1980年収集	H6.5φ4.8	H0085797
	イースターエッグ		ルーマニア	1980年収集	H7.1φ5.0	H0085798
	イースターエッグ		ルーマニア	1980年収集	H5.9φ4.5	H0085800
	イースターエッグ		ルーマニア	1980年収集	H6.7φ4.6	H0085802
	イースターエッグ		ルーマニア	1980年収集	H6.6φ4.7	H0085803
	イースターエッグ		ルーマニア	1980年収集	H6.9φ4.8	H0085804
	イースターエッグ		ルーマニア	1980年収集	H6.5φ4.8	H0085805
	イースターエッグ		ルーマニア	1980年収集	H6.3φ4.9	H0085806
	イースターエッグ		ルーマニア	1980年収集	H6.5φ4.6	H0085807
	イースターエッグ		ルーマニア	1980年収集	H6.1φ4.4	H0085808
	イースターエッグ		ルーマニア	1980年収集	H6.6φ4.3	H0085962
	イースターエッグ		ルーマニア	1980年収集	H6.6φ4.7	H0085963
	イースターエッグ		ルーマニア	1980年収集	H5.7φ4.6	H0085978

NO. 資料名	民族	国名	年	サイズ	収集番号
イースターエッグ		ルーマニア	1980年収集	H7.0φ4.9	H0085979
92 天秤	パウレ	コートジボワール	1980年収集	H21.0W19.0D7.0	H0085981
砂金はかりの分銅	アシャンティほか	ガーナほか	1980年収集	L9.2W7.3T1.6	H0085993
砂金はかりの分銅	アシャンティほか	ガーナほか	1980年収集	L5.3W2.2T1.0	H0086018
砂金はかりの分銅	アシャンティほか	ガーナほか	1980年収集	L4.6W1.3T1.5	H0086022
砂金はかりの分銅	アシャンティほか	ガーナほか	1981年収集	H3.1W2.8D4.3	H0087970
砂金はかりの分銅	アシャンティほか	ガーナほか	1981年制作	H2.4W2.0D2.2	H0088917
砂金はかりの分銅	アシャンティほか	ガーナほか	1981年制作	L1.6W1.0T0.5	H0088918
砂金はかりの分銅	アシャンティほか	ガーナほか	1981年収集	L1.5W1.4T1.0	H0089447
砂金はかりの分銅	アシャンティほか	ガーナほか	1981年収集	L2.1W1.8T0.8	H0089457
砂金はかりの分銅	アシャンティほか	ガーナほか	1981年収集	L1.2 W1.2 T1.1	H0089937
砂金はかりの分銅	アシャンティほか	ガーナほか	1981年収集	L2.4W1.9T0.6	H0089944
砂金はかりの分銅	アシャンティほか	ガーナほか	1981年収集	L2.2W1.8T0.5	H0089970
砂金はかりの分銅	アシャンティほか	ガーナほか	1981年収集	H1.7W2.1D2.1	H0090021
砂金はかりの分銅	アシャンティほか	ガーナほか	1981年収集	L2.1W1.3T0.5	H0090056
砂金はかりの分銅	アシャンティほか	ガーナほか	1981年収集	L1.4W0.9T1.0	H0090063
砂金はかりの分銅	アシャンティほか	ガーナほか	1981年収集	L1.0W1.0T0.6	H0090074
砂金はかりの分銅	アシャンティほか	ガーナほか	1981年収集	L1.4W1.2T0.6	H0090089
砂金はかりの分銅	アシャンティほか	ガーナほか	1981年収集	L2.9W0.8T0.5	H0090106
砂金はかりの分銅	アシャンティほか	ガーナほか	19世紀末-20世紀初期制作	L1.1W1.0T0.6	H0090774
砂金はかりの分銅	アシャンティほか	ガーナほか	19世紀末-20世紀初期制作	L2.2W1.2T0.4	H0090777
砂金はかりの分銅	アシャンティほか	ガーナほか	19世紀末-20世紀初期制作	H5.4W3.8D4.0	H0090789
砂金はかりの分銅	アシャンティほか	ガーナほか	19世紀末-20世紀初期制作	H10.9W12.9D10.5	H0090790
砂金はかりの分銅	アシャンティほか	ガーナほか	1981年収集	H6.9W5.5D6.0	H0092629
砂金はかりの分銅	アシャンティほか	ガーナほか	1981年収集	H2.1W2.7D4.0	H0092763
砂金はかりの分銅	アシャンティほか	ガーナほか	1981年収集	H4.7W3.0D2.1	H0093698
砂金はかりの分銅	アシャンティほか	ガーナほか	1982年収集	H5.0W2.7D2.3	H0100892
砂金はかりの分銅	アシャンティほか	ガーナほか	1982年制作	H8.3W2.8D7.7	H0101957
93 女性用前掛け布	クバ	コンゴ民主共和国	1982年収集	L65.0W136.0	H0102519
94 儀礼用裳布	クバ	コンゴ民主共和国	1982年収集	L79.0W441.0	H0102520
95 儀礼用裳布	クバ	コンゴ民主共和国	1982年収集	L224.0W82.0	H0102521
96 煙管	ブユマ(推定)	台湾	1982年収集	H3.6L14.1W2.5	H0103921
97 煙管	パイワン	台湾	1982年収集	H3.7L16.4W2.3	H0103922
98 煙管	ブスン	台湾	1982年収集	H6.6L16.2W3.2	H0103923
99 雁首	パイワンほか	台湾	1982年収集	H5.6L8.6W4.3	H0103936
雁首	パイワンほか	台湾	1982年収集	H3.4W4.2D4.8	H0104069
雁首	パイワンほか	台湾	1982年収集	H4.1W3.3D3.8	H0104593
雁首	パイワンほか	台湾	1982年収集	H5.1W3.9D2.6	H0105525
雁首	パイワンほか	台湾	1983年収集	H3.4W2.2D5.4	H0106663
雁首	パイワンほか	台湾	1983年収集	H3.7W1.8D4.1	H0108434
雁首	パイワンほか	台湾	1982年収集	H3.3W3.1D8.5	H0108477
雁首	パイワンほか	台湾	1983年収集	H2.3W2.3D5.2	H0109602
雁首	パイワンほか	台湾	1983年収集	H5.3W3.3D3.4	H0109603
雁首	パイワンほか	台湾	1983年収集	H4.2W3.9D3.2	H0109611
雁首	パイワンほか	台湾	1983年収集	H4.0W2.8D2.9	H0109613
雁首	パイワンほか	台湾	1982年制作	H5.7W2.9D3.5	H0109769
100 樹皮製衣服	アイヌ	ロシア(樺太)	1982年制作	L116.3W129.5	H0109770
101 酒箸「イクハスイ」	アイヌ	日本	1983年収集	L31.1W2.7T0.6	H0109851
酒箸「イクハスイ」	アイヌ	日本	1983年収集	L26.7W2.6T1.2	H0109901
酒箸「イクハスイ」	アイヌ	日本	1983年収集	L36.9W3.0T3.4	H0109906
酒箸「イクハスイ」	アイヌ	日本	1983年収集	L34.2W3.7T1.4	H0110114
酒箸「イクハスイ」	アイヌ	日本	1983年収集	L34.6W3.0T2.0	H0110124
酒箸「イクハスイ」	アイヌ	日本	1983年収集	L27.4W3.5T1.5	H0110534
酒箸「イクハスイ」	アイヌ	日本	1983年収集	L31.3W1.9T1.5	H0114809
酒箸「イクハスイ」	アイヌ	日本	1983年収集	L39.9W3.3T1.0	H0114812
酒箸「イクハスイ」	アイヌ	日本	1983年収集	L35.2W4.5T2.7	H0114831

NO. 資料名	民族	国名	年	サイズ	収集番号
酒箸「イクハスイ」	アイヌ	日本	1983年収集	L33.9W2.6T1.3	H0114842
酒箸「イクハスイ」	アイヌ	日本	1983年収集	L35.6W3.0T1.3	H0116530
酒箸「イクハスイ」	アイヌ	日本	1984年収集	L34.5W2.7T1.0	H0116629
酒箸「イクハスイ」	アイヌ	日本	1981年制作	L33.7W3.7T1.0	H0117601
酒箸「イクハスイ」	アイヌ	日本	1972年制作	L32.5W2.7T0.7	H0117665
酒箸「イクハスイ」	アイヌ	日本	1980年制作	L31.2W2.3T0.7	H0117705
酒箸「イクハスイ」	アイヌ	日本	1982年制作	L34.8W3.4T1.5	H0117960
酒箸「イクハスイ」	アイヌ	日本	1984年収集	L36.4W4.2T2.6	H0118533
酒箸「イクハスイ」	アイヌ	日本	1984年収集	L37.6W2.9T3.8	H0118534
酒箸「イクハスイ」	アイヌ	日本	1984年収集	L33.4W3.8T2.8	H0118549
酒箸「イクハスイ」	アイヌ	日本	1984年収集	L33.5W3.2T1.9	H0118659
酒箸「イクハスイ」	アイヌ	日本	1984年収集	L34.6W2.6T4.0	H0118664
酒箸「イクハスイ」	アイヌ	日本	1984年収集	L35.1W4.6T5.1	H0118668
酒箸「イクハスイ」	アイヌ	日本	19世紀末・20世紀初期制作	L34.7W2.4T1.5	H0121978
酒箸「イクハスイ」	アイヌ	日本	19世紀末・20世紀初期制作	L30.9W2.3T1.1	H0121980
酒箸「イクハスイ」	アイヌ	日本	19世紀末・20世紀初期制作	L35.6W3.7T1.8	H0121983
酒箸「イクハスイ」	アイヌ	日本	19世紀末・20世紀初期制作	L32.6W2.6T1.2	H0121985
酒箸「イクハスイ」	アイヌ	日本	19世紀末・20世紀初期制作	L35.5W2.8T1.1	H0121992

第4章イメージの翻訳

102 カヌー用船首飾り		ソロモン諸島	19世紀末・20世紀初期制作	H24.7W9.9D14.8	H0122002
103 楽器「マトラカ」	アイマラ	ボリビア	19世紀末・20世紀初期制作	H37.4W25.8D24.7	H0122007
楽器「マトラカ」	アイマラ	ボリビア	19世紀末・20世紀初期制作	H43.1W33.4D25.7	H0122008
楽器「マトラカ」	アイマラ	ボリビア	19世紀末・20世紀初期制作	H14.3W35.4D44.3	H0122010
楽器「マトラカ」	アイマラ	ボリビア	19世紀末・20世紀初期制作	H37.9W32.3D25.9	H0122019
楽器「マトラカ」	アイマラ	ボリビア	19世紀末・20世紀初期制作	H19.0W29.8D26.4	H0122026
104 アサフォ結社の軍旗	ファンティ	ガーナ	1984年制作	L97.0W168.0	H0122389
105 アサフォ結社の軍旗	ファンティ	ガーナ	1984年制作	L97.0W170.0	H0122390
106 アサフォ結社の軍旗	ファンティ	ガーナ	1984年制作	L90.0W161.8	H0122391
107 アサフォ結社の軍旗	ファンティ	ガーナ	1984年制作	L101.0W175.0	H0122392
108 アサフォ結社の軍旗	ファンティ	ガーナ	1984年制作	L109.0W178.0	H0122393
109 アサフォ結社の軍旗	ファンティ	ガーナ	1984年制作	L115.0W121.0	H0122394
110 棺桶(ビール瓶)		ガーナ	1984年制作	H80.0L234.0W74.0	H0122395
111 棺桶(ライオン)		ガーナ	1984年制作	H140.2L259.0W73.0	H0122396
112 棺桶(飛行機)		ガーナ	1984年制作	H128.5L301.2W256.0	H0122397
113 スタジオ写真の背景画(ニューヨーク)		ガーナ	1984年制作	L550.2W303.0	H0122399
114 白人の仮面	イドマ	ナイジェリア	1984年制作	L34.4W26.2T25.2	H0122400
115 「いのちの輪だち」		モザンビーク	1984年制作	H179.0W120.0D180.0	H0122401
116 「肘掛椅子」		モザンビーク	1984年制作	H95.0W78.0D62.0	H0122402
117 手桶		日本	1984年制作	H37.5W17.8D21.2	H0122403
118 玩具(複葉機)		セネガル	1984年制作	H10.0W21.0D24.0	H0122404
119 玩具(自動車)		セネガル	1984年制作	H16.0W9.4D22.0	H0122405
120 プリキ製かばん		セネガル	1984年制作	L31.0W36.0T8.1	H0122406
121 玩具(自動車)		セネガル	1984年制作	H8.9W8.2D16.0	H0122407
122 玩具(トラック)		セネガル	1984年制作	H12.0W7.4D17.0	H0122408
123 玩具(自動車)		セネガル	1984年制作	H9.1W7.4D17.0	H0122409
124 玩具(トラック)		セネガル	1984年制作	H11.0W7.7D22.0	H0122410
125 玩具(バス)		セネガル	1984年制作	H9.5W5.6D14.0	H0122411
126 玩具(バス)		セネガル	1984年制作	H8.9W5.9D14.0	H0122412
127 彫像「シェタニ」	マコンデ	タンザニア	1984年制作	H145.7W46.2D26.5	H0122413
128 彫像「ウジャマー」	マコンデ	タンザニア	1984年制作	H168.0W41.0D71.0	H0122692
129 彫像「ウジャマー」	マコンデ	タンザニア	1984年制作	H301.0W23.0D21.5	H0122694
130 玩具(オートバイ)		ベトナム	1980、1984年収集	H21.0W12.0D31.0	H0123977
131 玩具(警察用オートバイ)		ベトナム	1984年収集	H14.0W8.3D25.0	H0124098
132 玩具(クラシックカー)		ベトナム	1984年収集	H7.9W9.9D20.0	H0124117

NO. 資料名	民族	国名	年	サイズ	収集番号
133 玩具(戦車)		ベトナム	1984年収集	H6.5W7.4D17.0	H0124136
134 玩具(タンクローリー)		ベトナム	1984年収集	H11.0W9.0D22.0	H0124258
135 帽子		ベトナム	1985年収集	H10.0W19.0D26.0	H0125981
136 サンバイザー		ベトナム	1985年収集	H9.8W19.0D28.0	H0126917
137 バッグ		ベトナム	1985年収集	L21.0W20.0T7.7	H0127183
138 玩具「シクロ」(輪タク)		ベトナム	1985年収集	H16.0W7.5D23.0	H0130203
139 玩具(F-15戦闘機)		ベトナム	1985年収集	H9.7W19.0D24.0	H0130543
140 玩具(複葉機)		ベトナム	1985年収集	H11.0W19.0D23.0	H0130547
141 玩具(海老)		ベトナム	1985年制作	H3.3W6.5D22.0	H0131670
142 玩具(スペースシャトル)		ベトナム	1985年制作	H29.0W20.0D13.0	H0131671
143 玩具(エッフェル塔)		ベトナム	1985年収集	H11.0W5.2D5.3	H0131789
144 玩具(乳母車)		ベトナム	1985年収集	H14.0W7.4D16.0	H0131791
145 扇子		ベトナム	1970年代制作	L37.0W44.0T4.1	H0131934
146 玩具(プロペラ飛行機)		ベトナム	1985年収集	H9.0W27.0D22.0	H0133557
147 玩具(クモ)		ベトナム	1985年収集	H3.7W9.6D11.0	H0133780
148 玩具(カマキリ)		ベトナム	1985年収集	H5.5W10.0D17.0	H0133785

エピローグ 見出されたイメージ

149 平石臼「メタテ」		ベリーズ	1985年収集	H13.3W33.7D47.5	H0133855
150 捏ね棒「マノ」		ベリーズ	1860-1907年原収集	L22.8W7.7T7.4	H0136470
151 牧草用熊手		フランス	1860-1907年原収集	L139.0W28.2T7.0	H0136604
152 投擲用ナイフ(貨幣)	カブシキ	ナイジェリアまたはカメルーン	1860-1907年原収集	L62.2W17.7T1.4	H0136609
153 投擲用ナイフ(貨幣)	カブシキ	ナイジェリアまたはカメルーン	1894年原収集	L65.0W18.5T2.1	H0136615
154 投擲【とうてき】用ナイフ(貨幣)	ングワカ	コンゴ民主共和国	1860-1907年原収集	L44.8W33.5T1.6	H0138278
155 投擲用ナイフ(貨幣)	ングワカ	コンゴ民主共和国	1860-1907年原収集	L45.0W33.0T3.0	H0138280
156 投擲用ナイフ(貨幣)	バンザ	コンゴ民主共和国	1860-1907年原収集	L41.8W30.7T0.2	H0138447
157 儀礼用剣(貨幣)	ロケレ	コンゴ民主共和国	1860-1907年原収集	L174.0W40.6T1.9	H0138461
158 投擲用ナイフ(貨幣)	ザンデ	コンゴ民主共和国	1860-1907年原収集	L44.2W41.9T0.3	H0138462
159 投擲用ナイフ(貨幣)	ングワカ	コンゴ民主共和国	1860-1907年原収集	L43.4W37.4T1.6	H0138527
160 投擲用ナイフ(貨幣)	ングワカ	コンゴ民主共和国	1860-1907年原収集	L57.9W38.2T1.3	H0138530
161 はしご	ザフィマニリ	マダガスカル	1860-1907年原収集	H273.0W13.0D9.0	H0138531
162 漁網		インド	1985年収集	L1042.0W23.5T2.7	H0138667



東日本大震災復興支援 サントリー東北サンさんプロジェクト
サントリー美術館所蔵品展 夢とあこがれの形

会 期：2015(平成27)年9月5日(土)～10月18日(日)まで
 前期:9月5日～9月27日 後期:9月29日～10月18日

主 催：郡山市立美術館・サントリー美術館

特別協賛：サントリーホールディングス株式会社

機材提供：シャープ株式会社

企画協力：大日本印刷LDMLプロジェクト

観 覧 料：一般1,000(800)円 高校・大学生500(400)円
 ()内は20名以上の団体料金

趣 旨

本展は、サントリーグループによる東日本大震災復興支援プロジェクトの一環として、サントリー美術館と郡山市立美術館の共同で開催された。

サントリー美術館が所蔵する国宝・重要文化財を含む約3000点のコレクションのなかから、中近世以来の日本人の生活を彩ってきた美術作品、とくに「夢」や「あこがれ」をテーマとし、異国への夢をかたちにした作品、都へのあこがれを描いた作品、歌枕の世界へいざなう作品、さらには江戸時代の切子のガラス器、伊万里や鍋島の色絵磁器などを展示した。

また、「洛中洛外図屏風」と「鼠草子絵巻」は、それぞれ高精細映像によるデジタル展示を同時に行うことで、美術作品へのアプローチの新しい形を提供した。

関連行事

○講演会

「美を結ぶ、美をひらく～コレクションの軌跡」
 講師:石田佳也氏(サントリー美術館学芸部長)
 日時:平成27年10月4日(日)午後2時から
 場所:多目的スタジオ

○美術講座

「洛中洛外図を解剖しよう」
 講師:鈴木誠一(当館学芸課長)
 日時:平成27年9月27日(日)午後2時から
 場所:多目的スタジオ

○美術講座「日本ガラス工芸の発展」

講師:田中有沙子(当館学芸員)
 日時:平成27年10月10日(土)午後2時から
 場所:講義室

○ギャラリートーク

講師:①鈴木誠一(当館学芸課長) ②田中有沙子(当館学芸員)
 ③富岡進一(当館学芸員)
 日時:①平成27年9月5日(日) ②9月20日(日) ③10月18日(日)
 いずれも午後2時から

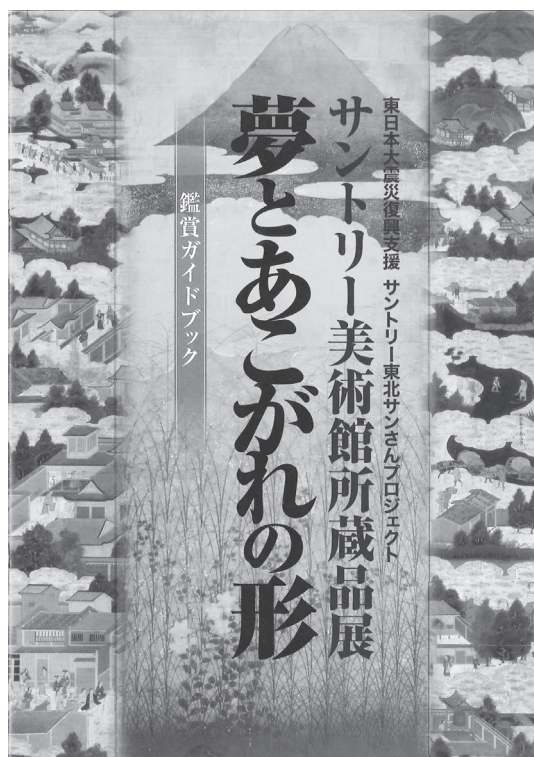
場所:企画展示室

○ミュージアム・シアター

「風雲児信長」(1954年 マキノ正博監督)



ポスター



鑑賞ガイドブック

日時:平成27年9月19日(土)午後2時から

会場:多目的スタジオ

○ミュージアム・シアター

「千利休 本覺坊遺文」(1989年 熊井啓監督)

日時:平成27年6月13日(土)午後2時から

会場:多目的スタジオ

発行物

『鑑賞ガイドブック』

210×148mm 12頁 中綴じ

編集発行:郡山市立美術館

写真提供・編集協力:サントリー美術館

内容:異国への憧憬／古歌と雅と理想郷／洛中洛外図屏風／ぎやまんと色絵磁器／鼠草子絵巻／鄙のかたち

関連記事

「サントリー美術館所蔵品「南蛮屏風」など展示」、「福島民報」平成27年8月25日付。

「サントリー美術館所蔵品展 心の復興後押し」、「福島民報」平成27年9月6日付。

「これが洛中洛外図屏風」、「福島民友」平成27年9月6日付。

鈴木誠一「都や異国への憧憬」、「福島民友」平成27年9月18日付。

鈴木誠一「美の力ことばの力 ふくしまの企画展 サントリー美術館所蔵品展 夢とあこがれの形 雪舟の秀作「摘星楼図」」、「福島民報」平成27年9月26日付。

「サントリー美術館所蔵品展 入場者1万人突破」、「福島民報」平成27年10月10日付。

「郡山市美術館 企画展1万人」、「福島民友」平成27年10月10日付。



開会式
(平成27年9月5日)



ギャラリートーク
(平成27年9月5日)

出品目録

※いずれも所蔵先はサントリー美術館

No.	指定	作者	タイトル	制作時期	技法材質	寸法(cm)	展示	
							前期	後期
1			乾隆ガラス 黄色山水人物文壺	18~19世紀	ガラス	胴径13.4 高12.1	○	○
2			乾隆ガラス 白地紅被唐子文蓋付壺	1736~95年	ガラス	胴径14.4 高19.5	○	○
3			乾隆ガラス 白地緑被水辺花鳥文蓋付壺	18~19世紀	ガラス	胴径13.1 高13.8	○	○
4			織部南蛮人燭台	17世紀初	織部焼・青織部	幅15.1 奥行10.4 高30.4	○	○
5	重文		色絵五艘船文独楽形鉢(色絵五艘船図大平鉢)	18世紀後半	伊万里焼・金襴手	口径37.0 高9.7	○	○
6	重美	狩野山楽	西湖図屏風	17世紀	紙本墨彩	各151.7×345.4	○	
7	重文	伝狩野山楽	南蛮屏風(紙本金地著色南蛮人渡来図)	16世紀末~17世紀初	紙本著色	各166.8×357.0		○
8		雪舟等楊画 龍崗真圭賛	摘星楼図	15世紀	紙本墨画	80.5×32.8		○
9		浦上玉堂	夕陽映松帆図	江戸時代	紙本墨画	110.5×62.0		○
10	重美	伝尾形光琳	秋草図屏風	18世紀後半	紙本著色	各154.1×173.0	○	
11		俵屋宗達画 本阿弥光悦書	柳下絵古今和歌集色紙	17世紀前半	紙本金銀泥下絵墨書	18.6×16.3		○
12		俵屋宗達画 本阿弥光悦書	鳶下絵新古今集和歌色紙	桃山時代	紙本金泥下絵墨書	20.3×17.9		○
13		俵屋宗達画 本阿弥光悦書	鹿下絵新古今集和歌巻断簡	17世紀前半	紙本金銀泥下絵墨書	33.7×122.5		○
14			武蔵野図屏風	17世紀	紙本著色	各155.5×362.5		○
15		仁阿弥道八	色絵桜楓文透鉢	19世紀	京焼	口径39.0 高16.7	○	○
16		本阿弥光悦	赤染茶碗 銘熟柿	17世紀前半	京焼	口径12.1 高8.6	○	○
17		野々村仁清	色絵鶴香合	17世紀後半	京焼	幅3.4 奥行7.7 高9.7	○	○
18			四条河原風俗図巻	17世紀後半	紙本著色	30.5×855.0		場面替え
19		伝土佐光高	洛中洛外図屏風	17世紀後半	紙本著色	各153.0×361.6	○	○
20			「洛中洛外図屏風」京都街中タッチパネル		デジタル展示		○	○
21		渡辺始興	氷室の節供図	江戸時代	紙本著色	49.7×92.3	○	
22			十二月月絵草子	江戸時代	紙本著色	各23.5×17.3	○	
23		西川祐信	美人図	江戸時代	紙本著色	108.0×47.0		○
24		懐月堂度辰	立美人図	江戸時代	紙本著色	122.5×53.5		○
25		柳々居辰斎	風中双美人図	江戸時代	紙本著色	87.8×39.9		○
26			江戸切子 文具揃	江戸時代	ガラス(扇屏・筆筒・墨床・水清筆洗・掛算・文鏡)		○	○
27			長崎系吹きガラス 藍色ねじり堤手ちろり	18~19世紀	ガラス	長径20.5 高17.0	○	○
28			長崎系吹きガラス 紫色藤蔭絵徳利	19世紀前半	ガラス	胴径16.1 高24.0	○	○
29			薩摩切子 藍色被船形鉢	19世紀中頃	ガラス	長径18.1 短径13.2 高10.4	○	○
30			薩摩切子 紅色被鉢	19世紀中頃	ガラス	口径11.1 高7.2	○	○
31			青磁染付葦鷺文皿	17世紀前半	伊万里焼・初期伊万里	幅21.9 奥行21.7 高4.9	○	○
32			染付吹墨文大徳利	17世紀前半	伊万里焼・初期伊万里	胴径17.4 高35.9	○	○
33	重文		染付松樹文三脚皿	17世紀末-18世紀初	鍋島焼	口径29.3 高7.6	○	○
34			染付雲雷文大皿	17世紀末-18世紀初	鍋島焼	口径30.6 高8.1	○	○
35			灰釉壺	10世紀	尾張・猿投窯	胴径34.0 高40.0	○	○
36			灰釉牡丹文壺	14世紀	尾張・瀬戸窯	胴径13.7 高27.6	○	○
37			梅文壺	16世紀	尾張・常滑窯	胴径34.0 高40.0	○	○
38			壺 銘野分	15世紀	信楽窯	胴径26.0 高36.5	○	○
39			耳付花入	17世紀初	伊賀窯	底径13.0 高28.0	○	○
40			鼠志野柳文平鉢	16,17世紀	志野焼・鼠志野	最大径28.7 高6.1	○	○
41			織部片身替洲浜形手鉢	17世紀初	織部焼・鳴海織部	幅25.0 奥行19.5 高28.1	○	○
42			船徳利	17・18世紀	備前焼	胴径24.0 高25.4	○	○
43			手桶形鉢	17世紀	備前焼	幅24.0 高(把手)14.6	○	○
44			銚子絵菖蒲文鉢	16・17世紀	唐津焼	口径16.2 高11.2	○	○
45			銚子絵水草飛鳥文壺	17世紀初	唐津焼	胴径20.2 高14.6	○	○
46			色絵葡萄鳥文瓢形酒注	17世紀	伊万里焼・柿右衛門様式	幅13.0 奥行18.5 高15.8	○	○
47			色絵花鳥文六角壺	17世紀後半	伊万里焼・柿右衛門様式	幅19.2 奥行16.8 高31.2 蓋高4.7	○	○
48			色絵蒲公英文皿	18世紀前半	鍋島焼	口径19.6 高5.3	○	○
49			色絵鶴鶴文皿	18世紀初	鍋島焼	口径14.8 高4.3	○	○
50			誰が袖屏風	江戸時代	紙本著色	各172.0×384.0	○	

No. 指定	作者	タイトル	制作時期	技法材質	寸法(cm)	展示	
						前期	後期
51	英 一蝶	田園風俗図屏風	江戸時代	紙本墨画淡彩	各160.1×352.4	○	
52	狩野養信	四季耕作図屏風	19世紀	紙本著色	各138.4×322.0		○
53		漁労図屏風	17世紀	紙本著色	各169.0×366.0		○
54		鼠草子絵巻	16世紀	紙本著色(全5巻)	各33.8×560.0、 565.1、563.3、 470.0、474.0	場面替え	
55		ネズミだって宴会大好き～鼠草子絵巻		デジタル展示			○ ○
56		放屁合戦絵巻	室町時代 文安6(1449)年	紙本著色	31.0×706.5	場面替え	

没後70年 三木宗策の世界 木彫の正統

会 期：2015(平成27)年10月31日(土)～12月23日(水・祝)

主 催：郡山市立美術館

観 覧 料：一般500(400)円 高校・大学生300(240)円

()内は20名以上の団体料金

趣 旨

三木宗策(1891～1945)は郡山市本町生まれ。高村光雲門下の山本瑞雲のもとで伝統的な木彫を学び、大正から戦前期にかけて官展作家として活躍。伝統的な木彫技術によって新しい時代への希求が感じられる主題を量感豊かに表した作品を発表。正統木彫家協会の結成に参加するなど近代の木彫界を担うひとりであったが、1945(昭和20)年疎開中に郷里・郡山で歿する。

佐藤静司をはじめ門人には県内出身者も多く、福島県の彫刻界を先導したといえる三木宗策。没後70年にあたってその生涯を回顧した企画展。

関連行事

○講演会

「近代の正統性 三木宗策の仏像をめぐる」

講師：小泉晋弥氏(茨城大学教授)

日時：平成27年11月23日(月・祝)午後2時から

会場：多目的スタジオ

○美術講座

「近代の木彫作品を伝える」

講師：中山恵理(当館学芸員)

日時：平成27年12月5日(土)午後2時から

会場：講義室

○美術講座

「三木宗策と戦前の彫刻について」

講師：菅野洋人(当館学芸員)

日時：平成27年12月13日(日)午後2時から

会場：講義室

○ギャラリートーク

講師：菅野洋人、中山恵理(当館学芸員)

日時：平成27年11月14日(土)、28日(土)午前11時から

会場：企画展示室

○如宝寺欄間彫刻公開

日時：平成27年11月7日(土)、8日(日)午後2時～午後4時

会場：如宝寺(郡山市堂前町4-24)

○ミュージアム・シアター

「楊貴妃」(1955年 溝口健二監督)

日時：平成27年11月22日(日)午後2時から

会場：多目的スタジオ

○ミュージアム・シアター

「アジアの瞳」(1997年 ジョアオン・マリオ・グリロ監督)

日時：平成27年12月20日(日)午後2時から

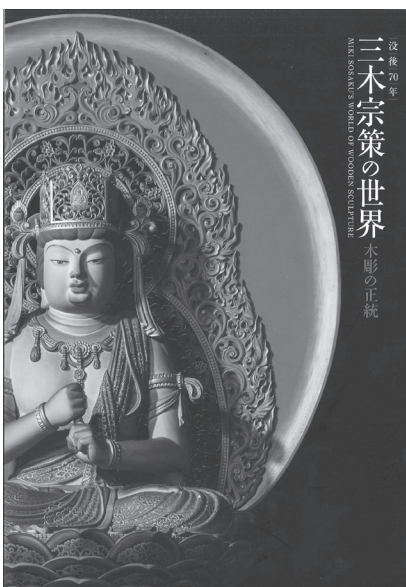
会場：多目的スタジオ



ポスター



チラシ



図録

発行物

「三木宗策の世界展」図録

本体:297×210mm 112ページ(図版122点)

平成27年10月31日発行

編集:郡山市立美術館(中山恵理、杉原聡、新田量子)

表紙デザイン:浜津みゆき(イマジメント)

印刷:株式会社坂本印刷所

発行:郡山市立美術館

内容:ごあいさつ／謝辞／論文 小泉晋弥「三木宗策の仏像をめぐって」、中山恵理「三木宗策 没後70年の検証」／図版 三木宗策作品、関連作家作品／資料1 現存する作品写真／資料2 所在不明作品写真／三木宗策年譜(菅野洋人)／文献及び図版目録(橘川英規)／出品リスト

関連記事

「三木宗策の彫刻紹介」、『福島民友』平成27年11月1日付。

「没後70年 至高の仏像」、『福島民報』平成27年11月5日付。

「力強くモダン 企画展「没後70年 三木宗策の世界」」、『福島民友』平成27年11月20日付。

中山恵理「美の力ことばの力 ふくしまの企画展 量感豊かな木彫並ぶ」、『福島民報』平成27年11月28日付。

「郡山出身の木彫家、没後70年 力強い作品、堪能を」、『毎日新聞』平成27年12月8日付。

「企画展に合わせ墓参 三木宗策遺徳しのぶ」、『福島民友』平成27年12月12日付。



ギャラリートーク
(平成27年11月28日)

出品目録

No.	タイトル	技法・材質	制作年	高×幅×奥行(cm)	出品歴	所蔵
1	魚籃観世音	木彫	1912(明治45)	32.5×13.0×10.1		阿久津桂子
2	聖観世音木像	木彫	1912(明治45)	27.7×8.2×8.2		個人蔵
3	閑日	木彫、彩色	1916(大正5)	22.0×20.0×14.0	第16回巽画会	個人蔵
4	浅香山の采女	木彫、彩色		39.4×11.6×11.5		個人蔵
5	日本武尊	木彫	1922(大正11)	173.0×88.0×47.0	第4回帝展	石神井水川神社
6	威容抱慈(坂上田村麻呂像)	木彫	1923(大正12)	194.6×85.3×53.5	第5回帝展	郡山市立美術館
7	恵比寿大黒	木彫	1924(大正13)	恵15.3×10.5×8.5 大15.0×10.0×10.2		齋藤彌三郎
8	恵比寿大黒	木彫	1924(大正13)	恵15.1×10.0×9.6 大15.4×10.4×10.2		個人蔵
9	降誕	木彫	1926(大正15)	185.0×70.0×53.0	第7回帝展	耕三寺博物館
10	かやのひめの神	木彫	1927(昭和2)	182.4×63.4×63.7	第8回帝展	福島県立美術館
11	圓(まどか)	木彫	1928(昭和3)	136.0×90.5×60.0	第9回帝展	燈明寺
12	如意輪観音	木彫	1930(昭和5)	51.5×28.0×23.6	第2回聖徳太子奉賛展	個人蔵
13	七福神	木彫	1930(昭和5)	恵24.2×17.3×14.7 寿33.3×22.1×14.6 大24.6×15.7×14.8 毘36.5×19.2×13.5 福37.0×19.2×13.7 弁26.8×21.4×14.3 布袋30.3×17.8×14.8		福島県立美術館
14	矜羯羅童子	木彫	1930(昭和5)	169.0×76.0×53.0	第11回帝展	燈明寺
15	萬象授生	木彫	1931(昭和6)	230.0×114.0×108.0	第12回帝展	大圓寺(福島市)
16	制多伽童子	木彫	1932(昭和7)	161.5×68.0×55.5	第13回帝展	燈明寺
17	銀河惜別	木彫	1933(昭和8)	99.0×98.0×45.0	第14回帝展	耕三寺博物館
18	孔雀明王	木彫	1934(昭和9)	57.0×50.0×26.5	第4回日本木彫会展	如宝寺
19	羅馬少年使節	木彫、彩色	1934(昭和9)	133.0×117.0×45.0	第15回帝展	東京藝術大学
20	レリーフ「観音」	ブロンズ	1934(昭和9)	23.0×10.0×1.0	(第2回大阪展覧会記念品)	澤田政廣記念美術館
21	童子	木彫、彩色	1935(昭和10)	66.0×31.0×31.0	第3回日本木彫会大阪展	鳥居観音
22	双羊	ブロンズ	1935(昭和10)	18.0×30.0×15.5		個人蔵
23	豊公	木彫、彩色	1935(昭和10)	27.2×39.3×32.3	第3回日本木彫会大阪展 出品作と同タイトル	馬淵重則
24	丹花綻ぶ	木彫、彩色	1936(昭和11)	149.0×99.8×99.0	文展招待展	郡山市立美術館 (寄贈:高橋和夫、周子)
25	ゆあみ	木彫、彩色	1936(昭和11)頃	103.0×60.0×60.0		耕三寺博物館
26	陵王	木彫、彩色	1936(昭和11)	36.0×27.0×24.0		澤田政廣記念美術館
27	国威発揚	木彫	1937(昭和12)	240.0×89.0×36.0	第1回新文展	耕三寺博物館
28	如意輪観音像	木彫	1938(昭和13)	41.0×18.0×18.0		耕三寺博物館
29	牡丹の精	木彫、彩色	1938(昭和13)頃	120.5×75.8×41.2	第2回新文展	鳥居観音
30	風神(大空をゆく)	木彫、彩色	1939(昭和14)	121.0×83.0×44.0	第8回日本木彫会展	耕三寺博物館
31	綾織	木彫、彩色	1939(昭和14)	48.0×36.0×26.0	第8回日本木彫会展	平園賢一
32	呉織	木彫、彩色	1939(昭和14)	69.7×27.7×22.0	第8回日本木彫会展	佐野美術館
33	空海(弘法大師)	木彫、彩色	1939(昭和14)	76.0×82.0×58.0	第3回新文展	燈明寺
34	聖徳太子	木彫、彩色		74.0×58.0×54.0		燈明寺
35	興教大師	木彫、彩色		76.0×86.5×58.0		燈明寺
36	狛犬	木彫、彩色 (2点組)	1940(昭和15)	阿形38.5×36.0×22.0 吽形38.0×37.0×23.5		開成山大神宮
37	聖観音立像	木彫	1940(昭和15)	58.0×20.0×20.0		耕三寺博物館
38	大日如来	木彫	1941(昭和16)	158.0×75.5×75.5 像高65.0×43.5×40.0		燈明寺
39	十一面観音 (聖天堂)	木彫		54.0×15.0×18.0 (光背、台座舎)		燈明寺
40	大日如来	木彫、彩色		163.0×106.0×106.0 像高74.0×57.0×50.0		西円寺
41	弘法大師	木彫、彩色		75.0×62.5×50.0		西円寺

No	タイトル	技法・材質	制作年	高×幅×奥行 (cm)	出品歴	所蔵
42	恵比寿大黒	木彫	1941(昭和16)	恵21.8×12.1×13.0 大22.0×12.5×13.0		鳥居観音
43	大葉子	木彫、彩色	1942(昭和17)	196.0×112.0×64.0	第2回正統木彫家協会展	郡山市立美術館 (寄贈:萩原巖)
44	萬歳	木彫、彩色	1942(昭和17)	27.7×17.5×13.0		鳥居観音
45	聖観世音菩薩之像	木彫	1943(昭和18)	45.0×24.0×24.0		木脇 良
46	虚空蔵菩薩	木彫	1943(昭和18)	7.1×6.4×1.9		木脇亨子
47	虚空蔵菩薩	木彫	1943(昭和18)	5.7×5.4×1.7		愛澤一水
48	北条時宗像	木彫、彩色	1944(昭和19)	41.5×58.5×37.0	文展戦時特別展	個人蔵
49	兜	木彫、彩色	1944(昭和19)	38.0×34.5×29.5		個人蔵
50	根付	木彫(、彩色)	1945(昭和20)	4.0×3.0×2.0		澤田政廣記念美術館
51	肖像	木彫		89.2×27.8×22.8		馬淵重則
52	七夕	木彫		75.0×35.2×27.0		宗像亀嘉
53	西王母	木彫、彩色		87.0×48.5×26.5		清水 殖
54	聖徳太子	木彫、彩色		51.0×42.0×35.0		耕三寺博物館
55	羅漢	木彫		50.0×41.0×35.0		耕三寺博物館
56	白衣観音	木彫		34.0×12.2×9.3		個人蔵
57	神武天皇	木彫		28.5×12.0×10.2		個人蔵
58	靈照女	木彫		34.0×10.0×9.5		平園賢一
59	陶淵明	木彫		24.3×26.0×15.0		平園賢一
60	李白吟行	木彫		31.0×11.0×9.5		ギャラリー観(佐藤摩利雄)
61	翁	木彫		38.5×22.0×18.0		清水 殖
62	福祿寿	木彫		36.0×18.5×15.0		清水 殖
63	福祿寿	木彫		37.0×20.5×17.5		三木文人
64	恵比寿大黒	木彫		恵39.8×18.5×14.5 大38.8×17.6×13.5		清水 殖
65	恵比寿大黒	木彫		恵14.3×11.3×11.3 大16.0×11.0×11.0		鳥居観音
66	能面(小面)	木彫、彩色		21.0×13.3×7.2		佐藤敬三
67	鹿	木彫		19.5×33.0×17.0(本体のみ)		清水 殖
68	達磨	木彫		4.9×5.1×3.2		郡山市立美術館 (寄贈:佐藤静司)
69	根付	木彫		5.1×4.8×3.9		郡山市立美術館 (寄贈:佐藤静司)
70	香合	木彫		6.1×7.1×2.8		如宝寺
71	根付	木彫		6.8×4.2×2.8		如宝寺
72	帯留	木彫、彩色		3.2×5.0×1.8		伊藤 和
73	秋の図	淡彩・紙/軸		113.2×29.2		郡山市立美術館 (寄贈:佐藤静司)
74	木菟の図	淡彩・紙/軸		35.5×47.5		郡山市立美術館 (寄贈:佐藤静司)
75	菩薩頭部石膏原型	石膏				本田悦久
76	鑿					佐々木実
77	鑿					三木三郎
78	本田晶彦 《手板・7種》	木彫	1928(昭和13)			本田悦久
79	佐藤静司《ガマ》	木彫		12.5×21.4×25.0		郡山市立美術館 (寄贈:佐藤静司)
80	橋本高昇《鹿》	木彫		51×95×50		耕三寺博物館
81	柳沼曹雲《陽》	石膏	1964(昭和39)	92.5×30.8×96.4	第7回新日展	郡山市立美術館 (寄贈:柳沼薫)
82	宗像庄一郎 《幽庭浄韻》	木彫、彩色	1932(昭和7)	76×55×39		耕三寺博物館
83	太田良平《犬》	木彫	1946(昭和21)	65×108×45	第2回日展	耕三寺博物館
84	佐藤静司《早春》	木彫、彩色	1940(昭和15)	37.7×23.0×22.9	正統木彫家協会皇紀2600年奉祝展	伊藤栄建
85	佐藤匡義 《聖徳太子騎馬像》	木彫		83.5×77.0×31.0		石神井氷川神社

No.	タイトル	技法・材質	制作年	高×幅×奥行(cm)	出品歴	所蔵
追加出品						
	能面	木彫、彩色				三木康生
	能面	木彫、彩色				三木康生
	能面	木彫、彩色				三木康生
	桐	淡彩・紙／軸				三木康生
	りんどう	淡彩・紙／軸				三木康生
	ざくろ	淡彩・紙／軸				三木康生
	白衣観音	木彫	1929(昭和4)			鈴木絃一
	春	木彫、彩色	1929(昭和4)頃			個人蔵

没後20年 ルーシー・リー展

会 期：平成28年1月16日(土)～3月21日(月)
 主 催：郡山市立美術館、日本経済新聞社
 後 援：オーストリア大使館、ブリティッシュ・カウンシル
 協 賛：大伸社
 協 力：オーストリア航空、全日本空輸、ルフハンザカーゴAG
 観 覧 料：一般800(640)円 高校・大学生500(400)円
 ()内は20名以上の団体料金。

趣 旨

ルーシー・リー (1902～1995) はウィーンに生まれ、のちにロンドンに移住し活動した陶芸家です。轆轤ろくろによって生み出される優美で緊張感のあるフォルム、象嵌そうがんや掻き落としなどによる独自の文様、釉薬のあたたかみのある色調、それらの作品が放つ繊細でありながら凛とした存在感は、多くの人々を魅了し続けています。

本展はルーシー・リーの没後20年を機に、初期から晩年に至る約200点の作品で彼女の足跡を辿り、その魅力と全貌に迫ろうとするものです。

関連行事

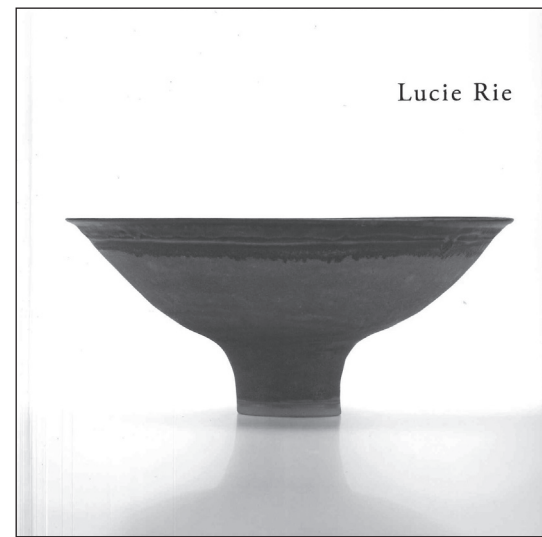
- 講演会
「モダニズムの陶芸家、ルーシー・リーの造形美」
講師：金子賢治氏(茨城県陶芸美術館長)
日時：平成28年1月30日(日)午後2時から
会場：多目的スタジオ
- ギャラリートーク
講師：富岡進一、新田量子(当館学芸員)
日時：平成28年2月13日(土)、2月27日(土)午後2時から
会場：企画展示室
- 美術講座
「色が奏でる器たち」
講師：富岡進一(当館学芸員)
日時：平成28年2月28日(日)午後2時から
会場：講義室
- ミュージアム・シアター
「菩提樹」(1956年 ヴォルフガング・リーベンアイナー監督)
日時：平成28年2月20日(土)午後2時から
会場：多目的スタジオ

発行物

「没後20年 ルーシー・リー展」カタログ
 207×205mm 317頁(カラー作品図版203点)
 平成27年4月11日発行
 編集：茨城県陶芸美術館、日本経済新聞社文化事業部
 編集協力：内藤裕子
 翻訳：小川紀久子、長谷川珠緒、スタンリー・N・アンダソン
 デザイン：美術出版社 デザインセンター(森重智子、川添英昭)
 制作：美術出版社 デザインセンター(名塚雅絵、野村慶子)
 印刷：大伸社
 発行：日本経済新聞社



ポスター



図録

内容：金子賢治「ルーシー・リーのものの作り方」／「初期-ウィーン時代 1921-38年」／「形成期-ロンドン時代 1938-70年」／「円熟期-1970-90年」／ライナルト・フランツ「初期の器、モダンなものたち」ルーシー・ゴンペルツの初期ウィーン時代(1921-26年)における制作とオーストリア応用美術・現代美術館所蔵の新発見作品／佐藤秀彦「ルーシー・リーのフォルムと技法」／関連年表／邦語主要文献／作品リスト

関連記事

「ルーシー・リー展来月16日から郡山で」、「日本経済新聞」平成27年12月21日付。

新田量子「あすからルーシー・リー展」、「福島民報」平成28年1月15日付。

「あすからルーシー・リー展」、「福島民友」平成28年1月15日付。

「優美で繊細な陶芸作品 郡山 ルーシー・リー展開幕」、「福島民友」平成28年1月17日付。

「没後20年記念し展示会 英国の陶芸家ルーシー・リー」、「福島民報」平成28年1月18日付。

「世界的な女性陶芸家を回顧 郡山でルーシー・リー展」、「朝日新聞」県内版、平成28年2月13日付。

「ルーシー・リー展」、「福島民友」平成28年3月7日付。

「ルーシー・リー展郡山で今月21日まで」、「日本経済新聞」平成28年3月14日付。

「企画展ルーシー・リー展 自分だけの器作る」、「福島民報」平成28年3月26日付。



ギャラリートーク（平成28年2月13日）



出品目録

No	作品タイトル(和)	作品タイトル(英)	素材	制作年	所蔵者
1	緑釉器	Green glazed pot	陶器	c.1922-26	個人蔵
2	赤釉線文鉢	Red glazed bowl decorated with lines	陶器	1925	オーストリア応用美術・現代美術館
3	青釉鉢	Blue glazed bowl	陶器	1926	オーストリア応用美術・現代美術館
4	赤釉鉢	Red glazed bowl	陶器	1926	オーストリア応用美術・現代美術館
5	黄釉小鉢	Small yellow glazed bowl	陶器	c.1926	個人蔵
6	線文鉢	Bowl decorated with lines	陶器	1930	オーストリア応用美術・現代美術館
7	赤釉鉢	Red glazed bowl	陶器	1930	オーストリア応用美術・現代美術館
8	鉢	Bowl	陶器	c.1930	個人蔵
9	ランプ台	Base for a lamp	陶器	c.1930-38 /c.1945	個人蔵
10	花器	Vase	陶器	c.1934	個人蔵
11	花器	Vase	陶器	c.1936	個人蔵
12	白釉カップ	White glazed cup	陶器	c.1936	個人蔵
13	緑釉碗	Green glazed bowl	陶器	c.1940	個人蔵
14	ガラス製ボタン、イヤリング、ブローチ (ビミニ社)、陶製ボタン	Glass sample buttons earrings, brooches made by Bimini Ltd., ceramic sample buttons	ガラス、陶器	1940's	個人蔵
15	陶製ボタン	Ceramic sample buttons	陶器	1940's	個人蔵
16	花器	Vase	陶器	c.1947	個人蔵
18	白釉ドレッシング瓶(オイルとビネガー)	White glazed dressing bottles (oil and vinegar)	陶器	c.1950	個人蔵
19	斑文大鉢・小鉢	Large bowl and small bowls with speckled glaze	陶器	c.1950	個人蔵
20	白釉コーヒーセット	White glazed coffee set	陶器	c.1950	個人蔵
21	白釉カップとソーサー	White glazed cups and saucers	陶器	c.1950	個人蔵
22	白釉カップとソーサー	White glazed cups and saucers	陶器	c.1950	個人蔵
23	白釉文字文鉢	White glazed bowl with inscription	磁器	c.1950	個人蔵
24	白釉ドレッシング瓶(オイルとビネガー)	White glazed dressing bottles (oil and vinegar)	陶器	1950's	個人蔵
25	白釉水差し	White glazed jug	陶器	1950's	個人蔵
26	白釉鉢	White glazed bowl	陶器	1950's	公益財団法人北野美術館
27	白釉鉢	White glazed bowl	陶器	1950's	公益財団法人北野美術館
28	白釉鉢	White glazed bowl	陶器	1950's	公益財団法人北野美術館
29	茶釉線文四方鉢	Brown glazed square bowl decorated with lines	陶器	c.1952	個人蔵
30	線文小鉢	Small bowl decorated with lines	磁器	c.1952	個人蔵
31	黄釉鉢とソーサー	Yellow glazed bowls and saucers	磁器	c.1953	個人蔵
32	四方鉢	Square bowl decorated with three-color bands	陶器	c.1954	個人蔵
33	緑釉鉢	Green glazed bowl	磁器	c.1954	紀井文庫
34	緑釉線文植木鉢	Green glazed cachepot decorated with lines	陶器	c.1954	個人蔵
35	黄釉鉢	Pale yellow glazed bowl	磁器	c.1954	個人蔵
36	線文大皿	Large dish decorated with lines	陶器	c.1954	個人蔵

No	作品タイトル(和)	作品タイトル(英)	素材	制作年	所蔵者
37	白釉カップとソーサー	White glazed cups and saucers	陶器	c.1955	個人蔵
38	茶釉ティーポット	Brown glazed teapot	陶器	c.1955	個人蔵
39	茶釉花器	Brown glazed vase	陶器	c.1955	個人蔵
40	茶釉線文花器	Brown glazed vase decorated with lines	陶器	c.1955	個人蔵
41	茶釉線文ティーセット	Brown glazed tea set decorated with lines	陶器	c.1955	ミュージアム李朝 大森敬吾
42	黒釉鉢	Black glazed bowl	陶器	c.1955	個人蔵
43	緑釉線文花器	Green glazed vase decorated with lines	陶器	c.1955	個人蔵
44	青点文小鉢	Small bowl decorated with blue spots	磁器	c.1955	個人蔵
45	茶釉線文鉢	Brown glazed bowl decorated with lines	磁器	c.1956	個人蔵
46	茶釉線文鉢	Brown glazed bowl decorated with lines	磁器	c.1956	個人蔵
47	線文花器	Vase decorated with lines	陶器	c.1957	個人蔵
48	白釉小鉢	Small white glazed	磁器	c.1957	個人蔵
49	青釉小鉢	Small blue glazed bowl	陶器	c.1957	個人蔵
50	点文小鉢	Small bowl decorated with spots	磁器	c.1957	個人蔵
51	点文小鉢	Small bowl	磁器	c.1957	個人蔵
52	緑釉小鉢	Small green glazed bowl	陶器	c.1960	個人蔵
53	大皿	Large dish	陶器	1958	個人蔵
54	長頸花器	Long-necked vase	陶器	1958	個人蔵
55	白釉線文鉢	White glazed bowl with stripes	陶器	c.1958	個人蔵
57	長頸斑文花器	Long-necked vase with speckled glaze	陶器	c.1958	個人蔵
58	黄釉鉢	Yellow glazed bowl	磁器	c.1958	個人蔵
59	黄釉点文鉢	Yellow glazed bowl decorated with spots	磁器	c.1958	個人蔵
60	黄釉線文小鉢	Small yellow glazed bowl decorated with lines	陶器	c.1958	個人蔵
61	青釉線文小鉢	Small blue glazed bowl decorated with lines	磁器	c.1958	個人蔵
62	茶釉線文小鉢	Small brown glazed bowl decorated with lines	磁器	c.1958	個人蔵
63	緑釉鉢	Green glazed bowl	磁器	c.1958	個人蔵
64	茶釉線文手付皿	Brown glazed dish with handle, decorated with lines	陶器	c.1958	個人蔵
65	茶釉蓋付鍋	Brown glazed casserole with lid	陶器	c.1958	個人蔵
66	白釉鉢	White glazed bowl	陶器	c.1958	個人蔵
67	茶釉ミルクピッチャー	Brown glazed milk jug	陶器	c.1958	個人蔵
68	白釉鉢	White glazed bowl	陶器	c.1958	公益財団法人 北野美術館
69	黒釉鉢	Black glazed bowl	陶器	c.1958	公益財団法人 北野美術館
70	スパイラル文花器	Vase with spiral	陶器	c.1958	小山登美夫
71	緑釉小鉢	Small green glazed	磁器	c.1960	個人蔵
72	朱釉小鉢	Small cinnabar glazed	陶器	c.1960	個人蔵
73	線文花器	Vase decorated with lines	陶器	c.1960	個人蔵
74	円筒花器	Cylindrical vase	陶器	c.1960	個人蔵
75	花器	Vase	陶器	c.1960	個人蔵
76	花器	Vase	陶器	c.1960	個人蔵
77	線文円筒花器	Cylindrical vase decorated with lines	磁器	c.1960	個人蔵
78	茶釉花器	Brown glazed vase	磁器	c.1960	個人蔵

No	作品タイトル(和)	作品タイトル(英)	素材	制作年	所蔵者
79	茶釉花器	Brown glazed vase	磁器	c.1960	個人蔵
80	茶釉蓋付筒形線文器	Brown glazed cylindrical vessel with lid, decorated with lines	陶器	c.1960	個人蔵
81	茶釉蓋付筒形器	Brown glazed cylindrical vessels with lid	磁器	c.1960	個人蔵
82	丸文碗	Bowl with circular motifs	磁器	c.1960	個人蔵
83	丸文碗	Bowl with circular motifs	磁器	c.1960	個人蔵
84	茶釉線文カップとソーサー	Brown glazed cups and saucers decorated with lines	陶器	c.1960	個人蔵
85	茶釉線文コーヒーポット	Brown glazed coffee pot decorated with lines	陶器	c.1960	個人蔵
86	茶釉線文コーヒーポット	Brown glazed coffee pot decorated with lines	陶器	c.1960	個人蔵
87	茶釉花器	Small brown glazed vase	陶器	c.1960	個人蔵
88	茶釉線文鉢	Brown glazed bowl decorated with lines	磁器	c.1960	個人蔵
89	茶釉線文鉢	Brown glazed bowl decorated with lines	磁器	c.1960	個人蔵
90	青釉大鉢	Large blue glazed bowl	陶器	c.1960	紀井文庫
91	熔岩釉花器	Vase with volcanic glaze	陶器	c.1960	個人蔵
92	手付注器	Pouring vessels with handle	陶器	1960's	個人蔵
93	線文円筒花器	Cylindrical vase decorated with lines	磁器	1960's	個人蔵
94	黄釉線文鉢	Yellow glazed bowl decorated with lines	磁器	c.1961	個人蔵
95	線文花器	Vase decorated with lines	磁器	c.1963	個人蔵
96	黄釉小鉢	Small yellow glazed bowl	磁器	c.1964	個人蔵
97	白釉花器	White glazed vase	磁器	c.1964	個人蔵
98	線文小鉢	Small bowl decorated with lines	磁器	c.1965	個人蔵
99	線文小鉢	Small bowl decorated with lines	磁器	c.1965	個人蔵
100	茶釉花器	Brown glazed vase	磁器	c.1965	個人蔵
101	緑釉鉢	Green glazed bowl	磁器	c.1965	個人蔵
102	黄釉鉢	Yellow glazed bowl	磁器	c.1965	個人蔵
103	線文鉢	Bowl decorated with lines	磁器	c.1965	個人蔵
104	スパイラル文花器	Vase with spiral	陶器	c.1965	個人蔵
105	赤釉線文花器	Red glazed vase decorated with lines	磁器	c.1965	個人蔵
106	ブロンズ釉白線文鉢	Bronze glazed bowl with white stripes	磁器	c.1965	個人蔵
107	白釉鉢	White glazed bowl	磁器	c.1966	個人蔵
108	茶釉赤線文花器	Brown glazed vase with red stripe	磁器	c.1966	個人蔵
109	線文円筒花器	Cylindrical vase decorated with lines	磁器	1968	東京国立 近代美術館
110	線文円筒花器	Cylindrical vase decorated with lines	磁器	c.1968	個人蔵
111	鑄文花器	Fluted vase	陶器	c.1968	個人蔵
112	スパイラル文鉢	Bowl with spiral	磁器	c.1968	個人蔵
113	白釉鉢	White glazed bowl	陶器	c.1968	個人蔵
115	茶釉線文鉢	Brown glazed bowl decorated with lines	陶器	c.1970	個人蔵
116	青線文鉢	Bowl with blue stripes	磁器	c.1970	個人蔵
117	熔岩釉鉢	Bowl with volcanic glaze	陶器	c.1970	個人蔵
118	青釉鉢	Blue glazed bowl	磁器	c.1970	個人蔵
119	線文鉢	Bowl decorated with lines	陶器	c.1970	個人蔵
120	線文鉢	Bowl decorated with lines	磁器	c.1970	東京国立 近代美術館

No	作品タイトル(和)	作品タイトル(英)	素材	制作年	所蔵者
121	スパイラル文鉢	Bowl with spiral	陶器	c.1970	個人蔵
122	スパイラル文花器	Vase with spiral	陶器	c.1970	個人蔵
123	ドロマイト釉花器	Dolomite glazed vase	陶器	c.1970	個人蔵
124	スパイラル文花器	Vase with spiral	陶器	early 1970's	個人蔵
125	ピンク線文鉢	Bowl with pink stripes	磁器	late 1970's	東京国立 近代美術館
126	スパイラル文花器	Vase with spiral	陶器	c.1972	個人蔵
127	ピンク線文鉢	Bowl with pink stripes	陶器	c.1972	個人蔵
128	ピンク線文鉢	Bowl with pink stripes	陶器	c.1972	個人蔵
129	ピンク線文鉢	Bowl with pink stripes	磁器	c.1972	個人蔵
130	黄釉鉢	Yellow glazed bowl	磁器	c.1972	個人蔵
131	黄釉線文鉢	Yellow glazed bowl decorated with lines	磁器	c.1972	紀井文庫
132	蓋付筒形器	Cylindrical vessel with lid	磁器	c.1974	個人蔵
133	蓋付筒形器	Cylindrical vessel with lid	磁器	c.1974	個人蔵
134	白釉ブロンズ花文鉢	White glazed bowl with bronze floral motif	磁器	c.1974	個人蔵
135	葉文鉢	Bowl with leaf motifs	磁器	c.1974	個人蔵
136	鎬文鉢	Fluted bowl	陶器	c.1974	個人蔵
137	白釉大鉢	White glazed large bowl	陶器	c.1974	個人蔵
138	白釉花器	White glazed vase	陶器	c.1974	個人蔵
139	スパイラル文花器	Vase with spiral	陶器	c.1975	個人蔵
140	線文花器	Vase decorated with lines	磁器	c.1975	個人蔵
141	ピンク線文鉢	Bowl with pink stripes	磁器	c.1975	個人蔵
142	黄釉鉢	Yellow glazed bowl	磁器	c.1975	個人蔵
143	線文鉢	Bowl decorated with lines	磁器	c.1975	個人蔵
144	茶釉線文鉢	Brown glazed bowl decorated with lines	磁器	c.1976	個人蔵
145	線文鉢	Bowl decorated with lines	磁器	c.1976	個人蔵
146	鎬文花器	Fluted vase	陶器	c.1976	東京国立 近代美術館
147	白釉鉢	White glazed bowl	磁器	c.1978	我孫子市立 白樺文学館
150	ピンク線文鉢	Bowl with pink stripes	磁器	c.1978	個人蔵
151	ピンク線文小鉢	Small bowl with pink stripes	陶器	c.1978	個人蔵
152	ピンク線文鉢	Bowl with pink stripes	磁器	c.1978	個人蔵
153	ピンク線文鉢	Bowl with pink stripes	磁器	c.1978	個人蔵
154	ピンク線文蓋付筒形器	Cylindrical vessel with lid, with pink stripes	磁器	c.1974→2010年 展ではc.1978	個人蔵
155	鎬文花器	Fluted vase	陶器	c.1978	個人蔵
155	線文花器	Vase decorated with lines	磁器	c.1978	紀井文庫
156	線文花器	Vase decorated with lines	磁器	c.1978	個人蔵
157	線文花器	Vase decorated with lines	磁器	c.1978	個人蔵
159	ブロンズ釉線文花器	Bronze glazed vase decorated with lines	磁器	c.1978	個人蔵
160	線文花器	Vase decorated with lines	磁器	c.1978	個人蔵
161	白釉花器	White glazed vase	陶器	c.1978	個人蔵
162	スパイラル文花器	Vase with spiral	陶器	c.1978	紀井文庫

No	作品タイトル(和)	作品タイトル(英)	素材	制作年	所蔵者
163	スパイラル文花器	Vase with spiral	陶器	c.1978	茨城県陶芸美術館
164	スパイラル文花器	Vase with spiral	陶器	c.1978	個人蔵
165	白釉青線文鉢	White glazed bowl with blue stripes	磁器	1979	東京国立近代美術館
166	ブロンズ釉線文鉢	Bronze glazed bowl decorated with lines	磁器	c.1979	個人蔵
167	ブロンズ釉線文鉢	Bronze glazed bowl decorated with lines	磁器	c.1980	個人蔵
168	青ニット線文碗	Blue "knitted" bowl	陶器	c.1980	個人蔵
169	青ニット線文鉢	Blue "knitted" bowl	陶器	c.1980	個人蔵
170	線文鉢	Bowl decorated with lines	磁器	c.1980	個人蔵
171	青釉鉢	Blue glazed bowl	磁器	c.1980	個人蔵
172	緑釉鉢	Green glazed bowl	磁器	c.1980	公益財団法人北野美術館
173	緑釉鉢	Green glazed bowl	磁器	c.1980	個人蔵
174	ピンク線文鉢	Bowl with pink stripes	磁器	c.1980	個人蔵
175	ピンク線文鉢	Bowl with pink stripes	磁器	c.1980	個人蔵
176	ピンク線文鉢	Bowl with pink stripes	磁器	c.1980	個人蔵
177	ピンク線文鉢	Bowl with pink stripes	磁器	c.1980	個人蔵
178	黄釉鉢	Yellow glazed bowl	磁器	c.1980	個人蔵
179	白釉鉢	White glazed bowl	磁器	c.1980	個人蔵
180	白釉鉢	White glazed bowl	磁器	c.1980	個人蔵
181	ブロンズ釉鉢	Bronze glazed bowl	磁器	c.1980	個人蔵
182	線文円筒花器	Cylindrical vase decorated with lines	磁器	c.1980	個人蔵
183	鑄文花器	Fluted vase	陶器	c.1980	個人蔵
184	スパイラル文花器	Vase with spiral	陶器	c.1980	個人蔵
185	スパイラル文花器	Vase with spiral	陶器	c.1980	個人蔵
186	スパイラル文花器	Vase with spiral	陶器	c.1980	個人蔵
187	線文花器	Vase decorated with lines	磁器	c.1980	個人蔵
188	ブロンズ釉鉢	Bronze glazed bowl	磁器	1980's	個人蔵
189	ピンク線文鉢	Bowl with pink stripes	磁器	c.1981	個人蔵
190	線文花器	Vase decorated with lines	磁器	c.1982	公益財団法人北野美術館
191	ブロンズ釉線文花器	Bronze glazed vase decorated with lines	磁器	c.1982	個人蔵
192	ブロンズ釉白線文鉢	Bronze glazed bowl with white stripes	磁器	c.1982	個人蔵
193	白釉花器	White glazed vase	陶器	c.1984	個人蔵
194	ブロンズ釉花器	Bronze glazed vase	磁器	c.1984	個人蔵
195	白釉花器	White glazed vase	磁器	c.1984	個人蔵
196	練り込み花器	Marbled vase	陶器	c.1985	個人蔵
197	練り込み花器	Marbled vase	陶器	c.1985	個人蔵
198	スパイラル文花器	Vase with spiral	陶器	c.1985	個人蔵
199	線文花器	Vase decorated with lines (pink)	磁器	c.1990	個人蔵
参考 出品	ボタンの型	Button mould	石膏	1941-1948	個人蔵
参考 出品	ハンス・コパー カップとソーサー	Brown glazed cups and saucers	陶器	1950's	個人蔵

Ⅲ 教育普及事業

1) 美術館文化講座「アート・テーク」 6回 午後2時～ 参加者数 551名

文化資源としてのアートという視点から独自のテーマを設定し「アートを捉える」、「アートから捉える」ことを目的とした年6回の講座。講師は当館館長、そして当該領域の第一人者および最先端で研究・活動する講師を招聘した。

回	実施日	講座名	会場	講師	参加者数
1	平成27年 5月30日(土)	妖怪文化の伝統と創造～絵巻から妖怪ウォッチまで～	多目的スタジオ	小松和彦（文化人類学者・民俗学者・国際日本文化研究センター所長）	110
2	7月26日(日)	異界を語る琵琶の音色	多目的スタジオ	塩高和之（琵琶奏者）	180
3	9月26日(土)	衣と〈後ろの世界〉	講義室	佐治ゆかり（当館館長）	28
4	11月28日(土)	異界を描く	講義室	佐治ゆかり（当館館長）	28
5	平成28年 1月23日(土)	見えないものを見せるためのいくつかの仕掛け	多目的スタジオ	京極夏彦（小説家）	180
6	3月26日(土)	境界の造形	講義室	佐治ゆかり（当館館長）	25
合 計					551



妖怪文化の伝統と創造～絵巻から妖怪ウォッチまで～
(平成27年5月30日)



異界を語る琵琶の音色（平成27年7月26日）



見えないものを見せるためのいくつかの仕掛け
(平成28年1月23日)

2) 講演会 会場：多目的スタジオ 午後2時～ 6回 参加者数 526名

回	実施日	演題	講師	開催企画展	参加者数
1	平成27年 4月29日(水・祝)	対談 「再発見、明治工芸の粋」	村田理如（清水三年坂美術館長）、山下祐二（明治学院大学教授）	超絶技巧! 明治工芸の粋	112
2	7月4日(土)	光と色が放つイメージ	上羽陽子 (国立民族学博物館准教授)	イメージの力展	62
3	8月8日(土)	イメージの力 ～みんなのコレクションが語るもの～	吉田憲司 (国立民族学博物館副館長)		78
4	10月4日(日)	美をむすぶ・美をひらく -コレクションの軌跡	石田佳也 (サントリー美術館学芸部長)	サントリー美術館 所蔵品展	104
5	11月23日 (月・祝)	近代の正統性 三木宗策の仏像をめぐって	小泉晋弥（茨城大学教授）	三木宗策の世界展	105
6	平成28年 1月30日(土)	モダニズムの陶芸家、ルーシー・リーの造形美	金子賢治 (茨城県陶芸美術館長)	ルーシー・リー展	65
合 計					526

3) 美術講座 午後2時～ 6回 参加者数 280名

回	実施日	演題	講師(当館学芸員)	会場	開催企画展	参加者数
1	平成27年 5月23日(土)	知られざる明治工芸の粋	菅野洋人	講義室	超絶技巧! 明治工芸の粋	65
2	9月27日(日)	洛中洛外図屏風を解剖しよう	鈴木誠一	多目的 スタジオ	サントリー美術館 所蔵品展	97
3	10月10日(土)	日本ガラス工芸の発展	田中有沙子	講義室		30
4	12月5日(土)	近代の木彫作品を伝える	中山恵理	講義室	三木宗策の世界展	30
5	12月13日(日)	三木宗策と戦前の彫刻について	菅野洋人	講義室		30
6	平成28年 2月28日(日)	色が奏でる器たち	富岡進一	講義室	ルーシー・リー展	28
合 計						280

4) ギャラリートーク 会場：企画展示室 午後2時～ 10回 参加者数 375名

回	実施日	講師(当館学芸員)	開催企画展	参加者数
1	平成27年5月9日(土)	菅野洋人	超絶技巧! 明治工芸の粋	27
2	6月6日(土)	新田量子		40
3	8月22日(土)	永山多貴子	イメージの力展	25
4	9月5日(土)	鈴木誠一	サントリー美術館所蔵品展	64
5	9月20日(日)	田中有沙子		50
6	10月18日(日)	富岡進一		36
7	11月14日(土)	菅野洋人		三木宗策の世界展
8	11月28日(土)	中山恵理	20	
9	平成28年2月13日(土)	富岡進一	ルーシー・リー展	45
10	2月27日(土)	新田量子		43
合 計				375

5) ワークショップ 会場：多目的スタジオ他 10回 参加者数 322名

回	実施日	講座名	参加者数
1	平成27年6月7日(日)、14日(日)	牙彫体験 ー象牙を彫る・磨く・染める	15
2	7月12日(日)	季節を染める ー葛ー	12
3	7月18日(土)	野外彫刻を作ろう	20
4	8月1日(土)	第10回 風土記の丘発 図工&美術の時間へようこそ	153
5	8月9日(日)	民族楽器とサウンドオブジェを作ろう	20
6	10月11日(日)、12日(月・祝)	誰でもカンタン!キラキラ☆金箔画に挑戦!	14
7	12月6日(日)	季節を染める ー柵ー	15
8	平成28年2月7日(日)、3月13日(日)	初心者のための陶芸ワークショップ	15
9	2月27日(土)、3月5日(土)、6日(日)	銅版画講座	15
10	3月19日(土)、20日(日)	じぶんだけのとびっきりのうつわをつくろう!	43
合 計			322

「牙彫体験ー象牙を彫る・磨く・染める」(連続講座)

「超絶技巧! 明治工芸の粋」関連企画。象牙の小片を用いて〈彫る・磨く・染める〉の各工程を体験するワークショップを実施した。

講 師：前田 中氏 (根付師・国際根付彫刻会役員)

日 時：平成 27 年 6 月 7 日 (日)、14 日 (日)

午前 10 時～午後 5 時

会 場：創作スタジオ

参加者：15 名



「季節を染めるー葛ー」

夏草を代表する葛を材料にスカーフ染めを行なった。詳細なレクチャーの後、銅とミョウバンで媒染し、趣の異なる二種類の絹製スカーフを染めた。見慣れた夏草から美しい緑が得られた。

講 師：佐治ゆかり (当館館長)

日 時：平成 27 年 7 月 12 日 (日) 午前 10 時～午後 4 時

会 場：創作スタジオ

参加者：12 名



「野外彫刻を作ろう」

「イメージの力」展関連企画。出品資料で韓国の民族造形「ソッテ」をイメージした木製の野外彫刻を制作した。自然木を材料に、鳥の形に見立てながら成形し、前庭に設置した。

講 師：関根秀樹氏 (和光大学講師・民俗文化史研究家)

日 時：平成 27 年 7 月 18 日 (土) 午前 10 時～午後 4 時

会 場：庭、多目的スタジオ

参加者：20 名



公開ワークショップ

「第10回 風土記の丘発 図工&美術の時間へようこそ!」

「第14回 風土記の丘の美術展～郡山市内の小学生の作品展～」関連企画。小・中学校で行われている図工と美術の授業内容を紹介するワークショップを自由参加型で実施した。

日 時：平成 27 年 8 月 1 日 (土)

午前 11 時～正午、午後 2 時～午後 3 時

会 場：多目的スタジオ

参加者：153 名



「民族楽器とサウンドオブジェを作ろう」

「イメージの力」展関連企画。角材を削り、彩色して紐を付け、振り回して様々な音を鳴らす民族楽器を制作した。また、竹を用いて音が出る作品を作り、参加者で演奏した。

講師：関根秀樹氏（和光大学講師・民俗文化史研究家）
 日時：平成27年8月9日（日）午前10時～午後4時
 会場：庭、講義室、創作スタジオ、多目的スタジオ
 参加者：20名



「誰でもカンタン！ キラキラ☆金箔画に挑戦！」(連続講座)

「サントリー美術館所蔵品展」関連企画。自分の顔や花、果物等シンプルなモチーフを金箔を用いながら油彩で描いた。

講師：鴻崎正武氏（画家・東北芸術工科大学准教授）
 日時：平成27年10月11日（日）、12日（月・祝）
 午前10時～午後5時
 会場：創作スタジオ
 参加者：14名



「季節を染める一栴一」

美術館周辺で採取した栴の殻斗を材料にスカーフ染めを行なった。詳細なレクチャーの後、木酢酸鉄による媒染でカシミアとシルク素材の二種類のスカーフを染めた。古くから身近な染料として使われてきた栴から味わい深い色合いが引き出された。

講師：佐治ゆかり（当館館長）
 日時：平成27年12月6日（日）午前10時～午後2時30分
 会場：創作スタジオ
 参加者：15名



「初心者のための陶芸ワークショップ」(連続講座)

「ルーシー・リー展」関連企画。会津美里町の宗像窯で作陶する宗像氏による。土をこねて成形し、湯呑、マグカップ、皿等自分たちが作りたい作品を制作した。

講師：宗像利訓氏（陶芸家）
 日時：平成28年2月7日（日）午前10時～午後4時
 3月13日（日）午後1時～午後3時
 会場：創作スタジオ
 参加者：15名



「銅版画講座」(連続講座)

「初心者を対象にエッチング技法とアクアチント技法を併用して、多色刷りの銅版画を制作した。

講師：安藤真司氏（版画家）
 日時：平成28年2月27日（土）、3月5日（土）、6日（日）
 午前10時～午後5時
 会場：創作スタジオ
 参加者：15名



「じぶんだけのとびっきりのうつわをつくろう！」(一日講座)

「ルーシー・リー展」関連企画。陶芸に関する鑑賞と創作を行なった。オープン陶土を使ってボタンや皿、マグカップ等を制作した。

講師：藤田百合氏（女子美術大学講師）
 日時：平成28年3月19日（土）、20日（日）
 午前11時～午後3時
 会場：多目的スタジオ
 参加者：合計43名（3月19日21名、3月20日22名）



6) ミュージアム・シアター 会場：多目的スタジオ 午後2時～ 9回 参加者数 850名

映画もまた芸術の一表現手段であるという観点から、一般上映館ではあまり上映されない過去の名作や実験映画、美術映画などを上映するとともに、市民に美術館を身近なものとして親しんでもらうために、子どもから高齢者まで楽しめる映画を上映する。

回	実施日	上映時間	上映作品	監督・出演等	関連企画展	参加者数
1	平成27年 5月16日(土)	122分	「こころ」	監督：市川崑 出演：森雅之他	超絶技巧! 明治工芸の粋	165
2	6月13日(土)	124分	「山椒太夫」	監督：溝口健二 出演：田中絹代他		71
3	6月28日(日)	75分	「キリクと魔女」	監督：ミッシェル・オスロ 声：神木隆之介他	イメージの力展	32
4	8月16日(日)	115分	「アフリカ物語」	監督：羽仁進 出演：ジェームズ・スチュワート他		51
5	9月19日(土)	90分	「風雲児信長」	監督：マキノ正博 出演：片岡千恵蔵他	サントリー美術館所蔵 品展	63
6	10月11日(日)	107分	「千利休 本覺坊遺文」	監督：熊井啓 出演：奥田瑛二他		178
7	11月22日(日)	98分	「楊貴妃」	監督：溝口健二 出演：京マチ子他	三木宗策の世界展	116
8	12月20日(日)	90分	「アジアの瞳」	監督：ジョアオン・マリオ・グリロ 出演：ヨシ笈田他		82
9	平成28年 2月20日(土)	106分	「菩提樹」	監督：ヴォルフガング・リーベンアイナー 出演：ルート・ロイヴェリク他	ルーシー・リー展	92
合 計						850

7) ミュージアム・コンサート 会場：階段ホール 午後6時30分～ 1回 参加者数 185名

ミュージアム・コンサートとして、気鋭のアコーディオニスト coba 氏（アコーディオン奏者）の演奏会を開催した。パワフルな演奏と観客との親しみ深いやりとりが印象的なコンサートであった。

回	実施日	タイトル	参加者数
1	平成27年10月24日(土)	coba museum concert	185



8) 学校との連携授業

①第14回風土記の丘の美術展 ～郡山市内の小学生による作品展～

主催：郡山市立美術館、郡山市小学校造形教育研究会

郡山市内の小学生が図工教科の授業で制作した造形作品を美術館内に展示した。子どもたちの造形活動を促し、教科研究に役立てるとともに、市民が美術館に身近に接する機会をつくる目的で毎年開催している。

会期：平成27年7月20日（月・祝）～8月23日（日）

1期 北方部（7月20日～7月26日）

2期 中方部（7月28日～8月2日）

3期 東方部（8月4日～8月9日）

4期 西方部（8月11日～8月16日）

5期 南方部（8月18日～8月23日）

参加校：62校

会場：美術館ロビー

②第8回風土記の空 ～郡山市内の中学校美術部・選択美術による作品展～

郡山市内の中学校が、美術部活動や選択美術などにおいて制作した作品を美術館内に展示した。この展覧会は、美術館と中学校との連携と美術活動の活性化を目的に実施し、額装や展示等も中学生が行っている。

参加校／日和田中学校、守山中学校、郡山第二中学校、郡山第四中学校、郡山第五中学校、緑ヶ丘中学校、小原田中学校、西田中学校（計8校）

会期：平成27年11月10日（火）～12月23日（月）

会場：美術館ロビー

③鑑賞学習対応

鑑賞学習対応

幼稚園3園153名 小学校20校1209名 中学校33校3342名 高等学校3校376名 計59校

④講師派遣

- 平成27年度郡山市小学校造形教育研究会研修会

講師：永山多貴子

日時：5月14日（木）午後3時～午後5時

会場：多目的スタジオ

- 平成27年度郡山市小学校教育研究会図画工作科部会研修会

講師：永山多貴子

日時：6月3日（火）午後2時～午後4時

場所：多目的スタジオ

- 平成27年度福島県教育センター自主企画「先生のための図画工作・美術鑑賞法指導講座」

講師：富岡進一

日時：7月11日（土）午前10時～午後4時

場所：常設展示室等

- 平成27年度石川地区小学校教育研究会図画工作科部会研修会

講師：永山多貴子

日時：7月22日（水）午後2時～午後4時

場所：企画展示室

⑤先生のための図画工作・美術鑑賞法指導講座

講師：星博人氏（福島県教育センター指導主事）

日時：平成27年7月11日（土）

会場：講義室・常設展示室

9) 対外協力

①第 64 回全国美術館会議総会

郡山市立美術館が幹事館となり開催した。

全参加者数：236 名

平成 27 年 5 月 28 日（木）

会場：郡山ビューホテルアネックス 4 階

・ 総会 午後 1 時～午後 4 時

議長：佐治ゆかり

司会：佐藤秀彦

・ 特別講演会「放射性物質汚染と文化財一対応の実際」 午後 4 時 15 分～午後 5 時 45 分

講師：佐野千絵氏（東京文化財研究所）

平成 27 年 5 月 29 日（金）

・ 当館視察 午前 9 時 30 分～午前 11 時

・ 被災地視察

会場：富岡町、富岡学びの森等

②全国美術館会議各部会

第 64 回全国美術館会議総会開催に併せて全国美術館会議各部会が郡山市立美術館で開催された（すべて平成 27 年 5 月 29 日）。

・ 第 41 回小規模館研究部会 午前 10 時～午後 1 時

会場：多目的スタジオ

・ 第 28 回ホームページ部会 午前 10 時～午後 0 時

会場：創作スタジオ

・ 第 21 回美術館運営制度研究部会 午前 10 時～午後 1 時

会場：応接室

・ 第 2 回地域美術研究部会 午前 10 時～午後 3 時

発表：杉原聡「郡山と昭和の美術について」

会場：講義室

③博物館実習（1 件）

期間：平成 27 年 7 月 30 日（木）～8 月 9 日（日）

受入校及び実習生数：4 校 4 名

女子美術大学（1 名）／筑波大学（1 名）／秋田公立美術大学（1 名）／郡山女子大学短期大学部（1 名）

実習内容：作品の取扱（平面・立体）、各概論（収集・保存・展示・普及）、機器取扱（カメラ・温湿度計など）、野外彫刻洗浄、ワークショップ補助、体験学習（ギャラリートーク、企画展立案及びプレゼンテーション）

④ジュニア・インターンシップ（1 件）

期間：平成 27 年 10 月 7 日（水）～9 日（金）

受入校及び実習生数：1 校 1 名

郡山萌世高校（1 名）

実習内容：概論（美術館に関係する職業について）、作業補助（広報作業、図書整理など）、体験実習（教材使用、監視業務）

⑤全国美術館会議保存研究部会第 46 回会合

・ 講演会「東京国立博物館における保存修復活動の進化と現状について」

講師：神庭信幸氏（東京国立博物館特任研究員）

日時：平成 27 年 11 月 13 日（金）午後 2 時～午後 3 時 30 分

会場：多目的スタジオ

- ・ 提案「国立修復センター設立の要望について」山梨俊夫氏（国立国際美術館長）

日時：平成 27 年 11 月 13 日（金）午後 4 時～午後 5 時

会場：多目的スタジオ

- ・ 討論会「コンディションチェック表について」

日時：平成 27 年 11 月 14 日（土）午前 9 時 30 分～午後 0 時 45 分

会場：多目的スタジオ

10) 図書資料・視聴覚資料

調査研究及び教育普及を目的とし、昭和 63 年から図書、ビデオ、レーザーディスク、CD-ROM、DVD などの二次資料を収集し、一部は開架式図書コーナーにおいて公開している。

この二次資料は、平成 27 年度末現在 23,000 件を越えているが、専門職員（司書）の配置がなされていないために、慢性的な未整理状態が続いている。早急な司書の配置が望まれる。

11) 刊行物

美術館ニュース「ザ・ルーフ」 A2 判カラー四つ折り

Vol.46（平成 27 年 6 月 11 日発行）

記事

鈴木誠一「佐藤潤四郎の新収蔵作品について」	表紙
杉原聡「イメージの力 国立民族学博物館コレクションにさぐる」	p.2-3
「超絶技巧! 明治工芸の粋」	p.3
田中有沙子「サントリー美術館所蔵品展 夢とあこがれの形」、「平成 26 年度寄贈作品報告」	p.4
富岡進一「「判じ絵」ニュー・ウェーブ」	p.5
萩原朔美「舟越保武作《萩原朔太郎像》について」	p.6
「行事報告」	p.6-7
野地庄一「ワークショップ「石に刻もう」	p.7
INFORMATION、TOPICS、アート・テーク報告	p.8

美術館ニュース「ザ・ルーフ」 A4 判カラー 8 ページ

Vol.47（平成 27 年 10 月 31 日発行）

記事

三木宗策《威容抱慈（坂上田村麻呂像）》（部分）	表紙
菅野洋人「木彫の正統 没後七〇年 三木宗策の世界展」	p.2-3
「サントリー美術館所蔵品展 夢とあこがれの形」	p.3
新田量子「没後 20 年 ルーシー・リー展」	p.4
星博人「美術館は豊かな学びの宝庫」	p.5
関根秀樹「鳥竿（ソッテ）とうなり木」	p.6
Report（ワークショップ等）	p.7
INFORMATION、TOPICS、アート・テーク報告	p.8

郡山市立美術館年報 平成 26 年度

A4 判 82 ページ（平成 27 年 9 月 2 日発行）

ザ・ルーフ・ミュージアム・カレンダー

A4 片面カラー三つ折

常設展示目録

- 「常設展示目録 第1期 平成27年4月29日～7月26日」 A4両面モノクロ 4頁
- 「常設展示目録 第2期 平成27年7月29日～10月12日」 A4両面モノクロ 4頁
- 「常設展示目録 第3期 平成27年10月15日～12月27日」 A4両面モノクロ 4頁
- 「常設展示目録 第4期 平成28年1月16日～4月17日」 A4両面モノクロ 4頁

ポスター・チラシ・パンフレット

超絶技巧! 明治工芸の粋

ポスター B2カラー、チラシ A4両面カラー
イメージの力 国立民族学博物館コレクション

ポスター B2カラー、チラシ A4両面カラー
郡山市立美術館文化講座「アート・テーク」

チラシ A4片面2色、片面1色

郡山市立美術館 夏・秋プログラム

A3四つ折り両面カラー

サントリー美術館所蔵品展 夢とあこがれの形

ポスター B2カラー、チラシ A4両面カラー、鑑賞ガイド A5カラー 12ページ

coba ミュージアム・コンサート

チラシ A4片面2色、片面1色

木彫の正統 没後70年 三木宗策の世界展

ポスター B2カラー、チラシ A4両面カラー

没後20年 ルーシー・リー展

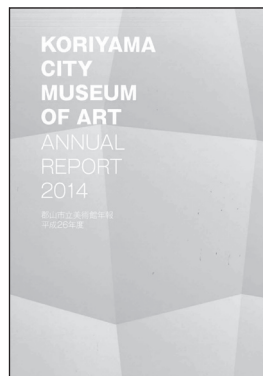
ポスター B2カラー、チラシ A4両面カラー



ザ・ルーフ 第46号



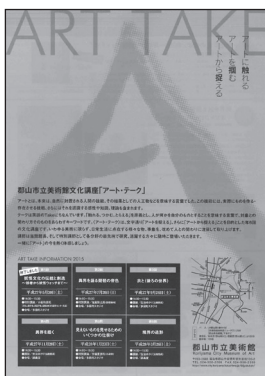
ザ・ルーフ 第47号



年報 平成26年度



カレンダー



アート・テーク チラシ



夏・秋プログラム



coba コンサート・チラシ

12) 寄稿及び関連記事・報道

講演

- ・富岡進一「美術映画鑑賞解説 ターナー、光に愛を求めて ターナーの生涯と画業について」フォーラム福島、平成28年2月16日。
- ・鈴木誠一「進路理解講座」あさか開成高校、平成28年3月17日。

市政きらめき出前講座

- ・菅野洋人「郡山ゆかりの美術講座」あさかの23B会、郡山市中央公民館、平成27年6月11日。
- ・菅野洋人「郡山市立美術館の成り立ちと水彩画の魅力について」シニア水彩画愛好会講座、講義室、平成27年9月18日。
- ・菅野洋人「郡山ゆかりの美術講座」日本女子大学桜楓会郡山支部、郡山ビューホテル3階カトレア、平成27年10月17日。
- ・菅野洋人「郡山ゆかりの美術講座」こはらだ男塾、小原田地域公民館、平成27年11月18日。
- ・鈴木誠一「美術に関する教養講座」郡山市あさかの学園大学、ビッグアイ7階、平成27年11月20日。

寄稿

- ・佐治ゆかり「『ふるさと』～違和感の原点」、『愛媛新聞』平成27年1月11日付。
- ・佐治ゆかり「想像力の原点」、『愛媛新聞』平成27年2月15日付。
- ・佐治ゆかり「東日本大震災その後～福島で生きる」、『愛媛新聞』平成27年3月22日付。
- ・永山多貴子「笠置季男《躍進》」、『街こおりやま』平成27年4月号、第480号、街こおりやま社。
- ・永山多貴子「名品さんぽ この1点27 岸田劉生の2枚の絵」、『福島民友』平成27年4月27日付。
- ・佐治ゆかり「『雑草』の憂い」、『愛媛新聞』平成27年4月26日付。
- ・佐治ゆかり「ティータイム211 門出のはなむけ」、『福島民報』平成27年5月1日付。
- ・佐藤秀彦「大山忠作《歷程》(JR郡山駅ステンドグラス)」、『街こおりやま』平成27年5月号、第481号、街こおりやま社。
- ・佐治ゆかり「『美』の体験」、『愛媛新聞』平成27年5月31日付。
- ・鈴木誠一「安藤重春《夕はれ》(郡山市役所)」、『街こおりやま』平成27年6月号、第482号、街こおりやま社。
- ・鈴木誠一「斎藤清《雨後の茸岩》、大山忠作《湖南の四季》(郡山市民文化センター緞帳)」、『街こおりやま』平成27年7月号、第483号、街こおりやま社。
- ・佐治ゆかり「人生の目印」、『愛媛新聞』平成27年7月5日付。
- ・菅野洋人「三坂耿一郎《化石の石に乗る》《鞠》(美術館通り)」、『街こおりやま』平成27年8月号、第484号、街こおりやま社。
- ・佐治ゆかり「日本の公立美術館」、『愛媛新聞』平成27年8月9日付。
- ・鈴木誠一「学芸員が選ぶベストセレクション1 佐藤潤四郎《水指(カットグラス)》」、『福島民報』平成27年8月8日付。
- ・永山多貴子「学芸員が選ぶベストセレクション2 パーン=ジョーンズ《フローラ》」、『福島民報』平成27年8月15日付。
- ・田中有沙子「学芸員が選ぶベストセレクション3 ターナー《カンバーランド州のコールダー・ブリッジ》」、『福島民報』平成27年8月22日付。
- ・新田量子「学芸員が選ぶベストセレクション4 ゴームリー《領域XIII》《量子雲XXIII》」、『福島民報』平成27年8月29日付。
- ・永山多貴子「佐藤義重《建設》(JR郡山駅レリーフ)《安積良斎先生銅像》(安積国造神社)」、『街こおりやま』平成27年9月号、第485号、街こおりやま社。
- ・杉原聡「学芸員が選ぶベストセレクション5 ホイッスラー《ラルエツ坊や》」、『福島民報』平成27年9月12日付。
- ・佐治ゆかり「日本の美術館」、『愛媛新聞』平成27年9月13日付。
- ・富岡進一「学芸員が選ぶベストセレクション6 小出楯重《自画像》」、『福島民報』平成27年9月26日付。
- ・中山恵理「三木宗策《弘法大師一代記》(如宝寺欄間)《威容抱慈》」、『街こおりやま』平成27年10月号、第486号、街こおりやま社。
- ・佐治ゆかり「ティータイム216 藍の花」、『福島民報』平成27年10月2日付。
- ・菅野洋人「学芸員が選ぶベストセレクション7 黒田清輝《東久世伯肖像エスキース》」、『福島民報』平成27年10月3日付。
- ・中山恵理「学芸員が選ぶベストセレクション8・完 三木宗策《威容抱慈》」、『福島民報』平成27年10月10日付。
- ・佐治ゆかり「藍の花」、『愛媛新聞』平成27年10月18日付。

- ・中山恵理「三木宗策《弘法大師一代記》(如宝寺欄間)」、『街こおりやま』平成27年11月号、第487号、街こおりやま社。
- ・佐治ゆかり「ふくしま人186 日本画家 酒井三良1」、『福島民報』平成27年11月14日付。
- ・佐治ゆかり「ふくしま人187 日本画家 酒井三良2」、『福島民報』平成27年11月21日付。
- ・佐治ゆかり「深呼吸する幸せ」、『愛媛新聞』平成27年11月22日付。
- ・佐治ゆかり「ふくしま人188 日本画家 酒井三良3」、『福島民報』平成27年11月28日付。
- ・中山恵理「三木宗策・三坂耿一郎《阿部茂兵衛銅像》(開成山大神宮駐車場)」、『街こおりやま』平成27年12月号、第488号、街こおりやま社。
- ・佐治ゆかり「ティータイム218 つなぎ糸」、『福島民報』平成27年12月4日付。
- ・佐治ゆかり「ふくしま人189 日本画家 酒井三良4」、『福島民報』平成27年12月5日付。
- ・佐治ゆかり「ふくしま人190 日本画家 酒井三良5」、『福島民報』平成27年12月12日付。
- ・佐治ゆかり「未来への葉書」、『愛媛新聞』平成27年12月27日付。
- ・永山多貴子「佐藤昭一《雲》(東山悠苑)」、『街こおりやま』平成28年1月号、第489号、街こおりやま社。
- ・菅野洋人「及川正通〈特大号〉展」、『芸術批評誌リア』平成28年1月25日。
- ・永山多貴子「三坂耿一郎《翔》(郡山市市民文化センター)」、『街こおりやま』平成28年2月号、第490号、街こおりやま社。
- ・永山多貴子「三坂耿一郎《犬》《猫》(文化通り)」、『街こおりやま』平成28年3月号、第491号、街こおりやま社。

関連記事

新聞

- ・「広告 マッサンとふくしま」、『福島民報』『福島民友』、平成27年3月28日付。佐藤潤四郎デザイン・カガミクリスタル制作《「スーパーニッカ」手吹きボトル》掲載。
- ・「古代の民族楽器作る 郡山市立美術館」、『福島民報』郡山版、平成27年8月18日付。
- ・「画家・ターナー題材の映画鑑賞 県立美術館友の会」、『福島民報』平成27年9月7日付。
- ・「映画でターナー紹介」、『福島民友』平成27年9月11日付。

雑誌その他

- ・角田拓朗著『絵師五姓田芳柳 義松親子の夢追い物語』三好企画、平成27年9月20日発行、五姓田芳柳《風俗図屏風》掲載。
- ・「長崎ビイドロ」チャンネルK、平成27年12月、佐藤潤四郎デザイン・カガミクリスタル制作《「スーパーニッカ」手吹きボトル》、佐藤潤四郎《オブジェ・羊車》《ルーマー杯・なみなみのワインを》放映。
- ・「グッド!モーニング」テレビ朝日、平成27年12月18日午前7時30分、床次正精《西郷隆盛肖像》放映。
- ・安永幸一著『吉田博作品集』東京美術、平成28年3月10日発行、吉田博《風景》《滞船・薄暮》掲載。

IV 作品収集・保存管理事業

1) 収蔵作品・美術資料・寄託作品一覧

美術品の収集は、(1)イギリスの近代美術、(2)日本の近代美術、(3)郡山ゆかりの美術、(4)本(版)の美術、の4つの柱を基本方針として行っている。平成27年度の収集作品はない。

	油 彩	水彩、素描	日本画	版 画	彫刻	工芸	計	美術資料
平成12年度まで	231	353	28	1,198	24	166	2,000	103
平成13年度	2	0	2	21	1	2	28	0
平成14年度	16	27	0	29	6	16	94	0
平成15年度	2	0	2	0	0	0	4	0
平成16年度	9	1	1	0	0	0	11	0
平成19年度	0	0	17	0	8	5	30	0
平成20年度	13	16	0	1	1	0	31	0
平成24年度	4	0	0	2	0	0	6	2
平成25年度	2	0	0	0	0	1	3	0
平成26年度	1	0	0	3	1	22	27	7
合計	280	397	50	1,254	41	212	2,234	112

2) 収蔵作品貸出状況

作者名	作品名	展覧会名	会場	会期
南薫造	川筋の家	日韓近代美術家のまなざし—『朝鮮』で描く	神奈川県立近代美術館 葉山	平成27年4月4日(土)～5月8日(金)
			新潟県立万代島美術館	平成27年5月16日(土)～6月28日(日)
	岐阜県美術館		平成27年7月9日(木)～8月23日(日)	
	北海道立近代美術館		平成27年9月1日(火)～10月12日(月)	
平澤熊一	台湾台北稲理	昭和を生きた画家 平澤熊一展	栃木県立美術館	平成27年4月18日(土)～6月21日(日)
	発芽 建築物と月 林			
古賀春江	蝸牛のいる田舎	画家の詩、詩人の絵	平塚市美術館	平成27年9月19日(土)～11月8日(日)
			碧南市藤井達吉現代美術館	平成27年11月17日(火)～12月20日(日)
			姫路市立美術館	平成28年2月13日(土)～3月27日(日)
			足利市立美術館	平成28年4月9日(土)～6月12日(日)
			北海道立函館美術館	平成28年6月18日(土)～8月7日(日)
ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス アルバート・ジョゼフ・ムーア	フローラ 黄色いマーガレット	「神々の黄昏」展	大分県立美術館	平成27年10月31日(土)～平成28年1月24日(日)

ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	インヴェリアライ・ピア、 ファイン湖、朝	「〈旅〉と芸術」展	埼玉県立近代美術館	平成27年11月14日(土) ～平成28年1月31日(日)
	ドーバー海峡			
	ストーンヘンジ			
	ランプリス湖、北 ウェールズ			
	ネッカー川対岸から 見たハイデルベルク			
五姓田芳柳	アージュロン川の水源			
中山年次	風俗図屏風			
	日本風俗I			
	日本風俗II			
恩地孝四郎展	黒い机	恩地孝四郎展	東京国立近代美術館	平成28年1月13日(水) ～2月28日(日)
			和歌山県立近代美術館	平成28年4月29日(金) ～6月12日(日)
原田直次郎	開天巖戸之図	原田直次郎展	埼玉県立近代美術館	平成27年4月18日(土) ～6月21日(日)
	大江山鬼狩道行図		神奈川県立 近代美術館 葉山	平成27年11月17日(火) ～12月20日(日)
三宅克己	渋谷村天現寺附近の茶店		岡山県立美術館	平成28年2月13日(土) ～3月27日(日)
合田清	独逸皇帝フレデリッ ク三世之肖像		鳥根県石見美術館	平成28年6月18日(土) ～8月7日(日)
	水戸浪士会愛宕山図			

3) 収蔵作品修復状況

◆山本森之助「冬の磐梯山」

技法材質：油彩・キャンバス

制作年：1918（大正7）年

寸法：75.5×106.7cm

修復者：(有)修復研究所21

修復前の状況

- ワニスが不均一に塗布され、厚く塗布された部分が黄化、暗色化している。
- 画面全体に汚れと絵具の黄化が見られる。
- 画面左部分に絵具の浮き上がりや剥落が集中している。裏面の同じ部分に水性のシミが見られることから、これらの損傷は冠水によるものと思われる。
- 補彩や耳部分の接着など、いくつかの旧処置が行われた形跡がある。
- 支持体裏面には油性及び水性のシミが見られる。油性のシミは絵具の亀裂部分から生じたと思われる。
- 額縁の角の接合部が離れていて、アクリル板がはずれている。裏板の損傷が激しい。

修復内容

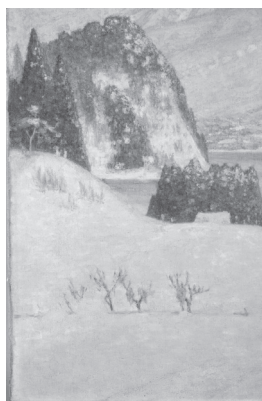
- 浮き上がり接着（膠水）
- 旧ワニス除去（ミネラルスピリット+エタノール）
- 画面洗浄（アンモニア水+セルソルブ）
- 支持体裏面のゴミなどを除去し殺菌（エタノール水）
- 支持体の変形修正
- 耳補強（麻布をBEVAシートで接着）
- 剥落部分を充填成形（ボローニャ石膏+膠水）及び補彩（溶剤型アクリル樹脂絵具）
- ワニス塗布（チアベンダゾールを主剤とする防黴剤入りワニス・ダンマル樹脂ワニス）
- 額縁の破損部修理・入れ子の新調・裏板の交換（ポリカーボネート）



山本森之助「冬の磐梯山」



同（左下部分・修復前）



同（左下部分・修復後）

◆古賀春江「蝸牛のいる田舎」の額

修復者：(有)修復研究所21

修復前の状況

- 地塗りの剥落、浮き上がり、亀裂が生じている。
- 一部に補彩された形跡がある。
- 入れ子枠と布地枠がステーブルで固定されている。

修復内容

- 浮き上がり、剥落片の接着（膠水）
- 汚れの除去
- 充填成形（ボローニャ石膏+膠水）
- 補彩（アクリル樹脂絵具）
- 入れ子枠と布地枠の固定を木ネジに代える。
- 外額と内枠をトンボで固定

□紙作品マット装作業

郡山市立美術館では多数の紙を支持体とする作品を収蔵しているが、そのなかに額装やマット装されていない作品も多数含まれている。それらは、常設展示などへの出し入れの際に、破損や折れなどが生じやすい状態のため、平成25年度から必要に応じて物理的、化学的な修復もいれながら、順次マット装化を進めていくことになった。マットへの固定は、原則として和紙によるヒンジ固定を行った。

今年度は下記作品のマット装を行った。

作者名	タイトル	制作年	技法	寸法 (cm)
吉田博	上野、東照宮	1894年	水彩・紙	50.2×31.4
吉田博	山村風景	1896年	水彩・紙	30.4×18.6
吉田博	滞船、薄暮	1907年頃	水彩・紙	27.7×38.2
吉田博	檜原下川のつなさんの馬	1908年	水彩・紙	34.5×51.0
吉田博	武州飯能町、入間川辺		水彩・紙	27.7×44.2
吉田博	花のある風景		水彩・紙	32.8×49.4
吉田博	信州風景		水彩・紙	29.0×46.8
吉田博	夕暮		水彩・紙	33.0×49.6
吉田博	つつじの咲く高原		水彩・紙	33.0×50.0
鎌田正藏	ロボット家族		アクリル・紙	52.6×38.0
鎌田正藏	森		アクリル・紙	51.0×35.0
鎌田正藏	対話の構図・試作		アクリル、パステル・紙	55.3×35.2
鎌田正藏	人		アクリル、パステル・紙	51.4×36.3
鎌田正藏	ARAB・試作		アクリル、パステル・紙	50.0×35.1
吉井忠	手のある風景	1937年	インク・紙	31.0×39.0
吉井忠	滝口氏による灯	1938年	インク、水彩・紙	38.0×28.0
吉井忠	落日	1938年	インク・紙	26.0×37.2
吉井忠	はさみと月	1938年	インク・紙	27.4×39.4

4) その他の保存管理事業

◆燻蒸

作業日時：平成28年1月7日（木）～12日（火）

燻蒸箇所：企画展示室（容積合計6,790m³）

使用薬剤：エキヒュームS

施工業者：東化研（株）

効果判定：殺虫、殺卵、殺カビすべて100%（公益財団法人文化財虫害研究所による判定）

◆施設保全

一般駐車場の車止めを131箇所に設置、縁石加工及び白線引き直しを行ない、平成27年7月末に工事が完了した。

V 利用者数

美術館総利用者数 100,056 人

1) 展覧会 82,202 人

展覧会観覧者数

(人)

展 覧 会	期 間	日 数	観 覧 者 数
超絶技巧! 明治工芸の粋	平成 27 年 4 月 21 日～6 月 14 日	48	11,470
イメージの力 国立民族学博物館コレクションにさぐる	平成 27 年 6 月 27 日～8 月 23 日	50	8,447
サントリー美術館所蔵品展	平成 27 年 9 月 5 日～10 月 18 日	38	14,931
没後 70 年 三木宗策の世界展 木彫の正統	平成 27 年 10 月 31 日～12 月 23 日	46	6,928
没後 20 年 ルーシー・リー展	平成 28 年 1 月 16 日～3 月 21 日	57	9,114
企画展小計			50,890
常設展	平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日	295	2,826
企画展観覧券で常設展も観覧した人数		239	28,486
合 計			82,202

(内訳)

(人)

		企画展計	超絶技巧! 明治工芸の粋	イメージの力 国立民族学博 物館コレクション にさぐる	サントリー 美術館 所蔵品展	没後70年 三木宗策 の世界展 木彫の正統	没後 20 年 ルーシー・リー展	常設展	企画展観覧 券で常設展 も観覧した 人数	
有 料	個 人	一 般	17,693	4,321	2,642	4,725	1,703	4,302	1,020	11,052
		高・大	698	168	221	127	39	143	109	483
		計	18,391	4,489	2,863	4,852	1,742	4,445	1,129	11,535
	団 体	一 般	239	24	19	58	45	93	93	211
		高・大	374	76	27	269	1	1	0	377
		計	613	100	46	327	46	94	93	588
	友 の 会	一 般	667	141	103	168	118	137	33	257
		高・大	20	5	4	3	3	5	3	6
		計	687	146	107	171	121	142	36	263
	小計		19,691	4,735	3,016	5,350	1,909	4,681	1,258	12,386
無 料	高 齢 者	17,499	4,072	1,296	6,484	2,827	2,820	634	7,953	
	友の会シルバー会員	245	61	33	64	41	46	5	63	
	一 般	0	0	0	0	0	0	138	0	
	高 ・ 大	0	0	0	0	0	0	7	0	
	中学生以下(個人)	2,704	711	1,247	298	161	287	137	1,223	
	中学生以下(団体)	3,779	293	1,777	1,015	689	5	497	3,969	
	減 免	181	130	14	0	37	0	0	111	
	ピラ下券	2,300	502	363	533	321	581	0	976	
	招 待 券	909	96	78	268	375	92	0	421	
	関 係 者	1,500	408	310	270	269	243	77	958	
	障 が い 者	1,171	277	140	388	176	190	36	204	
	療育/精神	387	62	90	112	45	78	21	106	
	同 伴 者	524	123	83	149	78	91	16	116	
小 計	31,199	6,735	5,431	9,581	5,019	4,433	1,568	16,100		
合 計		50,890	11,470	8,447	14,931	6,928	9,114	2,826	28,486	

2) 教育普及事業 17,854 人

事業名	回数	人数	備考
アート・トーク	6	551	
講演会	6	526	
美術講座	6	280	
ギャラリートーク	10	375	
ワークショップ	10	322	
ミュージアム・シアター	9	850	
ミュージアム・コンサート	1	185	
風土記の丘の美術展	1	6,757	6日×5期 平成27年7月20日～8月23日
風土記の空	1	2,923	会期 平成27年11月10日～12月23日
鑑賞学習対応		5,080	幼稚園3園、小学校20校、中学校33校、 高校3校 計59校
博物館実習	1	4	期間 平成27年7月30日～8月9日
ジュニア・インターンシップ	1	1	期間 平成27年10月7日～9日
合計	52	17,854	

3) 過去5年間の利用者数推移状況

年 度	平成 23 (2011)	平成 24 (2012)	平成 25 (2013)	平成 26 (2014)	平成 27 (2015)	
総利用者数(人)	78,341	92,641	91,175	89,694	100,056	
展覧会	展覧会観覧者数(人)	56,414	76,192	68,351	66,669	82,202
	企画展本数(本)	4	6	5	5	5
普及事業	普及事業参加者数(人)	21,927	16,449	22,824	23,025	17,854
	普及事業回数(回)	40	56	52	59	53
備 考	平成 23 年 3 月 11 日東日本大 震災のため同 年 7 月 15 日 まで休館。 平成 23 年度企 画展 2 本中止。					

4) 教育普及事業別参加者数推移状況

年 度		平成 23 (2011)	平成 24 (2012)	平成 25 (2013)	平成 26 (2014)	平成 27 (2015)	主な使用場所
アート・トーク	参加者数(人)	—	113	618	475	551	多目的スタジオ、講義室など
	回数	—	5	6	6	6	
講演会	参加者数(人)	325	584	373	385	526	多目的スタジオ
	回数	4	6	5	4	6	
美術講座	参加者数(人)	198	154	146	226	280	講義室、多目的スタジオ
	回数	7	9	7	8	6	
ギャラリートーク	参加者数(人)	228	423	336	362	375	企画展示室
	回数	8	14	10	12	10	
ワークショップ	参加者数(人)	788	280	594	384	322	多目的スタジオ、講義室、階段ホール、ロビー
	回数	8	6	10	11	10	
ミュージアムシアター	参加者数(人)	487	813	534	1,033	850	多目的スタジオ
	回数	7	12	8	10	9	
ミュージアムコンサート	参加者数(人)	288	180	170	174	185	多目的スタジオ、階段ホールなど
	回数	2	1	1	1	1	
朗読会	参加者数(人)	0	0	272	227	0	多目的スタジオ、階段ホール
	回数	0	0	2	3	0	
風土記の丘の美術展	参加者数(人)	11,967	6,682	11,584	10,205	6,757	ロビー
	回数	1	1	1	1	1	
風土記の空	参加者数(人)	6,201	3,611	3,491	4,429	2,923	ロビー
	回数	1	1	1	1	1	
鑑賞学習対応	参加者数(人)	3,011	3,602	4,700	5,115	5,080	企画展示室、常設展示室、多目的スタジオなど
	受入れ校数	28	37	75	69	59	
博物館実習	参加者数(人)	9	7	6	4	4	講義室など
	受入れ校数	7	4	6	4	4	
ジュニア・インターンシップ	参加者数(人)	0	3	4	3	1	講義室など
	受入れ校数	0	1	2	1	1	
職場体験	参加者数(人)	2	0	0	3	0	講義室など
	回数	1	0	0	1	0	

VI 管理運営

1) 関係法規・組織

郡山市立美術館条例

【設置】

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条第1項及び博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)第18条の規定に基づき、市民の美術に関する知識と教養の向上を図り、文化の発展に寄与するため、美術館を設置する。

【名称及び位置】

第2条 美術館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
郡山市立美術館	郡山市安原町字大谷地130番地の2

【管理】

第3条 郡山市立美術館(以下「美術館」という。)は、郡山市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が、これを管理する。

【事業】

第4条 美術館の事業は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 美術品その他美術に関する資料(以下「美術品等」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 美術に関する調査及び研究を行うこと。
- (3) 美術に関する展覧会、講演会、講習会及び映写会等を開催すること。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、目的を達成するために必要な事業を行うこと。

【観覧料】

第5条 美術館の常設展(美術品等の常設展示をいう。以下同じ。)を観覧しようとする者は、別表第1に定める常設展観覧料を納入しなければならない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、常設展観覧料を無料とする。

- (1) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律178号)に規定する休日に観覧する場合
- (2) 次項に定める企画展を観覧する場合

2 美術館の企画展(常設展以外の展示をいう。以下同じ。)を観覧しようとする者は、別表第2に定める企画展観覧料を納入しなければならない。

(平10条例35・一部改正)

【撮影等の許可及び特別観覧料】

第6条 学術研究等のため、美術館に展示され、又は保管されている美術品等の撮影、模写又は模造等(以下「撮影等」という。)をしようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、別表第3に定める特別観覧料を納入しなければならない。

【観覧料等の不返還】

第7条 既納の常設展観覧料、企画展観覧料及び特別観覧料(以下「観覧料等」という。)は、これを返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を返還することができる。

- (1) 観覧又は撮影等をしようとする者の責めによらない理由により、観覧又は撮影等ができなかったとき。
- (2) その他教育委員会が特別の理由があると認めるとき。

【観覧料等の免除】

第8条 市長は、公用又は公益上特に必要があると認めるときは、観覧料等の全部又は一部を免除することができる。

【入館の制限等】

第9条 次の各号のいずれかに該当するときは、教育委員会は、美術館への入館を拒み、又は退館させることができる。

- (1) 公益を害し、又は風俗を乱すおそれがあると認めるとき。
- (2) 施設、設備又は美術品等をき損又は汚損するおそれがあると認めるとき。
- (3) この条例及びこれに基づく規則に違反し、又はそのおそれがあると認めるとき。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、管理運営上適当でないとき。

【賠償責任】

第10条 施設、設備又は美術品等をき損、汚損、又は滅失した者は、教育委員会の指示に従い、その損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会がやむを得ない理由があると認めるときは、その額を減額し又は免除することができる。

【美術館協議会】

第11条 法第20条第1項の規定に基づき、美術館に郡山市立美術館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員(以下「委員」という。)は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が任命する。

3 委員の定数は、10名以内とし、その任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

【職員】

第12条 美術館に館長その他必要な職員を置く。

【委任】

第13条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

附 則

この条例は、平成4年7月1日から施行する。ただし、第5条から第9条の規定は、平成4年11月21日から施行する。

附 則(平成10年郡山市条例第35号)

この条例は、平成10年10月1日から施行する。ただし、第5条第1号の改正規定は、公布の日から施行する。

附 則(平成13年郡山市条例第31号)

この条例は、平成13年4月1日から施行する。

附 則(平成15年郡山市条例第25号)

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成22年郡山市条例第78号)

(施行期日)

1 この条例は、平成23年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日前に撮影等の許可を受けた者に係る特別観覧料の額については、なお従前の例による。

別表第1 【第5条関係】

(平10条例35・平13条例31・平22条例78・一部改正)

常設展観覧料

区 分	観 覧 料	
	個人	団体
高校生、大学生及びこれらに準ずる者	1人1回につき100円	1人1回につき70円
一 般	1人1回につき200円	1人1回につき150円

備考

- 1 「団体」とは、20名以上をいう。
- 2 65歳以上の者は、無料とする。

別表第2 【第5条関係】

(平13条例31・平15条例25・一部改正)

企画展観覧料

区 分	観 覧 料	
	個人	団体
高校生、大学生及びこれらに準ずる者	1人1回につき1,500円の範囲内でそのつと市長が定める額	
一 般		

備考

- 1 「団体」とは、20名以上をいう。
- 2 団体観覧料は、個人観覧料の10分の8に相当する額とし、10円未満の端数が生じた場合は、これを10円に切り上げる。
- 3 65歳以上の者は、無料とする。

別表第3 【第6条関係】(平22条例78・一部改正)

特別観覧料

区 分	観 覧 料	
撮影	モノクローム	1点1回につき1,600円
	カラー	1点1回につき3,100円
模 写 模 造	1点1日につき	2,100円
熟 覧	1点1回につき	200円

備考

- 1 一双屏風は、一双以内を1点とする。
- 2 一揃えの卷子(巻物をいう。)は、一揃え以内を1点とする。
- 3 対幅は、対幅以内を1点とする。
- 4 写真撮影は、同一作品について原板3枚以内を1回とする。

郡山市立美術館条例施行規則

【趣旨】

第1条 この規則は、郡山市立美術館条例(平成4年郡山市条例第29号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めるものとする。

【観覧券の交付】

第2条 郡山市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、常設展観覧料を納入した者に対して郡山市立美術館常設展観覧券(第1号様式)を、企画展観覧料を納入した者に対してそのつど定める郡山市立美術館企画展観覧券を交付する。

【撮影等の許可】

第3条 美術品その他美術に関する資料の撮影、模写又は模造等(以下「撮影等」という。)をしようとする者は、郡山市立美術館撮影等許可申請書(第2号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項に規定する撮影等を許可したときは、郡山市立美術館撮影等許可書(第3号様式)を申請人に交付する。

【観覧料等の返還】

第4条 条例第7条ただし書の規定により返還する観覧料等の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

(1) 観覧又は撮影等をしようとする者の責めによらない理由により、観覧又は撮影等ができなくなった場合
当該観覧料等の全額

(2) その他教育委員会が特別の理由があると認めた場合
教育委員会が認める額

2 前項に規定する観覧料等の返還を受けようとする者は、郡山市立美術館観覧料等返還請求書(第4号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

【観覧料等の免除】

第5条 条例第8条に規定する観覧料等の免除は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

(1) 市(市の機関を含む。)が主催する事業の活動として常設展を観覧する場合常設展観覧料を全部免除

(2) その他教育委員会が観覧料等を免除することが適当と認める場合教育委員会が認める額

2 前項の規定により観覧料等の免除を受けようとする者は、あらかじめ郡山市立美術館観覧料等免除申請書(第5号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

3 教育委員会は、前項の規定による申請に基づき観覧料等の免除を決定したときは、郡山市立美術館観覧料等免除決定通知書(第6号様式)を申請人に交付する。

【開館時間】

第6条 郡山市立美術館(以下「美術館」という。)の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、入館は午後4時30分までとする。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めたときは、これを変更することができる。

【休館日】

第7条 美術館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めたときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日当たるときは、その翌日とする。)

(2) 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで

【遵守事項】

第8条 美術館の入館者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 施設、設備、美術品等をき損若しくは汚損し、又はそれらのおそれのある行為をしないこと。

(2) 所定の場所以外で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。

(3) 他人に危害又は迷惑をおよぼすおそれのある物品又は動物を持ち込まないこと。

(4) 風紀及び秩序を乱さないこと。

(5) その他職員の指示に従うこと。

【委任】

第9条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、平成4年11月21日から施行する。

附 則(平成6年教委規則第3号)

(施行期日)

1 この規則は、平成6年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の際、現に様式の規定に基づいて作成されている用紙は、この規則の規定にかかわらず、当分の間、使用することができる。

附 則(平成15年教委規則第4号)

1 この規則は、平成15年4月1日から施行する。

2 この規則の施行の際現に改正前の様式の規定により作成されている用紙は、改正後の規則の様式の規定にかかわらず、当分の間、所要の調整をして使用することができる。

郡山市立美術館協議会規則

【趣旨】

第1条 この規則は、郡山市立美術館協議会(以下「協議会」という。)の会議運営について必要な事項を定めるものとする。

【招集】

第2条 協議会は、郡山市立美術館長(以下「館長」という。)が招集する。

2 会議開催の場所及び日時は、付議すべき事項とともに、あらかじめ委員に通知しなければならない。

【定例会及び臨時会】

第3条 協議会は、定例会及び臨時会とする。

2 定例会は年2回とし、臨時会は必要があるときに招集する。

【会長及び副会長】

第4条 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選によって定める。

2 会長及び副会長の任期は、2年とする。ただし、再選を妨げない。

【職務】

第5条 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は

会長が欠けたときは、その職務を代理する。

【会議】

第6条 協議会は、委員の過半数で成立する。

2 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長が決する。

【庶務】

第7条 協議会の庶務は、郡山市立美術館において処理する。

【委任】

第8条 この規則に定めるもののほか、協議会の会議に必要な事項は、会長が定める。

附 則

この規則は、平成4年7月1日から施行する。

郡山市美術品収集評価選定委員会設置要綱

【設置】

第1条 郡山市が収集する美術品を選定するにあたり、その適正な評価等を行うため、郡山市美術品収集評価選定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

【組織】

第2条 委員会は、委員8名以内で組織し、委員は、美術に関する専門的知識を有する者のうちから、教育長が委嘱する。

2 委員の任期は、2年とし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。

【委員長及び副委員長】

第3条 委員会に委員長及び副委員長1名を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は、委員長が欠けたときはその職務を代理する。

【会議】

第4条 委員会の会議は、教育長が招集し、委員長が会議の議長となる。

2 会議は次の事項について審議する。

(1)美術品の選定評価に関すること。

(2)美術品の寄託又は、寄贈に関すること。

(3)美術品選定のための資料の収集その他専門的な事項に関すること。

【庶務】

第5条 委員会の庶務は、郡山市立美術館において処理する。

【委任】

第6条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が定める。

附 則

この要綱は、昭和63年6月8日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

2) 名簿(平成27年度)

郡山市立美術館協議会

◎会長 ○副会長
(任期:平成26年6月1日～平成28年5月31日)

齋藤 和代	郡山市立御代田小学校長
佐藤 俊彦	郡山市立熱海中学校長
○刈屋 俊樹	福島県立あさか開成高等学校長
馬場 典枝	FMいわきパーソナリティ
宗像 利訓	本郷焼・宗像窯九代目
◎中村亜都子	学校法人尚志学園尚志高等学校 非常勤講師(美術)
伊藤 匡	福島県立美術館学芸課長
瀬谷 賢次	福島交通郡山支社長
橋本 彰一	一般公募
三輪万里子	一般公募

郡山市美術品収集評価選定委員会

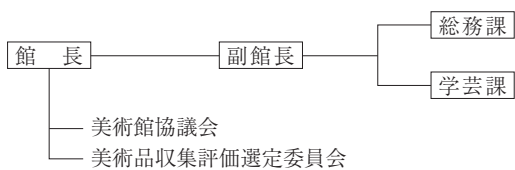
◎会長 ○副会長
(任期:平成27年7月1日～平成29年6月30日)

◎金子 賢治	茨城県陶芸美術館長
○佐々木吉晴	いわき市立美術館長
西村 勇晴	北九州市立美術館長
齋藤美保子	郡山女子大学短期大学部教授
古田 亮	東京芸術大学大学美術館准教授
早川 博明	福島県立美術館長
猿渡紀代子	横浜美術館特任学芸員

郡山市立美術館職員

参事兼館長	佐治 ゆかり
主幹兼副館長	佐藤 秀彦
主幹兼総務課長	斎藤 勝男
総務課主査	内島久美子
総務課主任用務員	柳沼 浩一
学芸課長	鈴木 誠一
学芸課主任主査	菅野 洋人
学芸課主任主査	中山 恵理
学芸課主任学芸員	杉原 聡
学芸課主任学芸員	永山多貴子
学芸課主査	富岡 進一
学芸員	田中有沙子
学芸員	新田 量子

■組織図



3) 建築設備概要・平面図・面積表

■敷地面積	38,420.24 m ²
[建築概要]	
■建築面積	3,776.52 m ²
■建築床面積	6,848.37 m ²
■駐車場面積	3,300 m ² 収容台数 乗用車 123 台 バス 8 台
■構造及び規模	鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造 地上2階地下1階
■仕上	
外壁	杉小幅板本実化粧型枠ホワイトコンクリート打放し
屋根	ステンレス鋼板フッ素樹脂加工
サッシ	アルミ電解二次着色
展示室壁	カーテンウォール爪かけバックマリオン方式ペアガラス(二面サンドブラスト加工)
展示室床	不燃クロス貼ペンキ拭取仕上げ 木製フローリング(ホワイトオーク)
■設計	(株)TAK 建築・都市計画研究所
■設計協力	
基本計画・ガラスデザイン	川上喜三郎
木製家具デザイン	(株)方圓館 坂本和正
サインデザイン	永原浄デザイン研究所 永原浄
造園	(株)和泉屋・石のアトリエ 和泉正敏
■施工	
主体工事	大林・東洋特定建設工事共同企業体
電気工事	(株)ユアテック郡山営業所
空調和建設工事	高砂・菱和特定建設工事共同体
情報防火設備工事	(株)ニノテック
給排水設備工事	東北設備工業(株)
昇降機設置工事	フジテック(株)仙台営業所
■工期	着工：1990(平成2)年12月18日 竣工：1992(平成4)年6月30日
■建築費	40億円
[設備概要]	
■電気設備	
受電	3相3線、6KV、50Hz
変圧器	電灯：単相3線、210/15V、100KVA×3 動力：3相3線、210V、500KVA×2、300KVA×2
蓄電池	シール形鉛蓄電池 100AH/10HR
非常用発電機	ディーゼルエンジン 228PS、出力 3相 200V、180KVA
照明設備	白熱灯、高輝度放電灯、蛍光灯、紫外線防止型蛍光灯(演色 AAA 電球色、色温度 3000K)
■情報防災設備	
防災設備	自動火災報知機、防排煙、非常放送、誘導灯
防犯設備	ITV 監視装置(監視カメラ、14型カラーモニター・四分型)
その他	視聴覚設備、放送設備、中央監視設備

■ 空気調和設備

熱源設備

空冷ヒートポンプチラー(圧縮機 90KW)2台
暖房能力：220,000Kcal/h、冷房能力：283,700Kcal/h
水冷チラー(圧縮機 45KW)
暖房能力：185,000Kcal/h、冷房能力：141,000Kcal/h

空調設備

4管式恒温恒湿制御方式(収蔵庫系統)、4管式再熱制御方式(展示室系統)
VAV方式(普及部門諸室系統)
外調機+ファンコイルユニット方式(事務管理諸室系統)
空調機+ファンコイルユニット方式(エントランスホール・ロビー系統)

その他

自動制御設備、換気設備、機械排煙設備

■ 給排水設備

給水設備

圧力給水方式 受水槽 10 m³、副受水槽 1.5 m³

給湯設備

電気温水器(貯湯量 224ℓ、10KW) 電気湯沸器(貯湯量 40ℓ、4KW)

消火設備

屋内消火栓、連結散水設備、ハロンガス消化設備(収蔵庫)

■ くん蒸設備

常圧・減圧兼用式 4.0 m³、ミニガスボンベ脱着方式

■ 昇降機設備

乗用

750Kg、11人乗り(車椅子対応)

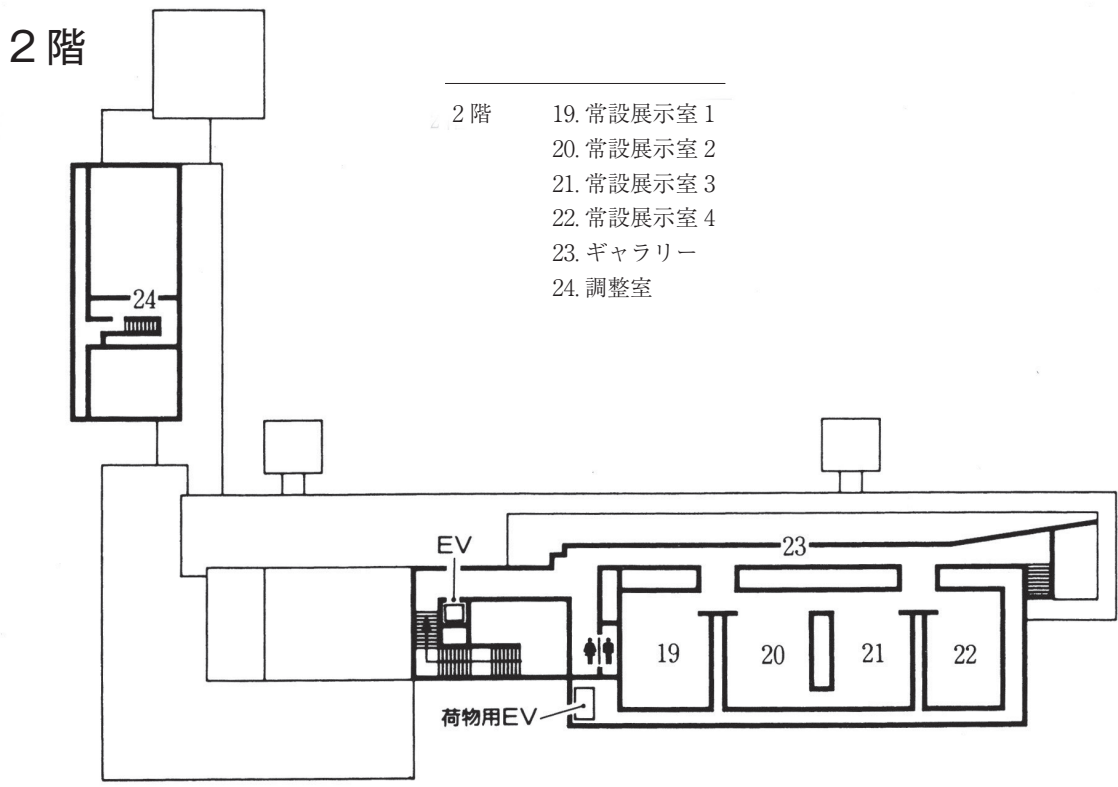
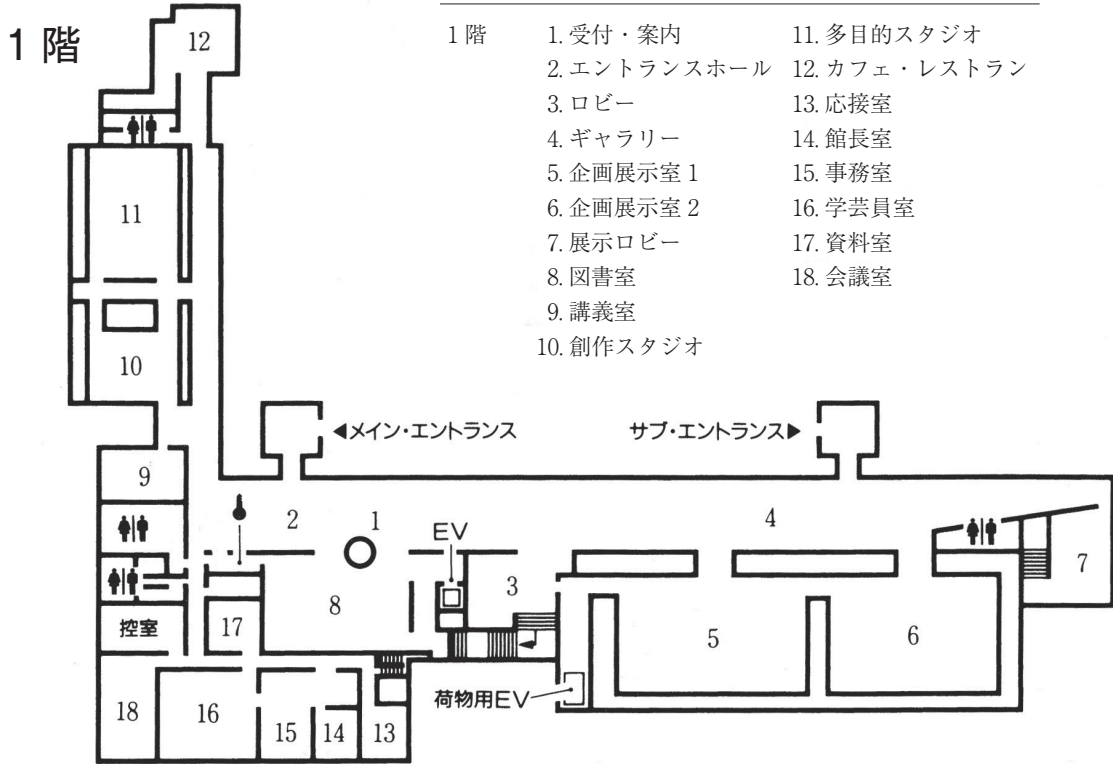
荷物用

3,000 Kg、油圧加速制御

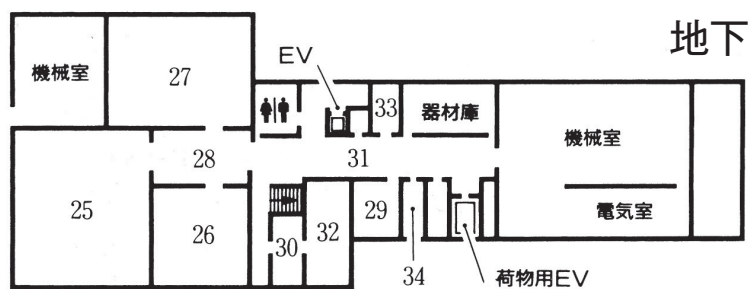
テーブルリフター

2,000 Kg

■平面図・面積表



- 地下
- 25. 収蔵庫 1
 - 26. 収蔵庫 2
 - 27. 収蔵庫 3
 - 28. 収蔵庫前室
 - 29. 修復室
 - 30. 中央監視室
 - 31. 荷解場
 - 32. トラックヤード
 - 33. くん蒸室
 - 34. 清掃員室



部門名	面積	階	室名	面積
展示部門	2,330.38 m ²	2	常設展示室 1~4	932.51 m ²
		1	企画展示室 1~2、展示ロビー	1,333.24 m ²
		B1・1	器材庫、エレベーター前室	64.63 m ²
収蔵部門	1,040.28 m ²	B1	収蔵庫 1~3	618.35 m ²
		B1	収蔵庫前室	61.48 m ²
		B1	器材庫	69.25 m ²
		B1	荷解場	238.71 m ²
		B1	くん蒸室	19.10 m ²
		B1	修復室	33.39 m ²
教育普及部門	570.34 m ²	1	多目的スタジオ	196.42 m ²
		1	創作スタジオ	122.40 m ²
		1	講義室	56.87 m ²
		1	図書室 (ビデオコーナーを含む)	194.65 m ²
研究研修部門	117.45 m ²	1	学芸員室	117.45 m ²
管理部門	852.19 m ²	B1	中央監視室	24.22 m ²
		B1	機械室	520.43 m ²
		1	事務室	79.85 m ²
		1	館長室	32.48 m ²
		1	会議室	73.92 m ²
		1	応接室	38.10 m ²
		B1・1	控室	54.52 m ²
		1	資料室	28.67 m ²
サービス部門	702.62 m ²	1	エントランスホール	222.77 m ²
		1	ギャラリー	344.72 m ²
		1	ロッカールーム	16.69 m ²
		1	カフェ・レストラン	118.44 m ²
その他	1,235.11 m ²	B1・1・2	廊下、階段、便所、その他	1,235.11 m ²
計	6,848.37 m ²			6,848.37 m ²

4) 利用案内

■所在地

〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地 130-2
 Tel : 024-956-2200 Fax : 024-956-2350
 E-mail : bijutsukan@city.koriyama.fukushima.jp
 ホームページ
<http://www.city.koriyama.fukushima.jp/bijutsukan/>

■開館時間

午前 9 時 30 分～午後 5 時
 (入館は午後 4 時 30 分まで)

■休館日

毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合はその翌日)
 年末年始 (12 月 28 日～1 月 4 日)

■交通案内

- 郡山駅から美術館まで約 4Km
- 乗用車 駐車場 (約 130 台収容・料金は無料)
- バス
 郡山駅前 5 番のりばから『美術館経由 東部ニュータウン』行きに乗車。(所要時間 10 分)

■観覧料

	常設展		企画展	
	個人	団体 (20名以上)	個人	団体 (20名以上)
一般	200円	150円	規模・内容等に応じて、 その都度定めた額	
高大生	100円	70円		
65歳以上	無 料			
中学生以下				
障害者手帳をお持ちの方	無 料 (手帳を提示)			

